

平成21年度
川崎区区民アンケート
報告書

川崎区役所

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| I 調査概要 | 1 |
| II 調査回答者の属性 | 3 |
| III 調査結果の詳細 | 6 |
| 1. 川崎区役所からの情報の入手ルート | 6 |
| 2. 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無 | 10 |
| 2. 1 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的 | 13 |
| 2. 2 窓口の場所のわかりやすさ | 17 |
| 2. 3 窓口が「わかりにくい」と感じたところ | 20 |
| 3. 職員の対応についての満足度 | 24 |
| ①気持ちのよいあいさつ | 25 |
| ②親切な対応 | 28 |
| ③わかりやすい説明 | 31 |
| ④勤務態度 | 34 |
| ⑤身だしなみ | 37 |
| ⑥窓口の整理整頓 | 40 |
| 4. 地域活動（団体、ボランティア活動、サークルなど）の活動状況 | 43 |
| 4. 1 地域活動の団体の活動分野 | 46 |
| 4. 2 地域活動を行っていない理由 | 50 |
| 4. 3 今後の地域活動参加意向 | 54 |
| 5. 高齢化社会に対して最重要視する取り組み | 57 |
| 6. 子育てに対して最重要視する取り組み | 61 |
| 7. 環境に対して最重要視する取り組み | 65 |
| 8. 地域社会活性化のための最重要視する取り組み | 69 |
| 9. 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組み | 73 |
| 10. 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ | 77 |
| 11. 川崎区区民会議の認知度 | 80 |
| 11. 1 区民会議の認知経路 | 83 |
| 11. 2 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法 | 87 |
| 12. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの | 91 |
| 13. 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの | 95 |
| IV 調査に使用した調査票 | 99 |

I 調査概要

1. 調査の目的

「川崎区区民アンケート」は、区役所の利用状況、サービス及び区民の地域活動に関する意識や要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議調査審議課題、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎区全域
- (2) 調査の対象者 川崎区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳および外国人登録原票からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 2,000標本
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収）
- (6) 調査期間 平成21年11月27日～平成21年12月11日
- (7) 調査委託機関 株式会社 総合企画

3. 調査項目

| <調査テーマ> | <問番号> |
|-----------------------|-----------|
| (1) 川崎区役所の広報について | (問1) |
| (2) 川崎区役所の利用状況について | (問2) |
| (3) 川崎区役所のサービスについて | (問3) |
| (4) 地域活動や地域に関する課題について | (問4～問11) |
| (5) 川崎区区民会議について | (問12～問15) |

4. 回収状況

標本数 2,000標本
有効回収数 603人
有効回収率 30.2%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、一部語句を短縮、省略化している。
- (5) 回答数が20未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめている。

6. 標本誤差

この調査の標本誤差(サンプル誤差)はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、および②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 (単純無作為抽出の場合)
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答の比率

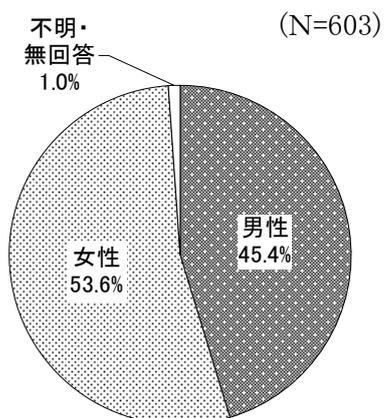
| 回答の 比率(P) 基数(n) | 10%または 90%前後 | 20%または 80%前後 | 30%または 70%前後 | 40%または 60%前後 | 50%前後 |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 603 | ±2.4% | ±3.3% | ±3.7% | ±4.0% | ±4.1% |
| 600 | ±2.4% | ±3.3% | ±3.7% | ±4.0% | ±4.1% |
| 400 | ±3.0% | ±4.0% | ±4.6% | ±4.9% | ±5.0% |
| 200 | ±4.2% | ±5.7% | ±6.5% | ±6.9% | ±7.1% |
| 100 | ±6.0% | ±8.0% | ±9.2% | ±9.8% | ±10.0% |

注) 1. 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

2. この表の見方は次のとおりである。「ある設問に対する回答者数が1,475人であり、その設問の選択肢に対する回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.6%以内である。」

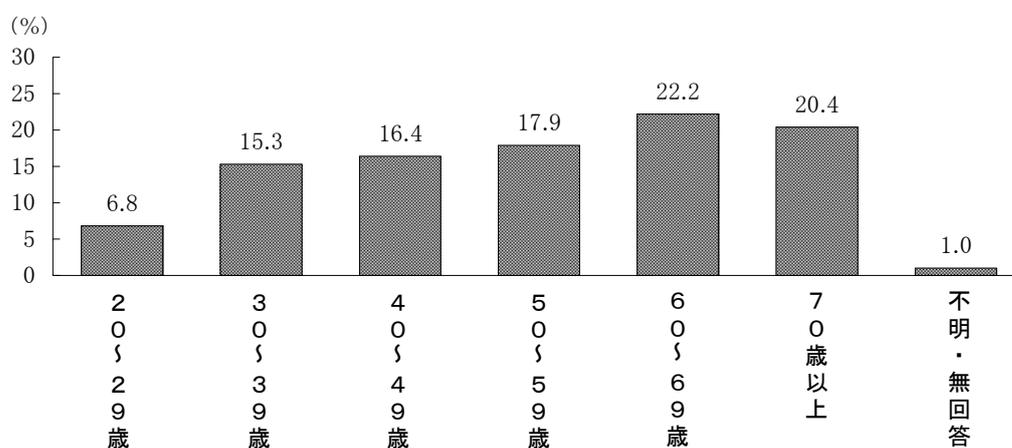
Ⅱ 調査回答者の属性

F1 性別



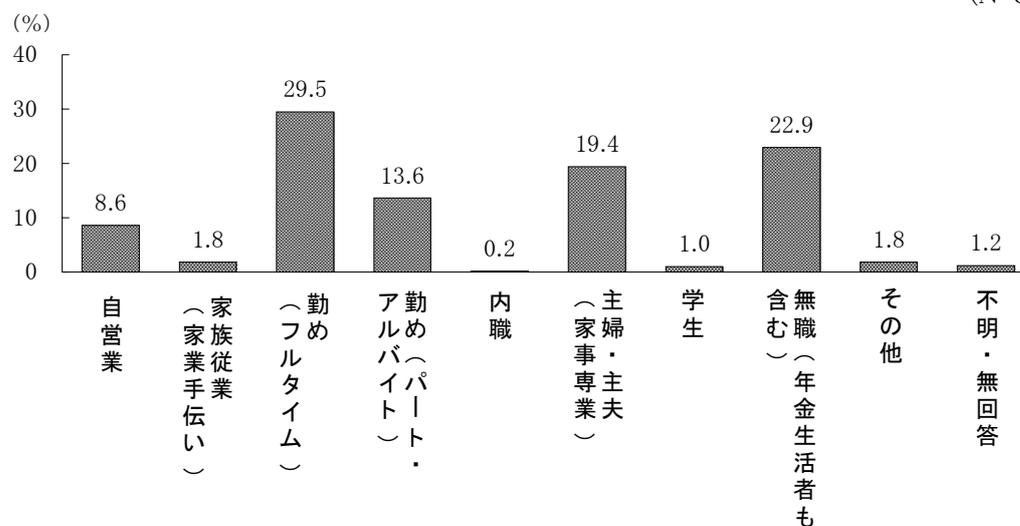
F2 年齢

(N=603)



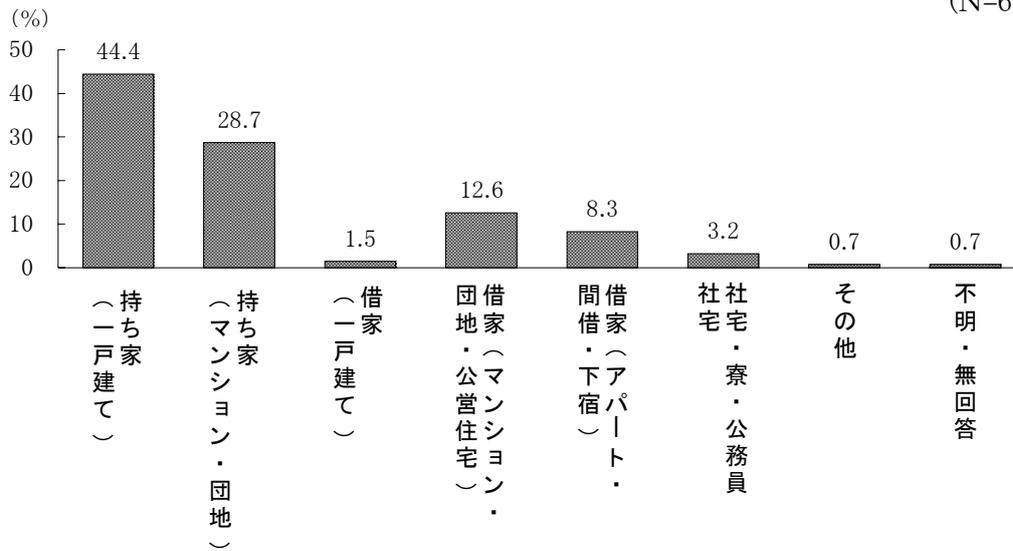
F3 職業

(N=603)



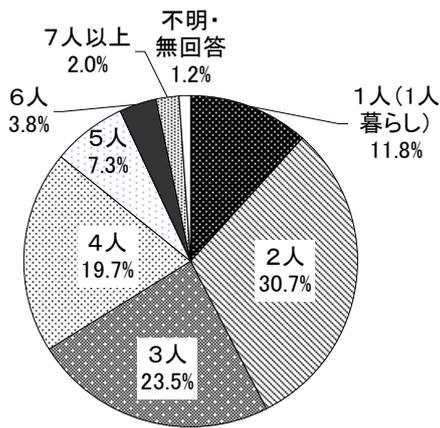
F4 居住形態

(N=603)



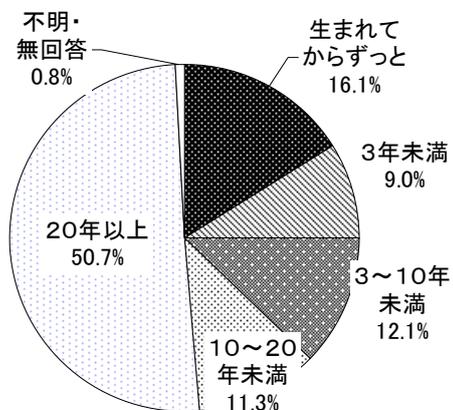
F5 同居人数

(N=603)



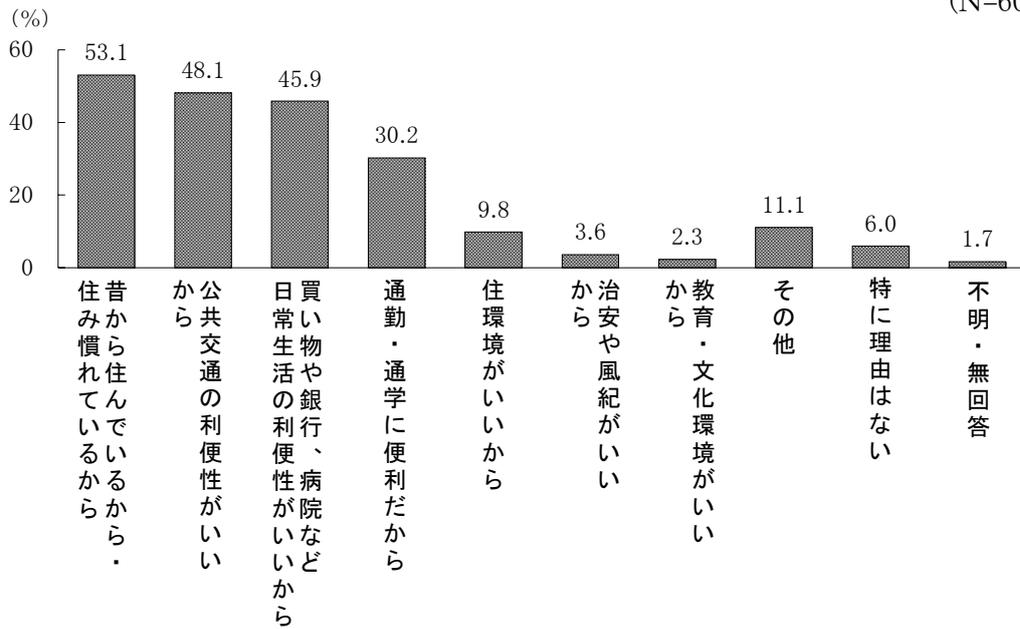
F6 居住年数

(N=603)



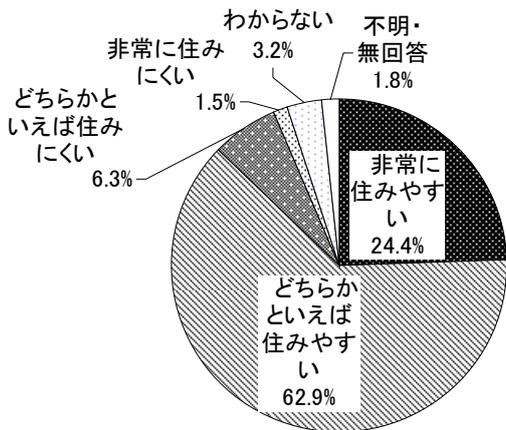
F7 川崎区に住んでいる理由

(N=603)



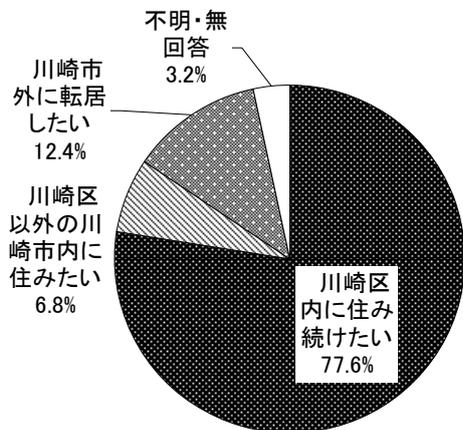
F8 川崎区の住みやすさ

(N=603)



F9 今後の定住意向

(N=603)



Ⅲ 調査結果の詳細

1. 川崎区役所からの情報の入手ルート

Q1. あなたは、川崎区役所からの情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全体** 川崎区役所からの情報の入手ルートは、「市政だより」（73.3%）が7割を超え最も多く、次いで、「町内会・自治会の回覧板」が46.6%となっている。（図1-1）
- 性別** 「市政だより」は、「男性」（67.2%）より「女性」（78.6%）の方が11ポイント多くなっている。（図1-2）
- 性年代別** 「市政だより」は、「男性70代以上」と「女性40代以上」で8割を超えており、「町内会・自治会の回覧板」は、「男性70代以上」と「女性70代以上」で7割を超えている。また、「男性」は「市政だより」と「町内会・自治会の回覧板」で年代が上がるにつれて割合が多くなる傾向にあり、「女性」も「町内会・自治会の回覧板」で年代が上がるにつれて割合が上がる傾向がみられる。一方、「特に川崎区からの情報は入手していない」は、「男性30代」と「女性20代」で2割を超えている。（図1-2）
- 居住年数別** 「市政だより」は、「20年以上」で8割台半ばとなっており、居住年数が上がるにつれて割合が多くなる傾向にある。「町内会・自治会の回覧板」も同様に、年数が上がるにつれて割合が多くなっており、「20年以上」で6割を超えている。（図1-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 「市政だより」は、「住みにくい 計」（68.1%）より「住みやすい 計」（74.3）の方が6ポイント多くなっている。「町内会・自治会の回覧板」も同様に、「住みにくい 計」（36.2%）より「住みやすい 計」（48.3%）の方が12ポイント多くなっている。一方、「特に川崎区からの情報は入手していない」は、「住みやすい 計」（7.4%）より「住みにくい 計」（14.9%）の方が8ポイント多くなっている。（図1-3）
- 定住意向別** 「市政だより」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（82.9%）が8割を超えている。また、「町内会・自治会の回覧板」は、「川崎区内に住み続けたい」（49.8%）が約5割と多くなっている。一方、「特に川崎区からの情報は入手していない」は、「川崎市外に転居したい」が16.0%となっている。（図1-3）

図1-1. 川崎区役所からの情報の入手ルート

【基数：全体(N=603)】

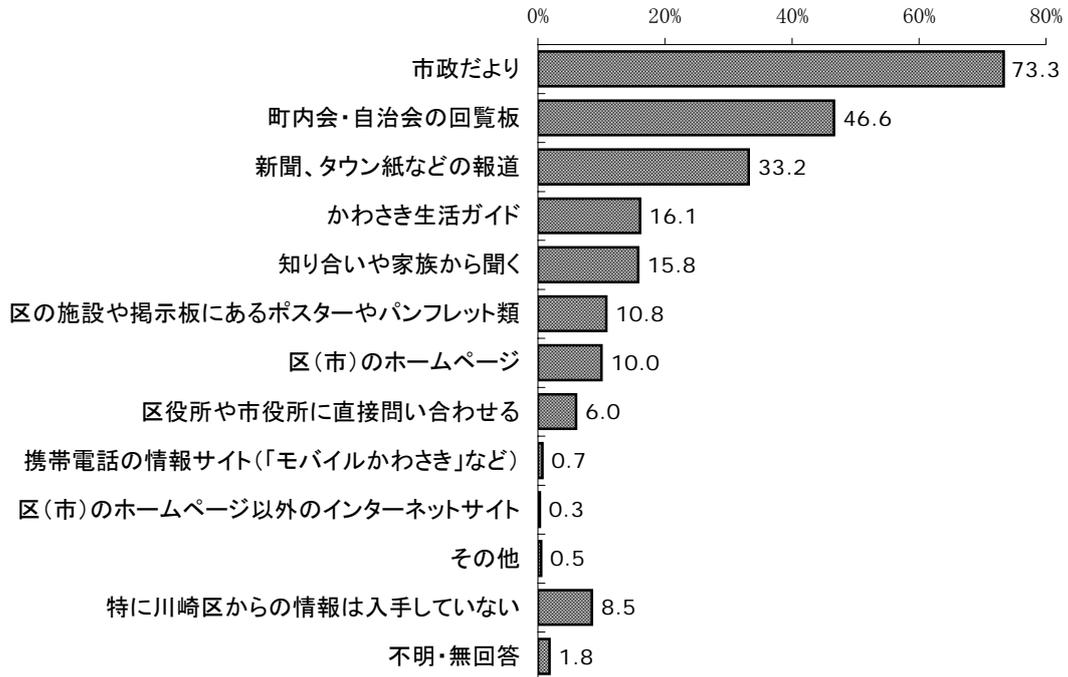
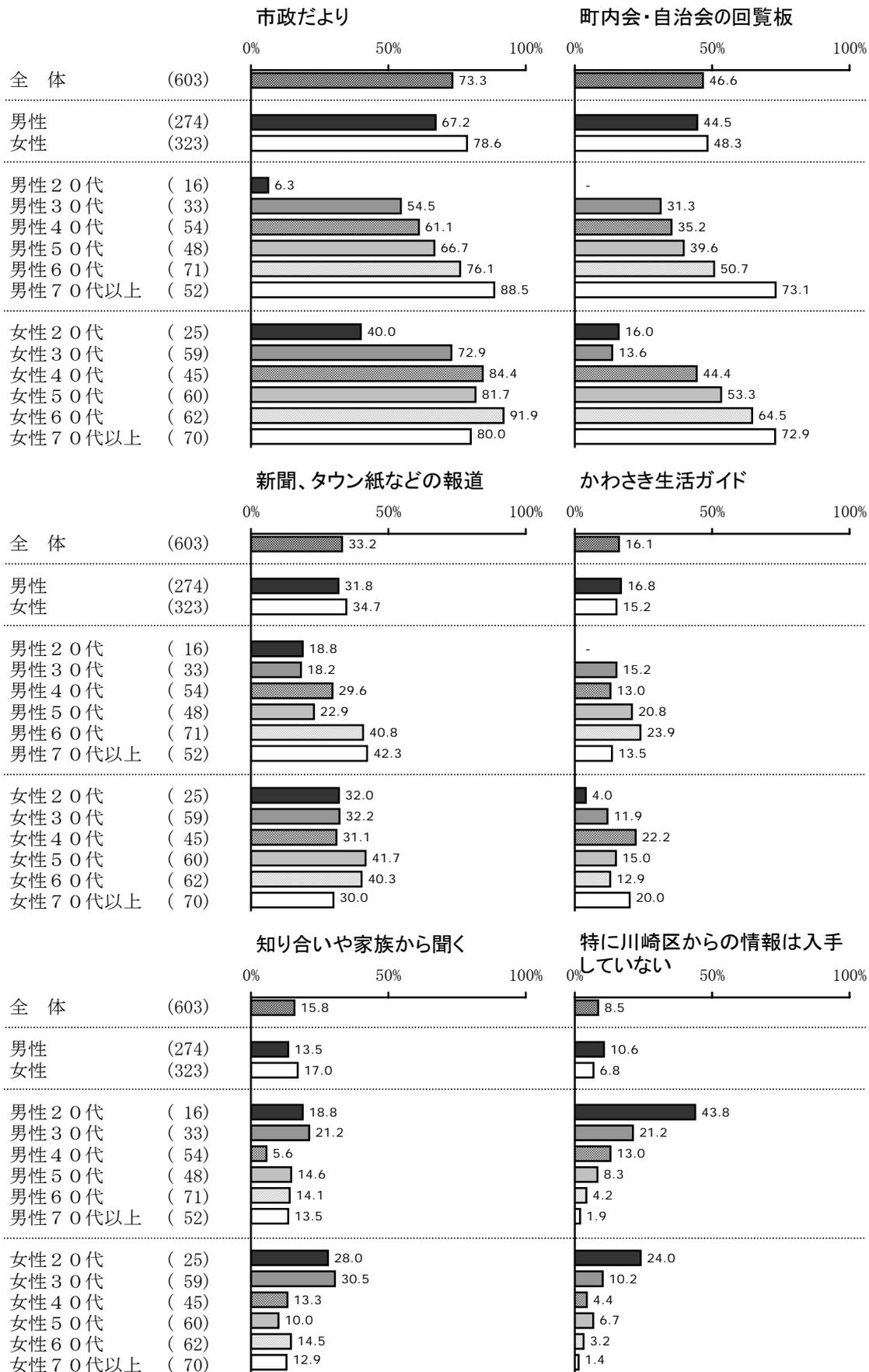


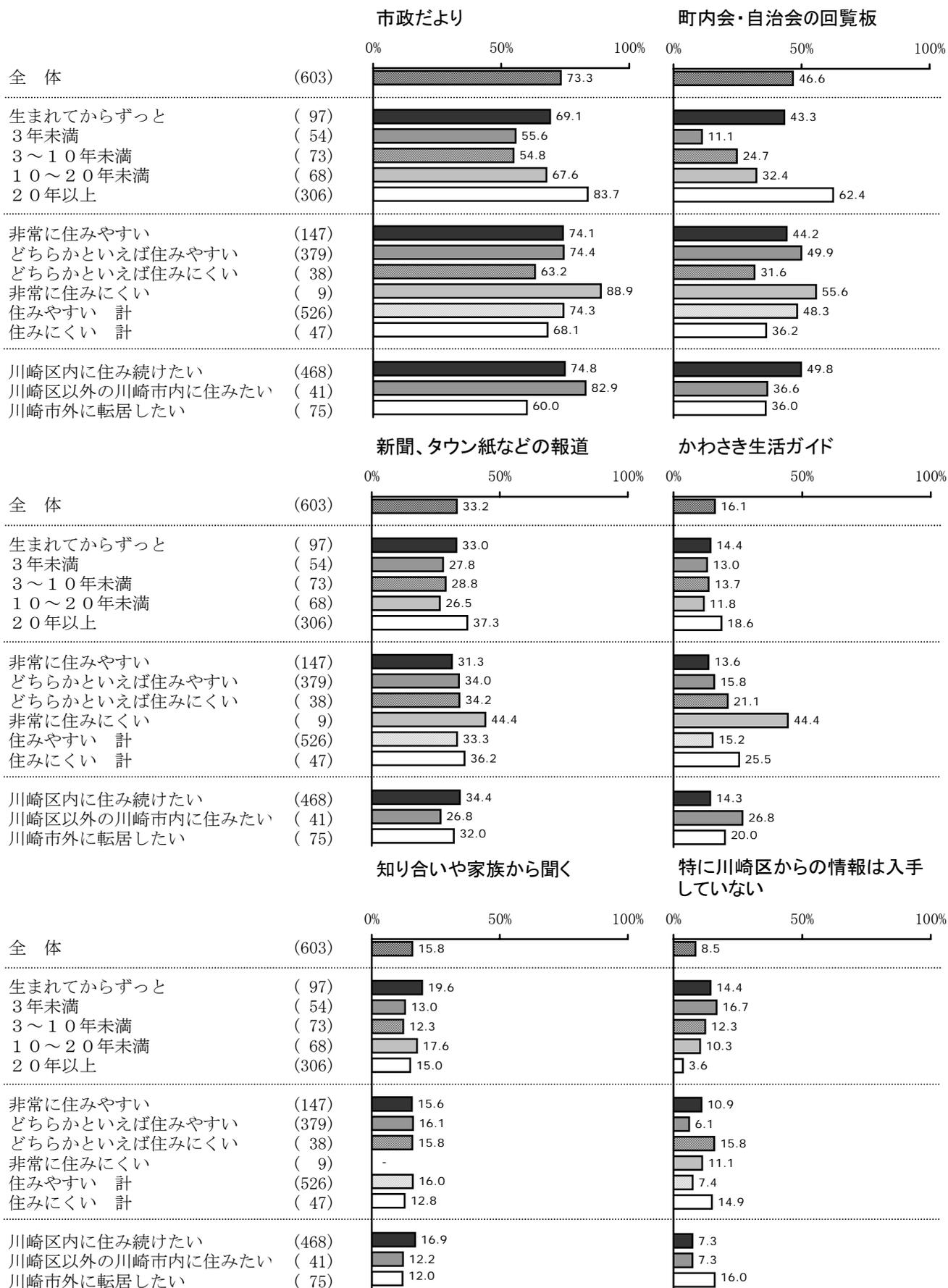
図1-2. 川崎区役所からの情報の入手ルート<性別・性年代別>
 (上位5項目+「特に川崎区からの情報は入手していない」)
 【基数：全体(N=603)】



※上位6～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図1-3. 川崎区役所からの情報の入手ルート

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
 (上位5項目+「特に川崎区からの情報は入手していない」)
 【基数：全体(n=603)】



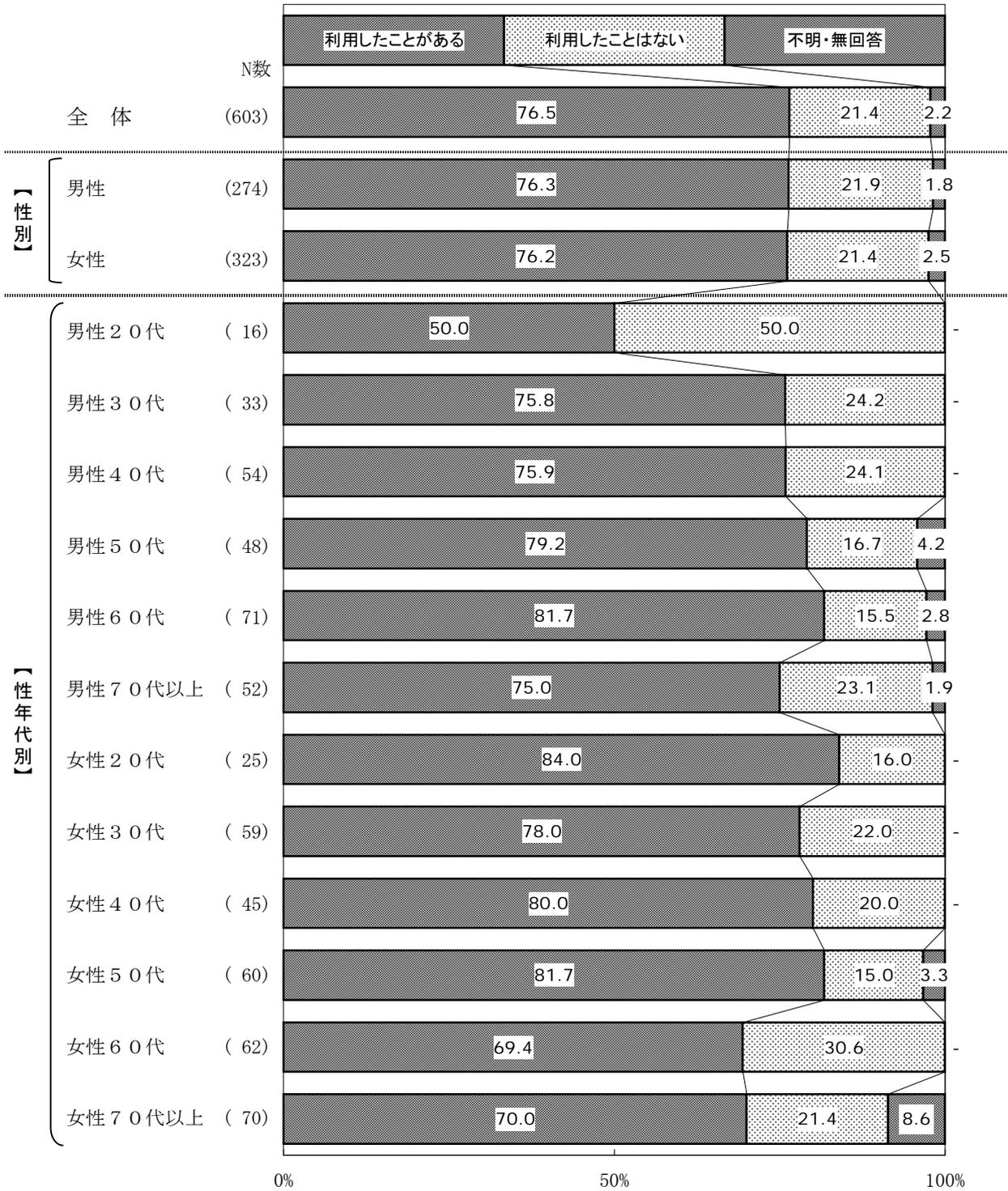
※上位6～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

2. 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無

Q2. あなたは、最近1年の間に、川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスコーナーを利用されたことがありますか。
(○は1つだけ)

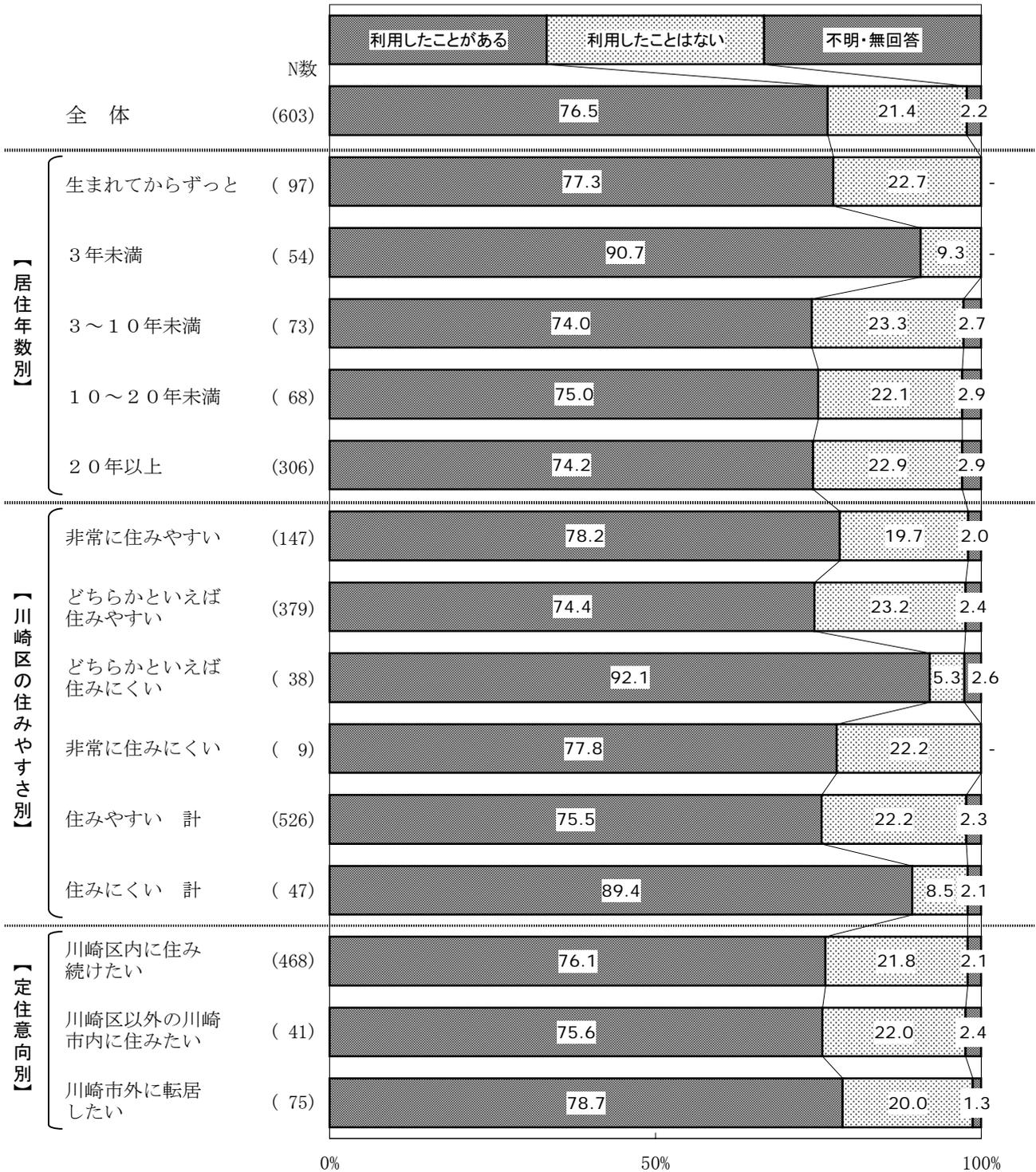
- 全 体** 最近1年の間に、川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスコーナーを「利用したことがある」と回答した人の割合（76.5%）は7割台半ばとなっている。一方、「利用したことはない」と回答した人の割合は、21.4%となっている。（図2-1）
- 性 別** 特に大きな違いはみられない。（図2-1）
- 性年代別** 「利用したことがある」と回答した人の割合は、「男性60代」、「女性20代」、「女性40代」、「女性50代」で8割を超えている。一方、「利用したことはない」と回答した人の割合は、「女性60代」で30.6%と最も多くなっている。（図2-1）
- 居住年数別** 「利用したことがある」と回答した人の割合は、「3年未満」（90.7%）で9割と最も多くなっている。（図2-2）
- 川崎区の住みやすさ別** 「利用したことがある」と回答した人の割合は、「どちらかといえば住みにくい」（92.1%）で9割を超えており、「住みにくい 計」（89.4%）でも約9割と多くなっている。（図2-2）
- 定住意向別** 特に大きな違いはみられない。（図2-2）

図2-1. 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無
 <性別・性年代別>
 【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
 ※属性が「不明・無回答」は作図せず

図2-2. 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
 【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
 ※属性が「不明・無回答」は作図せず

2. 1 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

SQ 1. あなたが川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスコーナーに行った目的をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的としては、「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」(70.3%)が7割で突出して多くなっており、次いで、「税に関する証明書交付や申告、納税手続きなど」が26.5%、「健康保険、年金に関する相談、届出など」が22.1%となっている。(図2.1-1)
- 性 別** 「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」は、「女性」(66.7%)より「男性」(75.6%)の方が9ポイント多くなっている。一方、「高齢者や介護に関する相談、届出など」と「保健、予防に関する相談、健康診断、予防接種など」は、「男性」より「女性」の方が多くなっている。(図2.1-2)
- 性年代別** 「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」は、「男性40代～60代」で8割前後となっている。一方、「保健、予防に関する相談、健康診断、予防接種など」は、「女性30代」が30.4%と特に多くなっている。また、「健康保険、年金に関する相談、届出など」は、「男性60代」で36.2%、「女性70代以上」で28.6%と多くなっている。(図2.1-2)
- 居住年数別** 「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」は、「3年未満」(87.8%)で約9割弱と多くなっている。また、「保健、予防に関する相談、健康診断、予防接種など」は、「3～10年未満」が16.7%となっている。(図2.1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」は、「住みにくい計」(64.3%)より「住みやすい計」(72.0%)の方が8ポイント多くなっている。逆に、「健康保険、年金に関する相談、届出など」は、「住みやすい計」(20.9%)より「住みにくい計」(33.3%)の方が、12ポイント多くなっている。また、「保健、予防に関する相談、健康診断、予防接種など」も、「住みやすい計」(7.3%)より「住みにくい計」(23.8%)の方が17ポイント多くなっている。(図2.1-3)
- 定住意向別** 特に大きな違いはみられない。(図2.1-3)

図2.1-1 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

【基数：利用経験者(N=461)】

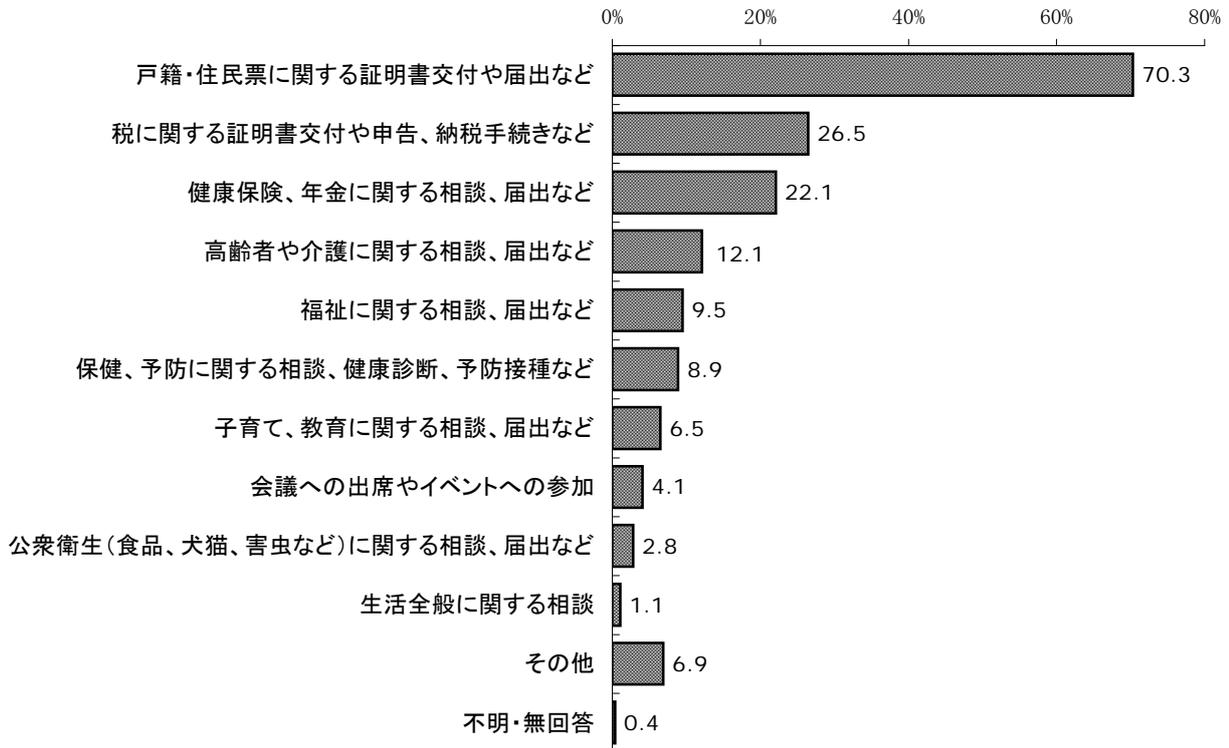
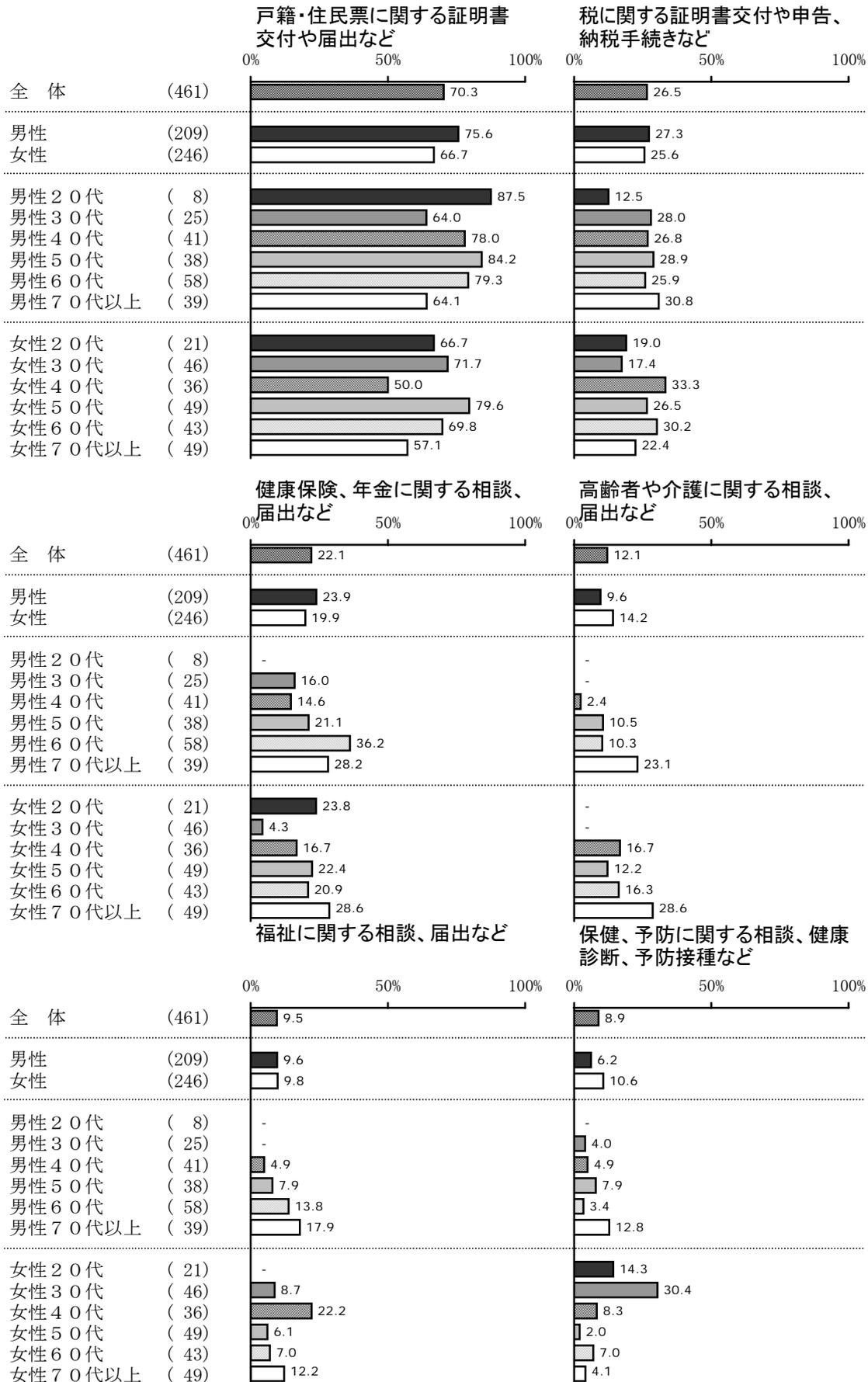


図2.1-2 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

<性別・性年代別> (上位6項目)

【基数：利用経験者(N=461)】

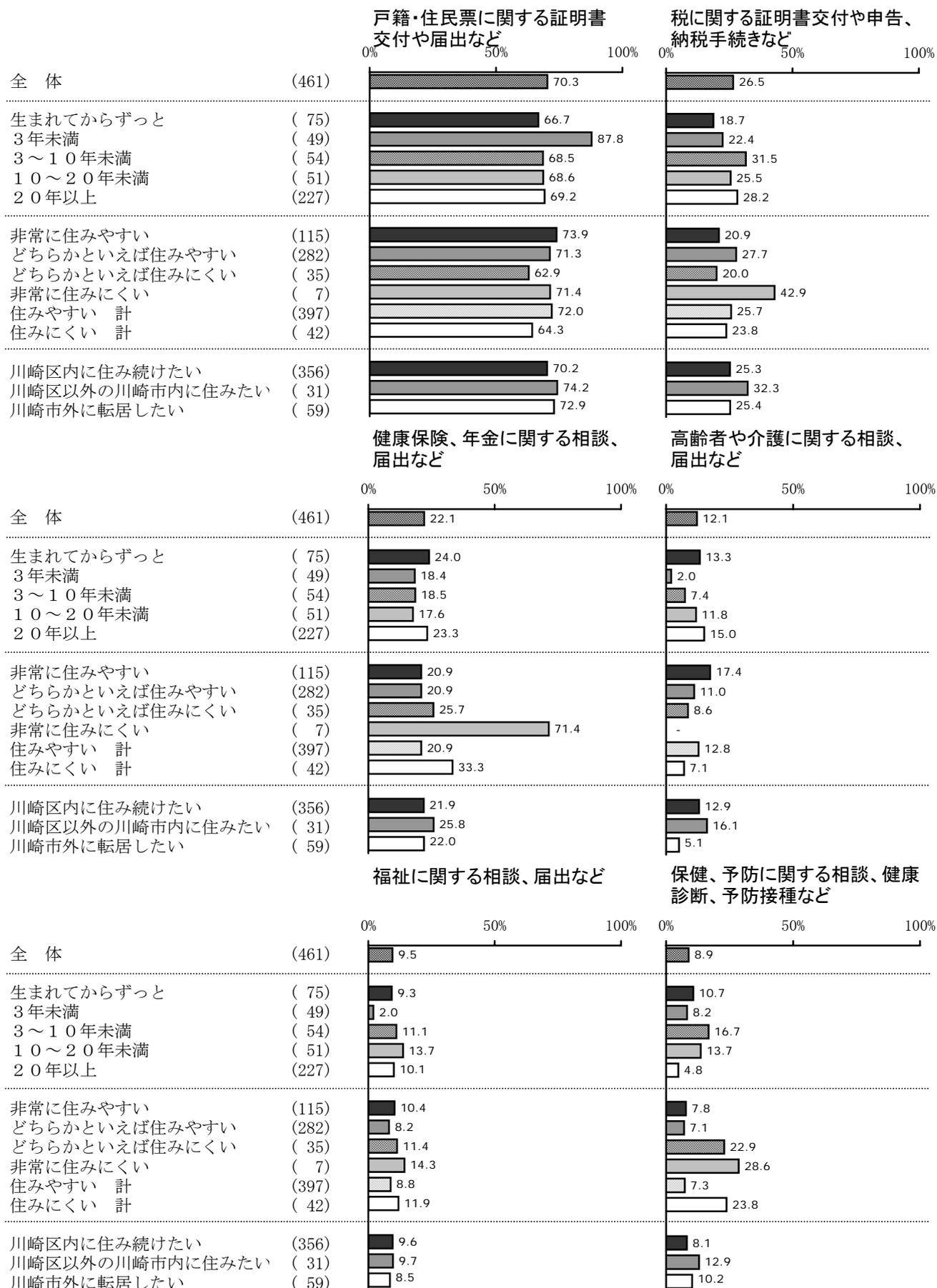


※上位7～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図2.1-3 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>(上位6項目)

【基数：利用経験者(N=461)】



※上位7～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

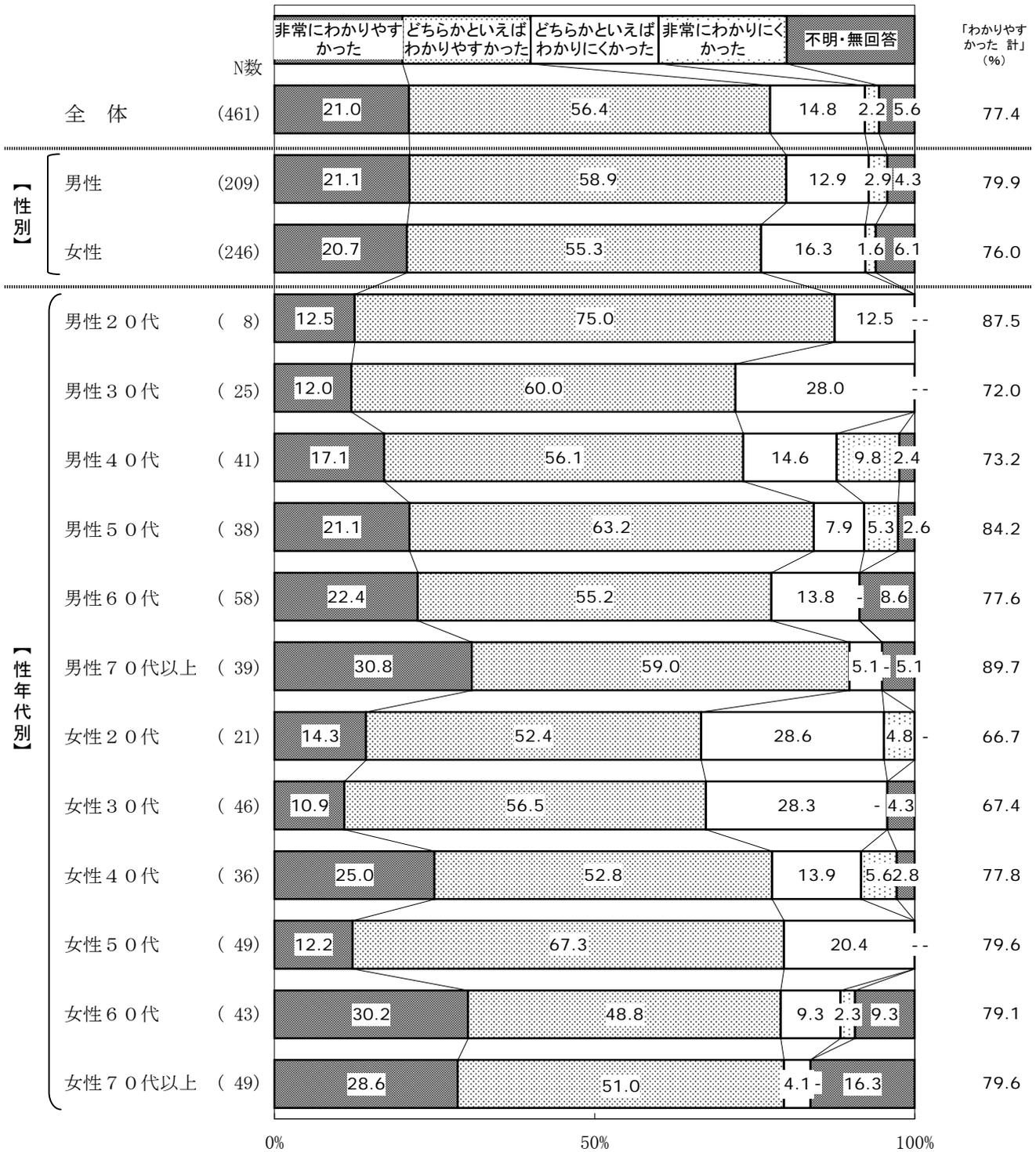
2. 2 窓口の場所のわかりやすさ

SQ 2. 川崎区役所・支所・行政サービスコーナーに行った際、用件があった窓口の場所について、あなたはどのようにお感じになりましたか。

- 全 体** 窓口の場所について、「どちらかといえばわかりやすかった」（56.4%）と「非常にわかりやすかった」（21.0%）をあわせた『わかりやすかった』と回答した人の割合（77.4%）は、約8割弱となっている。一方、「どちらかといえばわかりにくかった」（14.8%）と「非常にわかりにくかった」（2.2%）をあわせた『わかりにくかった』と回答した人の割合（17.0%）は約2割弱である。（図2.2-1）
- 性 別** 特に大きな違いはみられない。（図2.2-1）
- 性 年 代 別** 「男性」も「女性」も概ね年代が上がるにつれて『わかりやすかった』と回答した人の割合が多くなる傾向がある。『わかりにくかった』と回答した人の割合は、「男性30代」と「女性20代～30代」で約3割となっている。（図2.2-1）
- 居住年数別** 概ね居住年数が長くなるにつれて『わかりやすかった』と回答した人の割合が多くなる傾向がある。（図2.2-2）
- 川崎区の住みやすさ別** 『わかりやすかった』と回答した人の割合は、「住みやすい 計」（78.3%）で約8割となっている。一方、『わかりにくかった』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」で26.1%となっている。（図2.2-2）
- 定住意向別** 『わかりやすかった』と回答した人の割合は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（80.6%）で8割と多く、逆に、『わかりにくかった』と回答した人の割合は、「川崎市外に転居したい」（28.8%）で約3割となっている。（図2.2-2）

図2.2-1 窓口の場所のわかりやすさ<性別・性年代別>

【基数：利用経験者(N=461)】



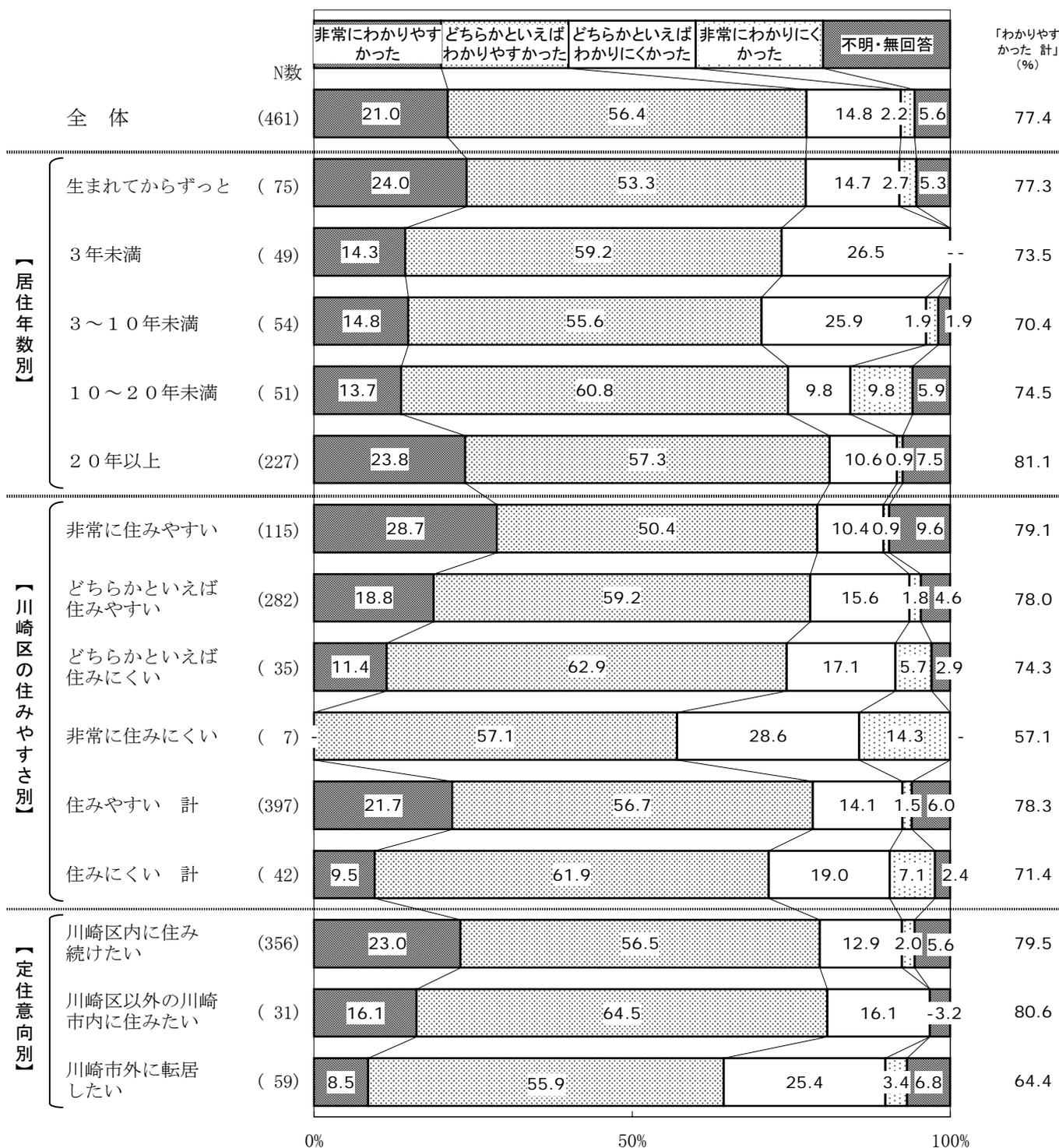
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図2.2-2 窓口の場所のわかりやすさ

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：利用経験者(N=461)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

2. 3 窓口が「わかりにくい」と感じたところ

SQ3. わかりにくかったと感じたのは、どのようなところでしょうか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全体** 窓口の場所が「わかりにくい」と感じたところは、「取り扱っている業務を示す窓口の表示板」と「用件を足すためには、どの窓口に行ったらいいのかの説明」が55.1%で並び、特に多くなっている。(図2.3-1)
- 性別** 「取り扱っている業務を示す窓口の表示板」は、「男性」(45.5%)より「女性」(61.4%)の方が16ポイント多くなっている。逆に、「用件を足すためには、どの窓口に行ったらいいのかの説明」は、「女性」(50.0%)より「男性」(63.6%)の方が14ポイント多くなっている。また、「フロアの見取り図」も、「女性」(9.1%)より「男性」(15.2%)の方が6ポイント多くなっている。(図2.3-2)
- 性年代別** 調査数が少ないため、コメントは割愛する。(図2.3-2)
- 居住年数別** 調査数が少ないため、コメントは割愛する。(図2.3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 調査数は少ないが、「取り扱っている業務を示す窓口の表示板」は、「住みにくい計」(45.5%)より「住みやすい計」(58.1%)の方が13ポイント多くなっている。(図2.3-3)
- 定住意向別** 「用件を足すためには、どの窓口に行ったらいいのかの説明」は、「川崎市外に転居したい」(41.2%)より「川崎区内に住み続けたい」(60.4%)や「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(60.0%)の方が多くなっている。(図2.3-3)

図2. 3-1 窓口が「わかりにくい」と感じたところ

【基数：窓口の場所が「わかりにくかった」と答えた人(N=78)】

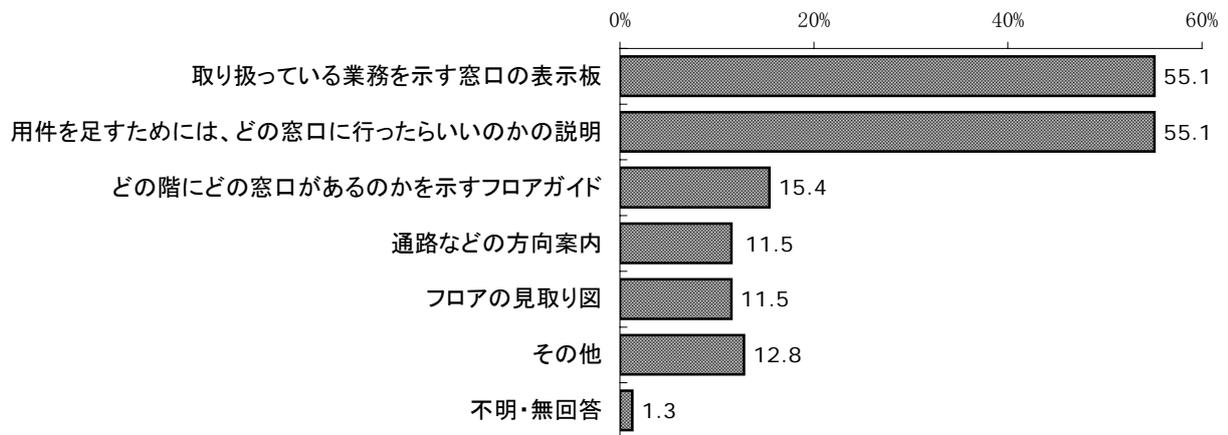
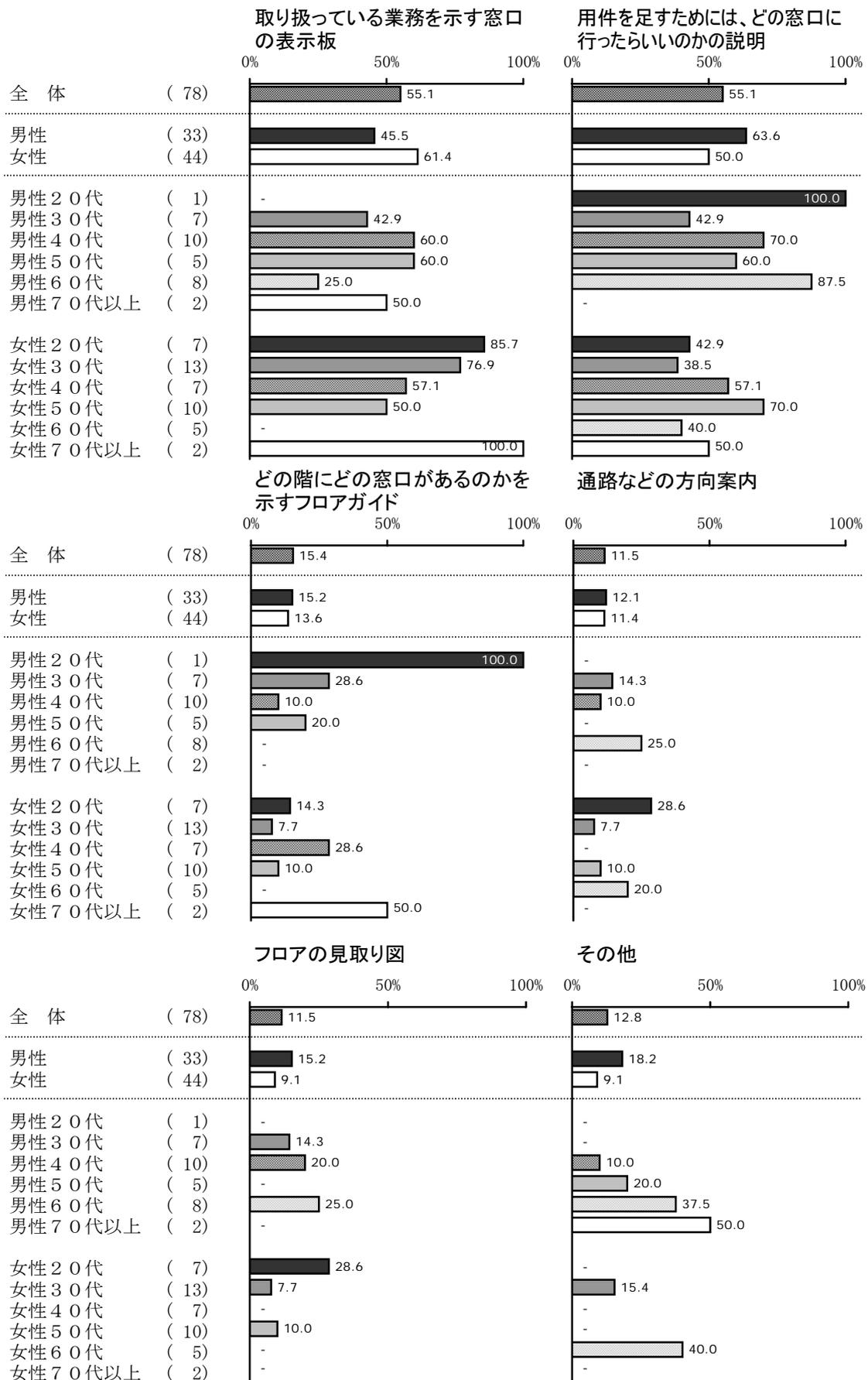


図2. 3-2 窓口が「わかりにくい」と感じたところ<性別・性年代別>
【基数：窓口の場所が「わかりにくかった」と答えた人(N=78)】

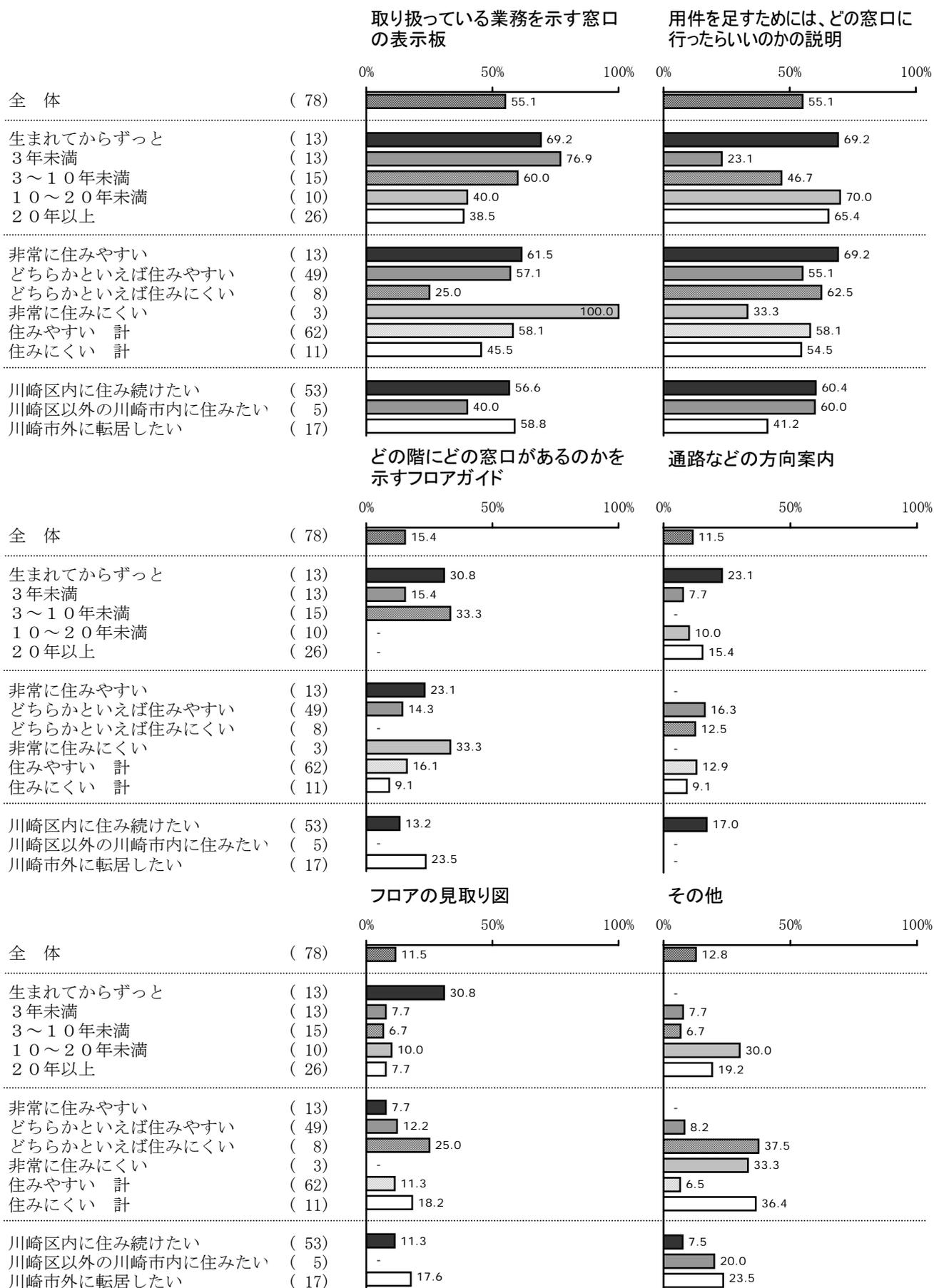


※「不明・無回答」は作図せず

図2. 3-3 窓口が「わかりにくい」と感じたところ

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：窓口の場所が「わかりにくかった」と答えた人(N=78)】



※「不明・無回答」は作図せず

3. 職員の対応についての満足度

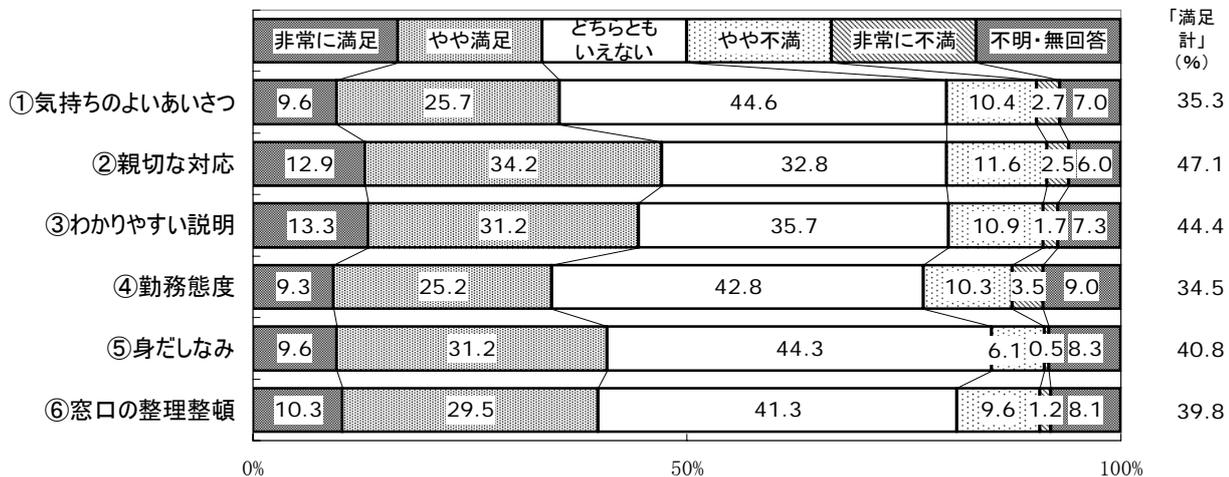
Q 3. あなたは、川崎区役所の窓口での職員の対応について、下記①～⑥のそれぞれに対してどのようにお感じになっていますか。 (○はすべての項目のヨコに1つずつ)

全項目（非常に満足～非常に不満までの5段階評価）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた『満足』と回答した人の割合が最も多いのは、「②親切な対応」（47.1%）である。一方、「④勤務態度」は、「やや不満」（10.3%）と「非常に不満」（3.5%）をあわせた『不満』と回答した人の割合（13.8%）が、他の項目に比べ多くなっている。（図3-1）

図3-1. 職員の対応についての満足度

【基数：全体(N=603)】

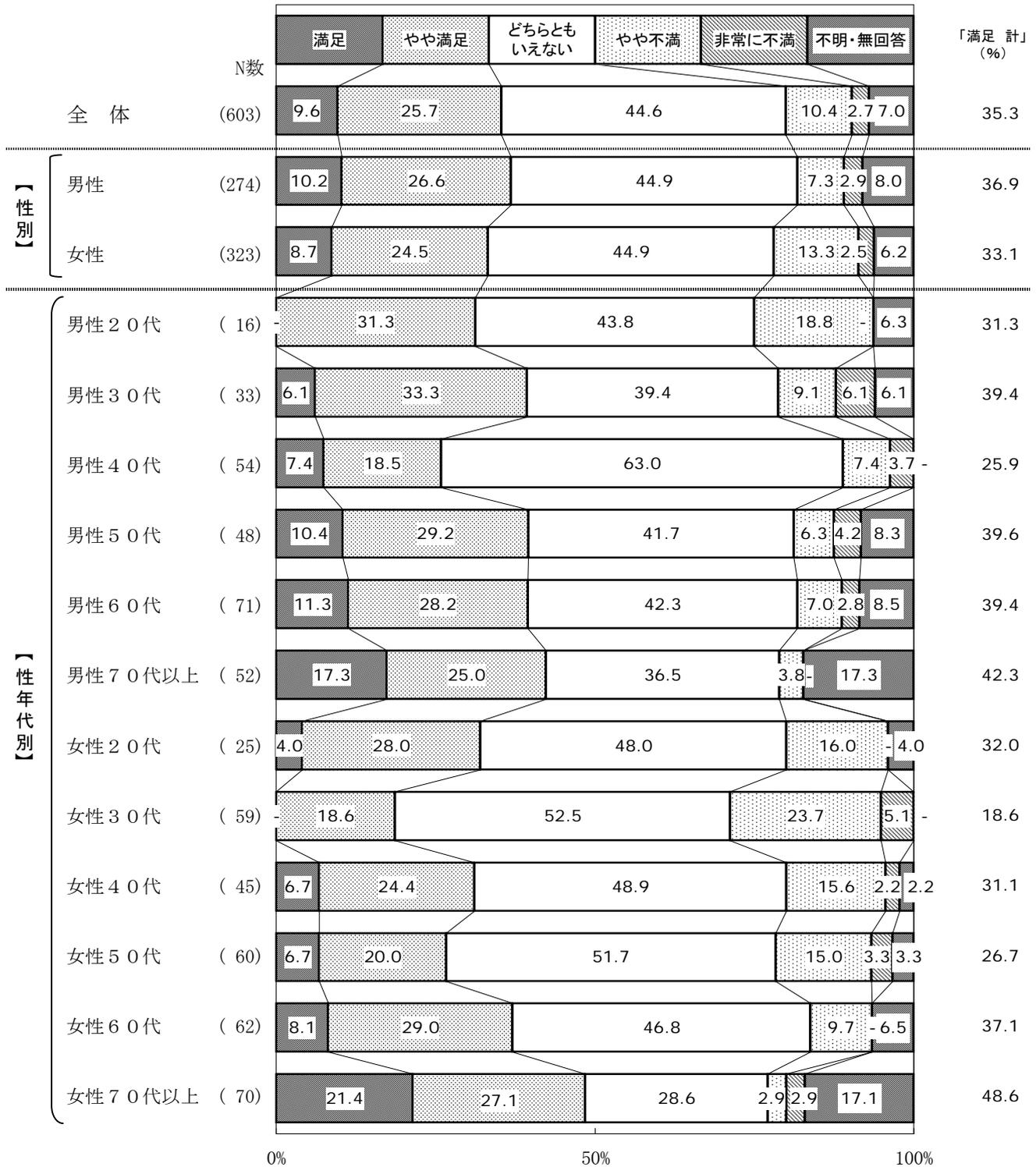


①気持ちのよあいさつ

- 性別** 『満足』と回答した人の割合は、「女性」（33.1%）、「男性」（36.9%）ともに、3割台半ばとなっている。一方、『不満』と回答した人の割合は、「男性」（10.2%）より「女性」（15.8%）の方が6ポイント多くなっている。（図3-2）
- 性年代別** 『満足』と回答した人の割合は、「男性30代」、「男性50代」、「男性60代以上」で4割前後となっており、「女性70代以上」（48.6%）は約5割と最も多い。一方、「女性30代」では、『不満』と回答した人の割合（28.8%）が約3割と他の年代に比べ多くなっている。（図3-2）
- 居住年数別** 「満足」と回答した人の割合は、「3年未満」で5.6%と最も低くなっているものの、これと「やや満足」（33.3%）をあわせた『満足』と回答した人の割合（38.9%）で見ると、約4割と最も多くなっている。（図3-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 『満足』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」（27.7%）より「住みやすい 計」（36.5%）の方が9ポイント多くなっている。（図3-3）
- 定住意向別** 『満足』と回答した人の割合は、「川崎区内に住み続けたい」（37.6%）で約4割と最も多くなっている。一方、『不満』と回答した人の割合は、「川崎市外に転居したい」で32.0%と3割を超える。（図3-3）

図3-2. ①気持ちのよいあいさつについての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



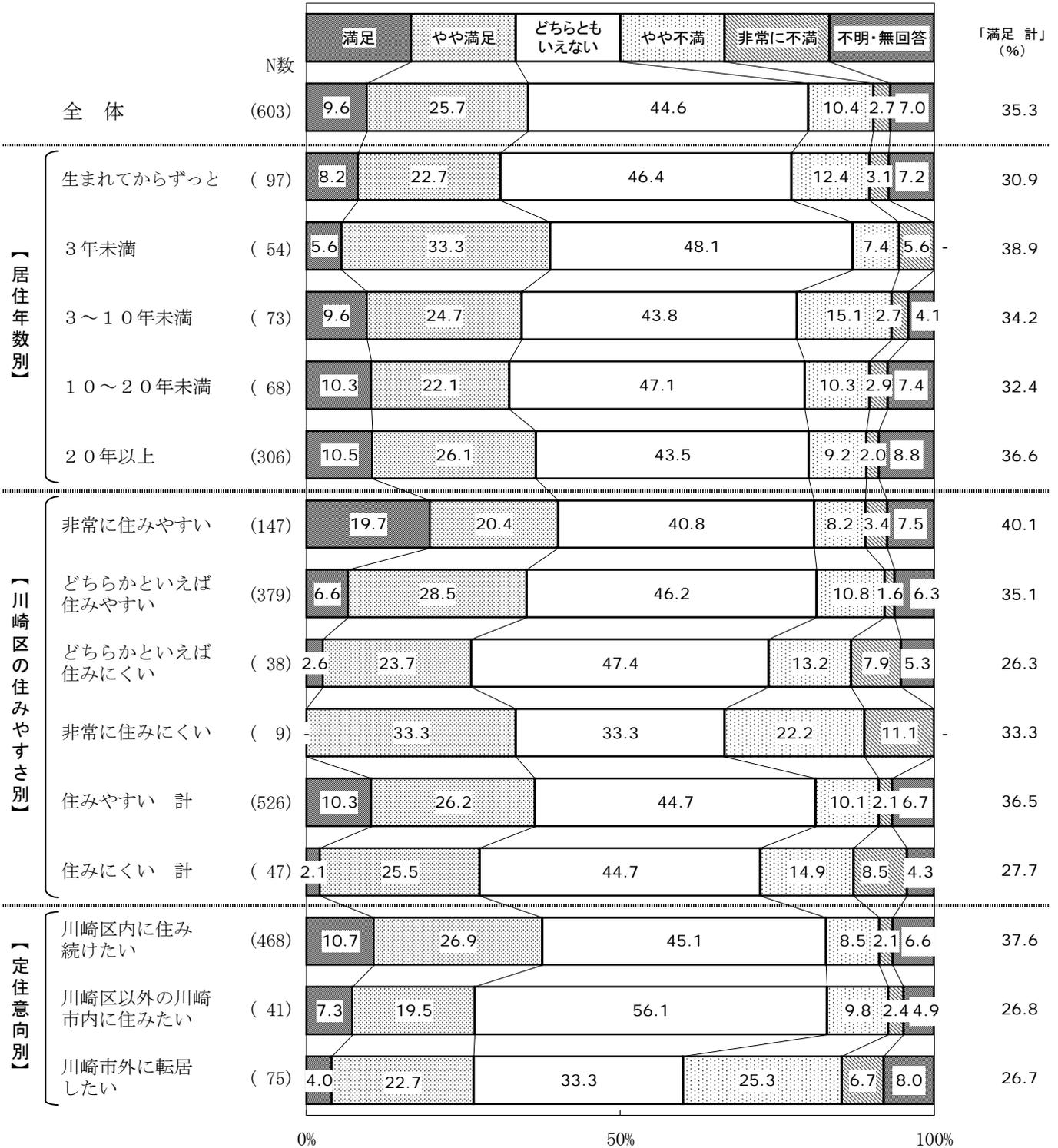
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-3. ①気持ちのよいあいさつについての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

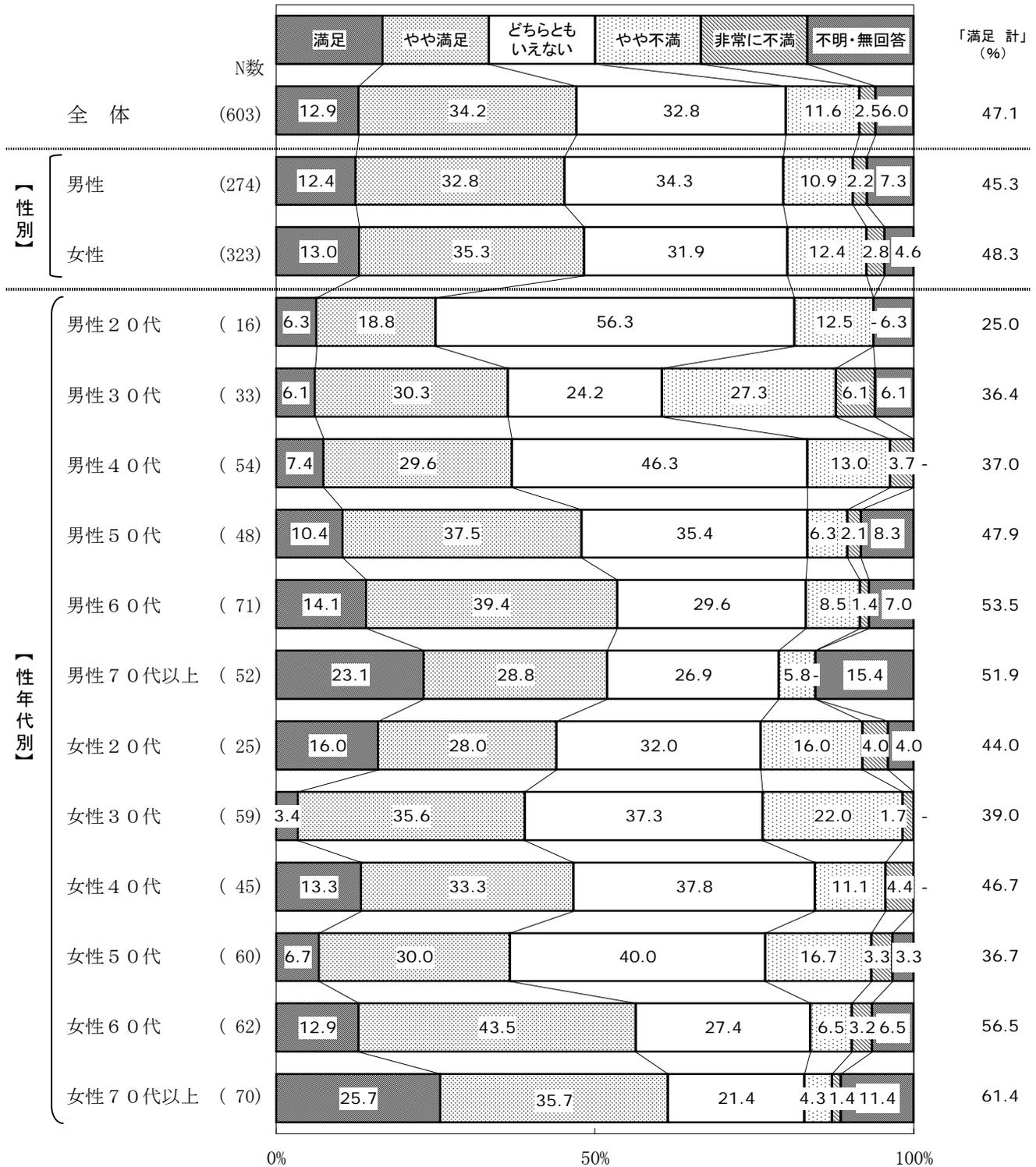
※属性が「不明・無回答」は作図せず

②親切な対応

- 性別 特に大きな違いはみられない。(図3-4)
- 性年代別 『満足』と回答した人の割合は、「女性70代以上」(61.4%)で6割を超え最も多くなっている。また、男性は概ね年代が上がるにつれて満足度が上がる傾向にある。一方、『不満』と回答した人の割合は、「男性30代」(33.4%)で3割を超え最も多くなっている。(図3-4)
- 居住年数別 『満足』と回答している人の割合は、「生まれてからずっと」(51.5%)と「20年以上」(48.0%)で5割前後となっている。(図3-5)
- 川崎区の住みやすさ別 『満足』と回答した人の割合は「住みやすい 計」(48.3%)で約5割となっている。一方、『不満』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」で23.4%と、「住みやすい 計」(13.1%)に比べ10ポイント多くなっている。(図3-5)
- 定住意向別 『満足』と回答した人の割合は、定住意向が強くなるにつれて多くなる傾向がある。(図3-5)

図3-4. ②親切な対応についての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



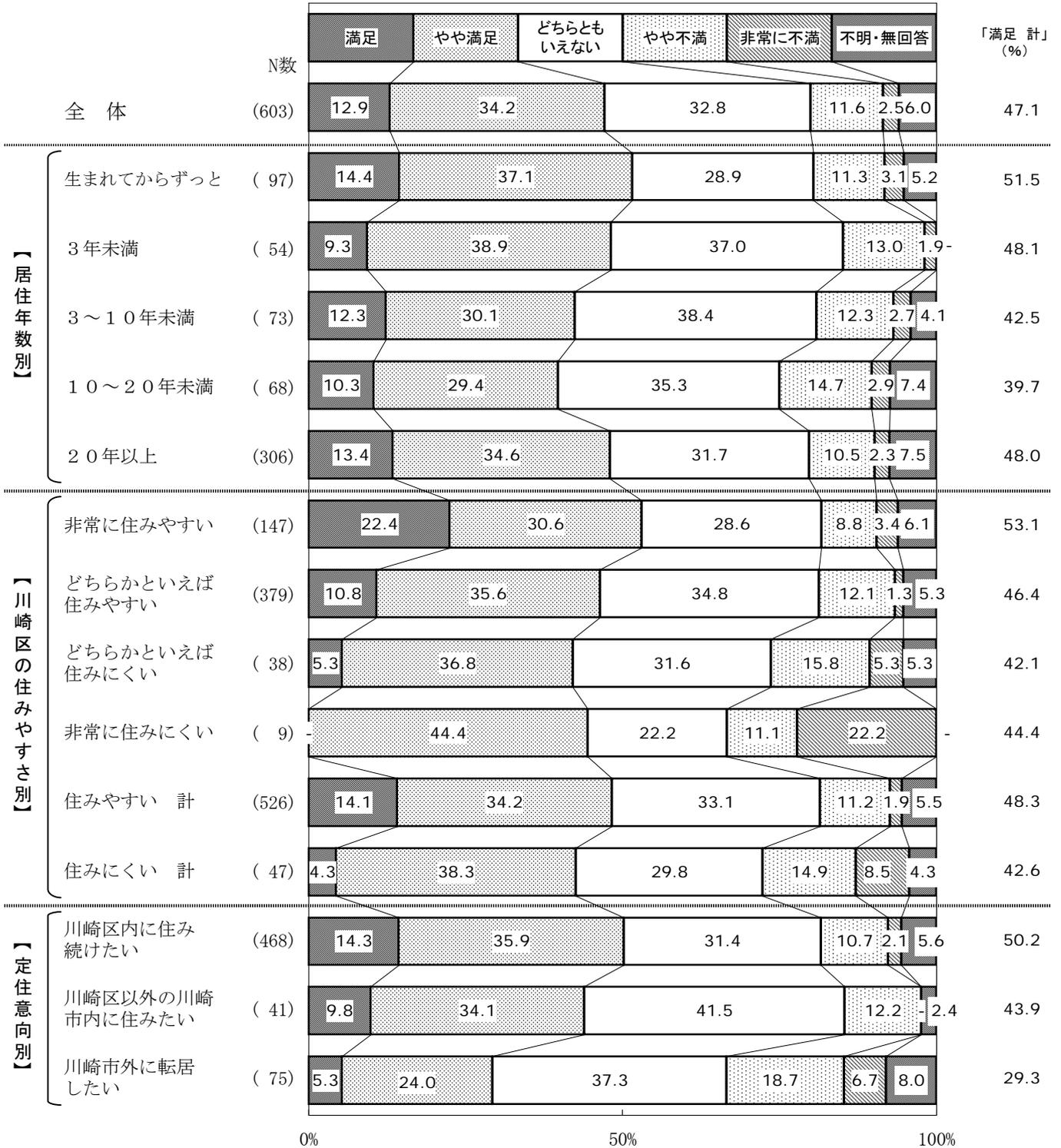
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-5. ②親切な対応についての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

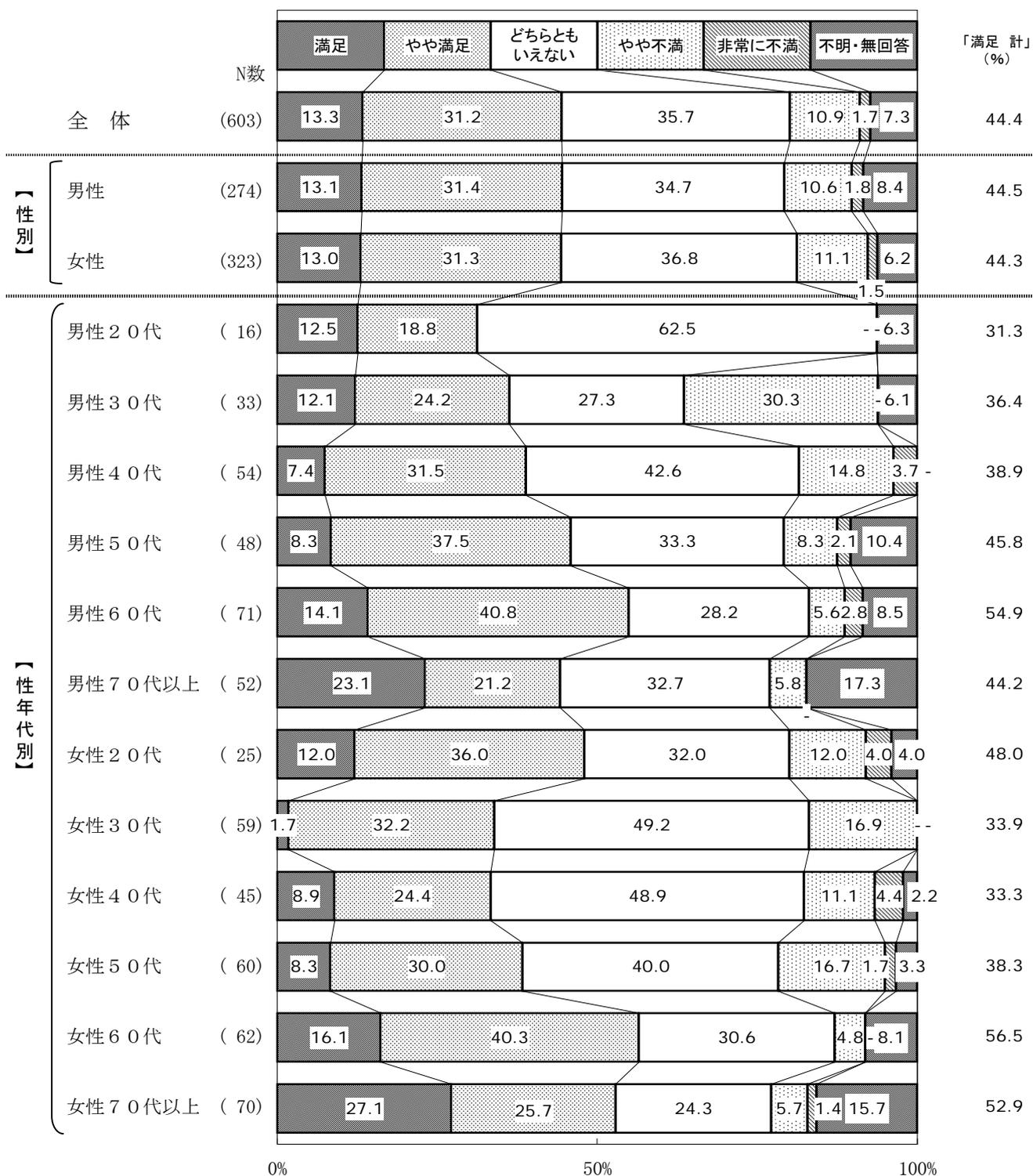
※属性が「不明・無回答」は作図せず

③わかりやすい説明

- 性 別 特に大きな違いはみられない。(図3-6)
- 性年代別 『満足』と回答した人の割合は、「男性60代」と「女性60代」で5割台半ばと多くなっている。一方、『不満』と回答した人の割合は、「男性30代」(30.3%)で3割と最も多くなっている。(図3-6)
- 居住年数別 『満足』と回答した人の割合に大きな違いはみられないが、「どちらともいえない」と回答した人の割合は、「3年未満」(46.3%)で4割台半ばとなっている。(図3-7)
- 川崎区の住みやすさ別 『満足』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」(36.2%)より「住みやすい 計」(46.2%)の方が10ポイント多くなっている。(図3-7)
- 定住意向別 『満足』と回答した人の割合は、定住意向が強くなるにつれて多くなる傾向があり、「川崎区内に住み続けたい」(48.3%)で約5割となっている。(図3-7)

図3-6. ③わかりやすい説明についての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



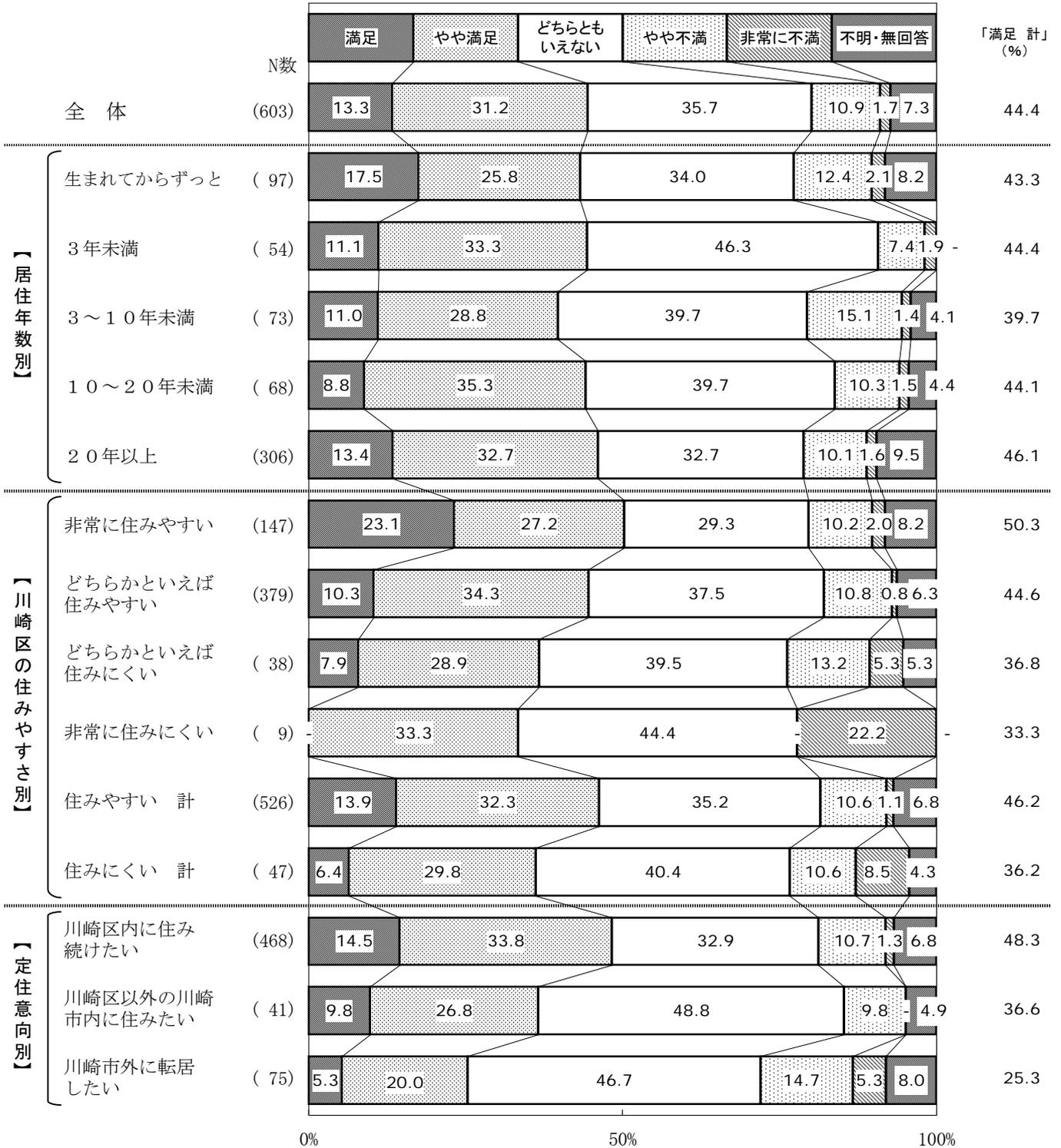
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-7. ③わかりやすい説明についての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

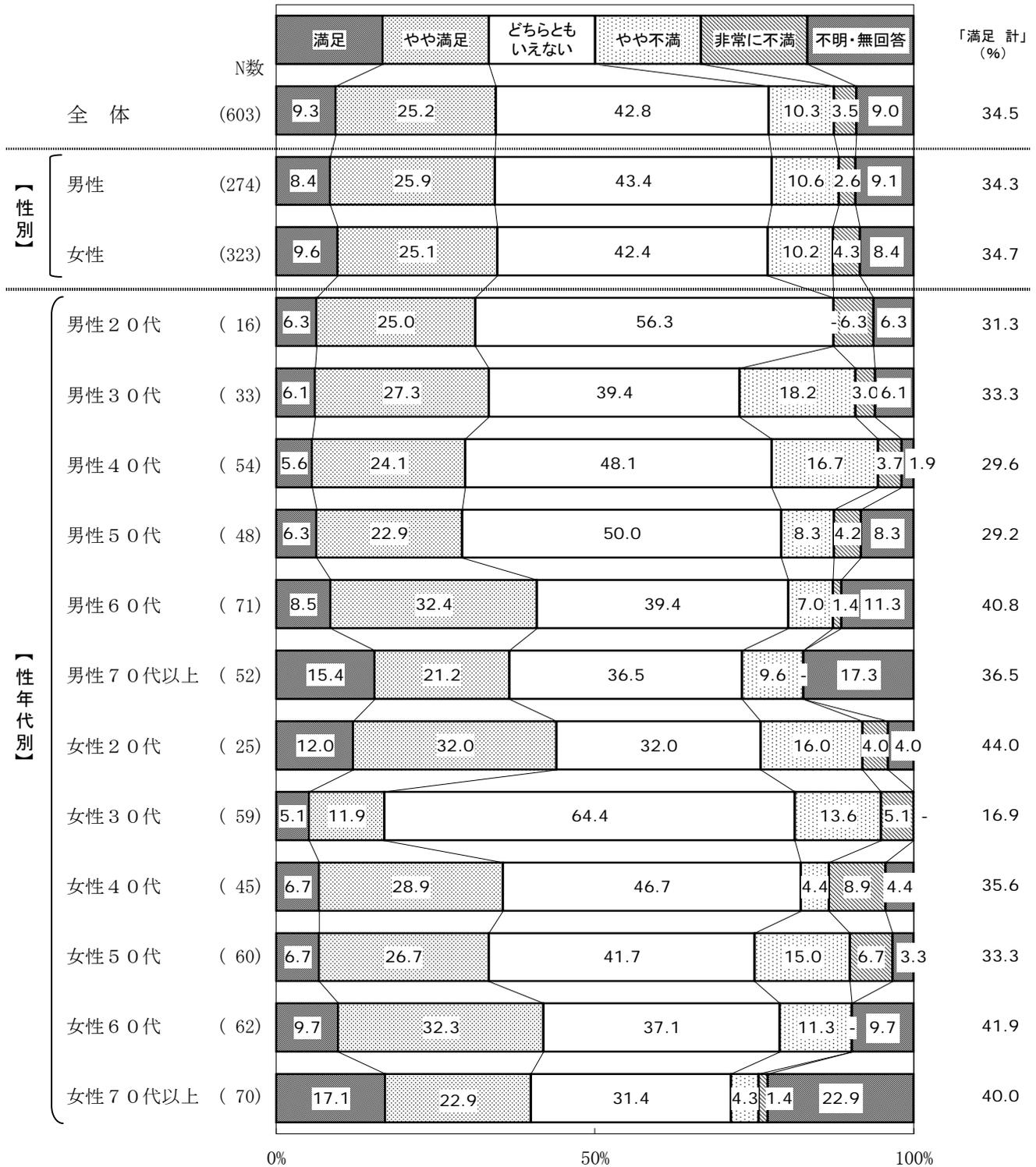
※属性が「不明・無回答」は作図せず

④勤務態度

- 性 別 特に大きな違いはみられない。(図3-8)
- 性年代別 『満足』と回答した人の割合は、「男性60代」、「女性20代」、「女性60代以上」で4割を超え多くなっている。(図3-8)
- 居住年数別 『満足』と回答した人の割合は、「生まれてからずっと」(38.1%)で約4割と最も多くなっている。一方で、『不満』と回答した人の割合も、「生まれてからずっと」が16.5%と最も多い。(図3-9)
- 川崎区の住みやすさ別 『満足』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」(19.1%)より「住みやすい 計」(36.3%)の方が17ポイント多くなっている。(図3-9)
- 定住意向別 『満足』と回答した人の割合は、定住意向が強くなるにつれて多くなる傾向があり、「川崎区内に住み続けたい」(38.9%)で約4割となっている。(図3-9)

図3-8. ④勤務態度についての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



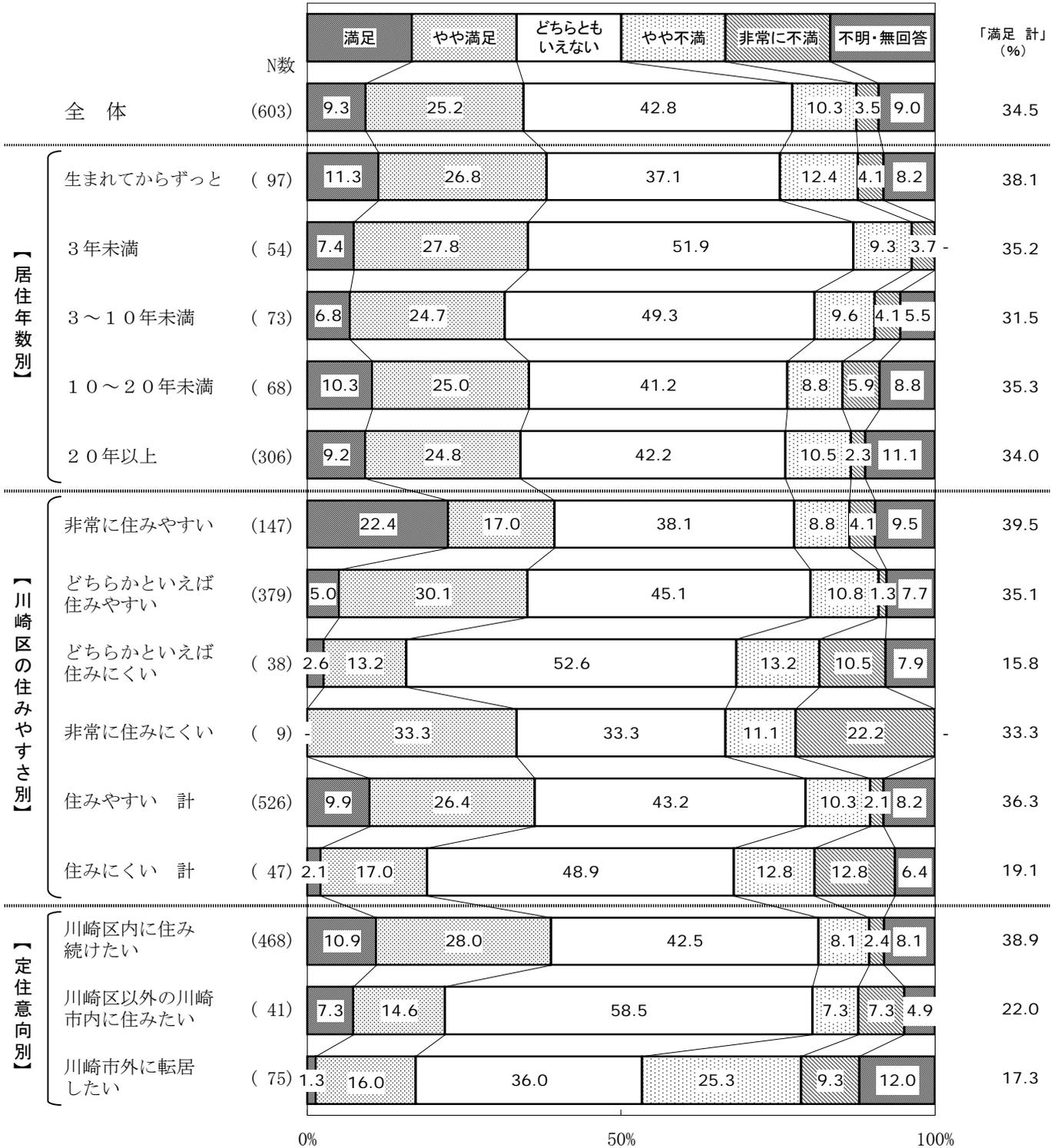
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-9. ④勤務態度についての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

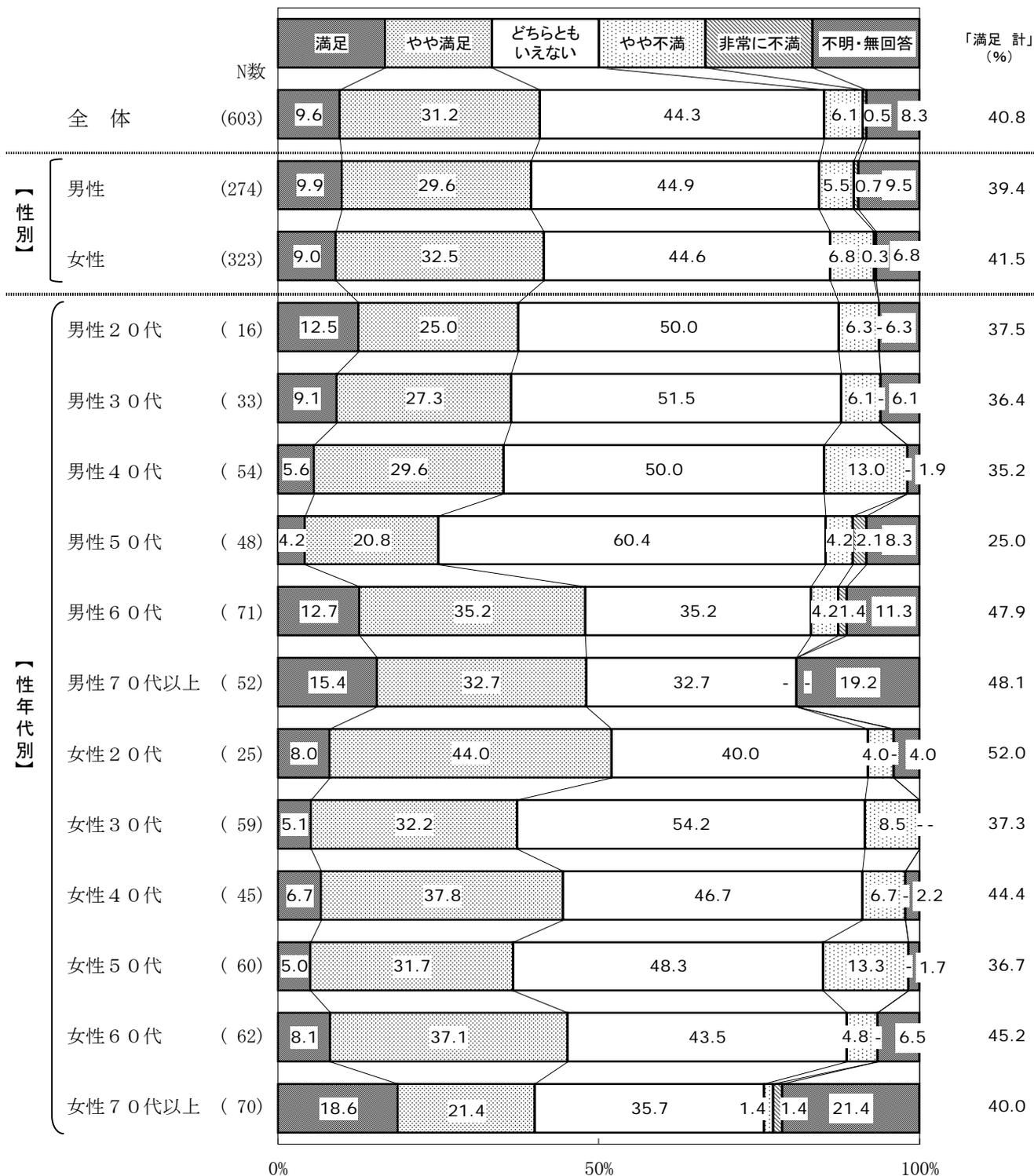
※属性が「不明・無回答」は作図せず

⑤身だしなみ

- 性 別 特に大きな違いはみられない。(図3-10)
- 性年代別 『満足』と回答した人の割合は、「男性60代以上」と「女性20代」で5割前後と多くなっている。(図3-10)
- 居住年数別 『満足』と回答した人の割合は、「生まれてからずっと」(46.4%)で4割台半ばと最も多くなっている。(図3-11)
- 川崎区の住みやすさ別 『満足』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」(34.0%)より「住みやすい 計」(41.3%)の方が7ポイント多くなっている。(図3-11)
- 定住意向別 『満足』と回答した人の割合は、定住意向が強くなるにつれて多くなる傾向があり、「川崎区内に住み続けたい」(44.9%)で4割台半ばとなっている。(図3-11)

図3-10. ⑤身だしなみについての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



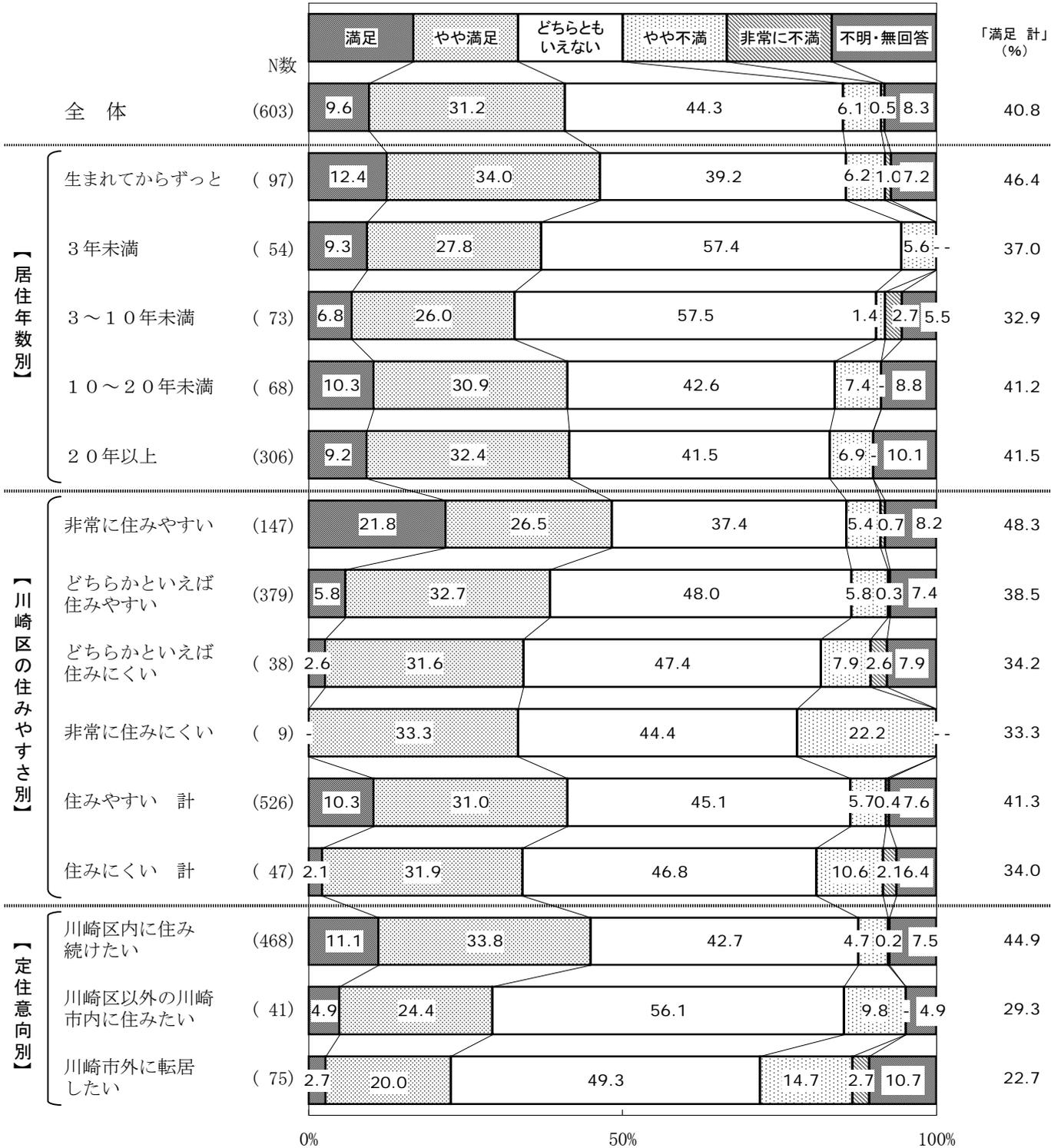
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-11. ⑤身だしなみについての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

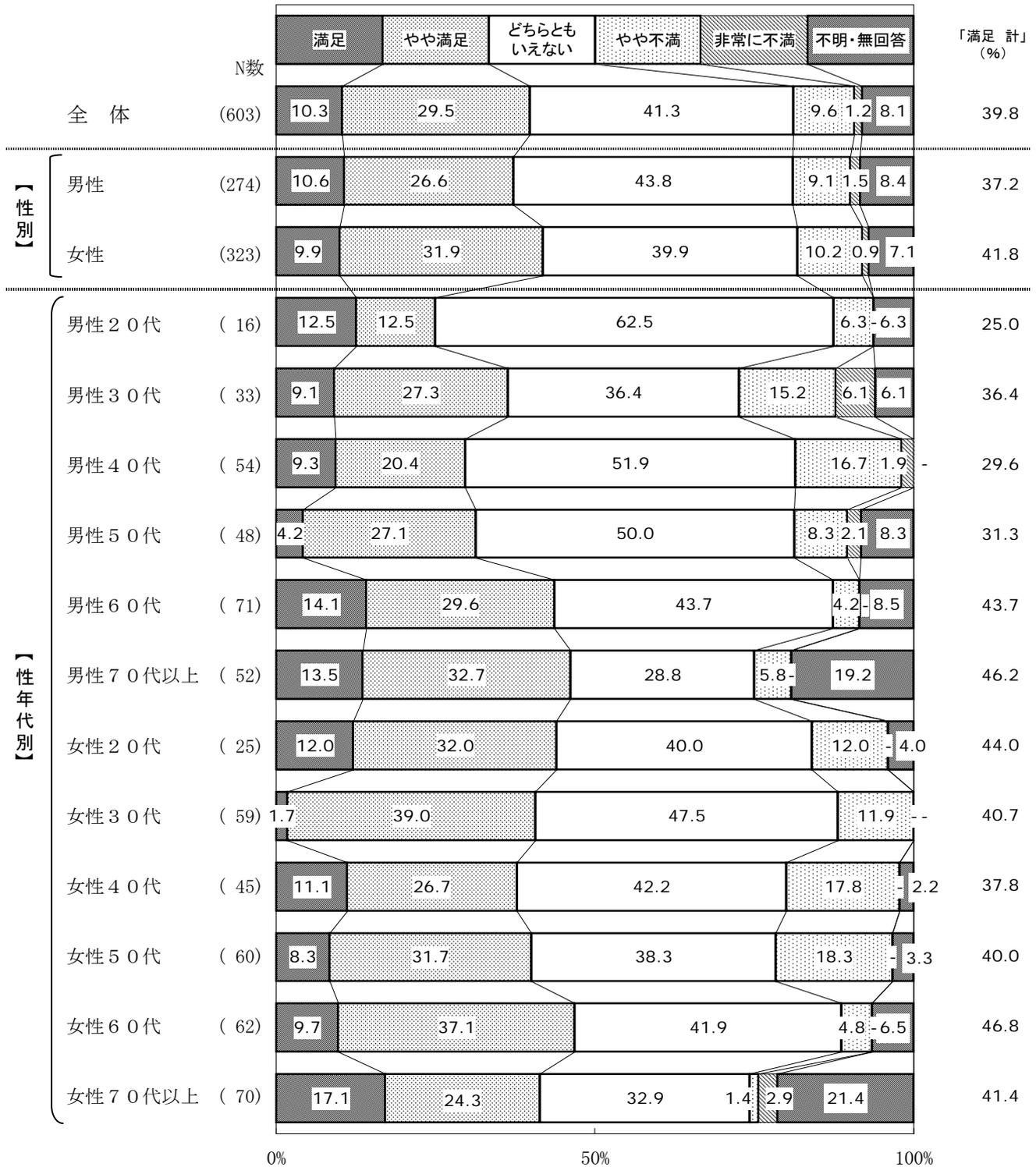
※属性が「不明・無回答」は作図せず

⑥窓口の整理整頓

- 性別 『満足』と回答した人の割合は、「男性」（37.2%）より「女性」（41.8%）の方が5ポイント多くなっている。（図3-12）
- 性年代別 『満足』と回答した人の割合は、「男性60代以上」と「女性20代」、「女性60代」で4割台半ばと多くなっている。（図3-12）
- 居住年数別 『満足』と回答した人の割合は、「生まれてからずっと」（44.3%）で4割台半ばと最も多くなっている。（図3-13）
- 川崎区の住みやすさ別 『満足』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」（31.9%）より「住みやすい 計」（40.3%）の方が9ポイント多くなっている。（図3-13）
- 定住意向別 『満足』と回答した人の割合は、定住意向が強くなるにつれて多くなる傾向があり、「川崎区内に住み続けたい」（42.7%）で4割を超えている。（図3-13）

図3-12. ⑥窓口の整理整頓についての満足度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



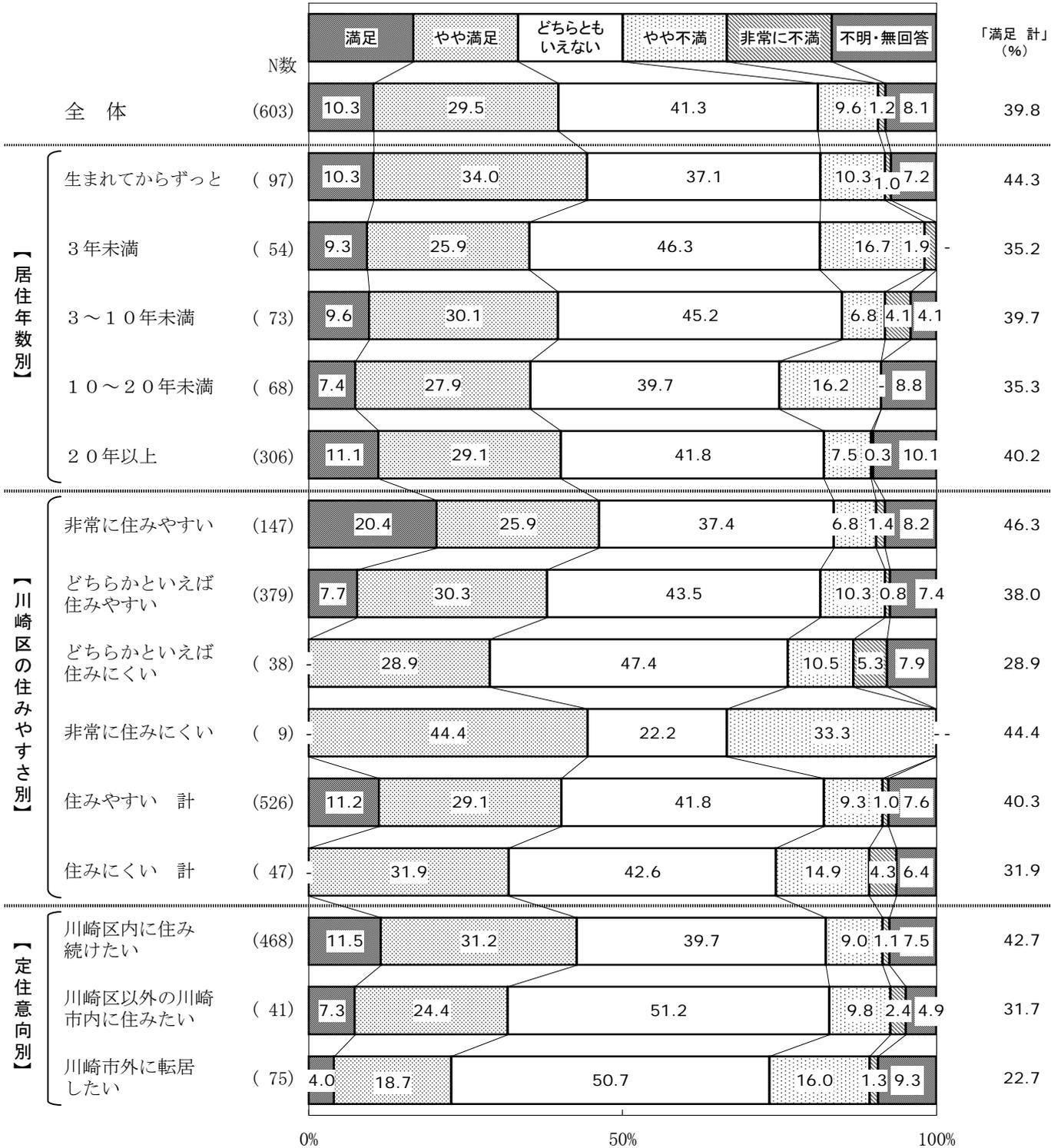
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図3-13. ⑥窓口の整理整頓についての満足度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

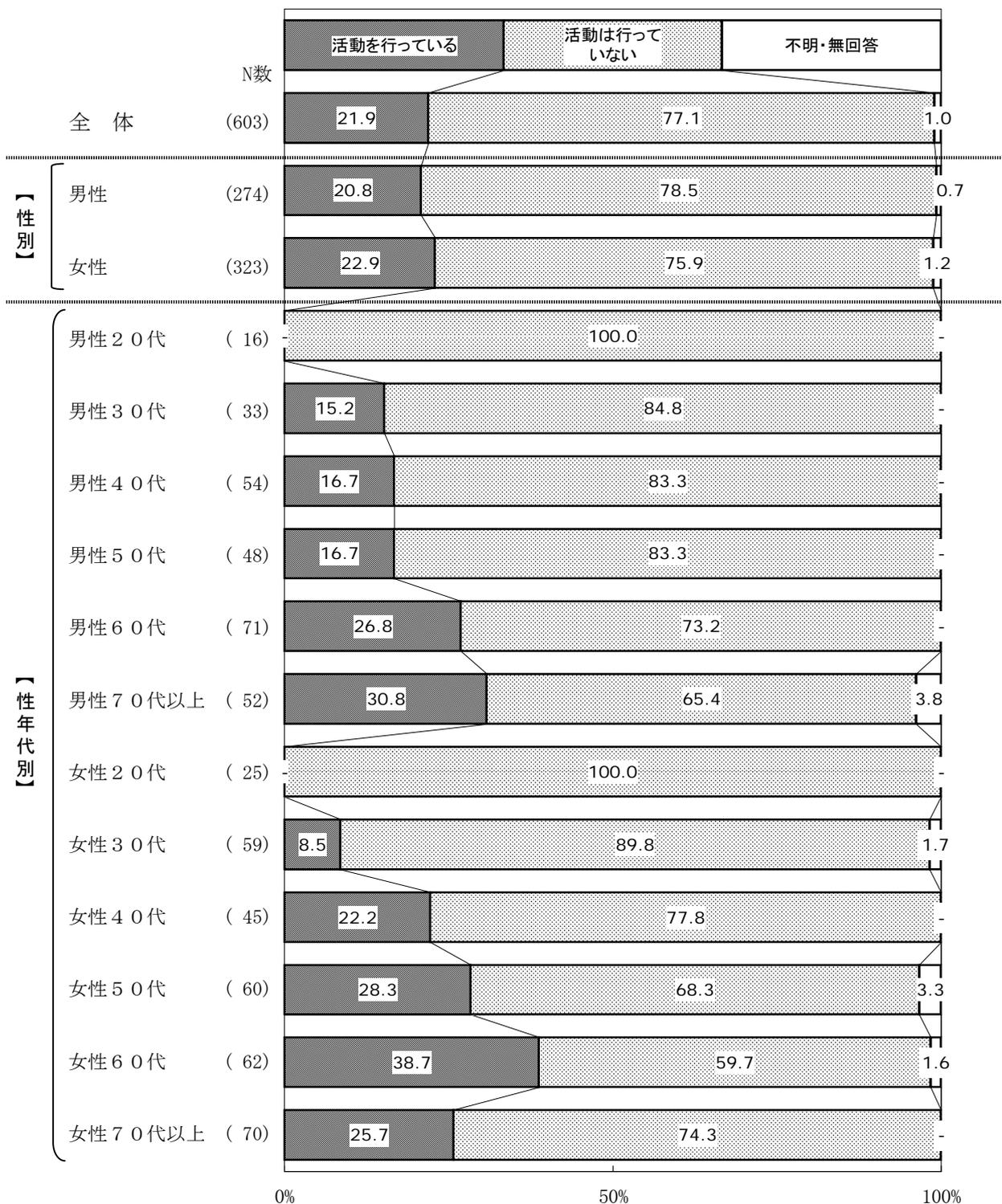
※属性が「不明・無回答」は作図せず

4. 地域活動（団体、ボランティア活動、サークルなど）の活動状況

Q 4. あなたは、地域の団体での活動やボランティア活動、サークル活動などの地域活動を行っていますか。
(○は1つだけ)

- 全 体** 地域活動（団体、ボランティア、サークルなど）の「活動は行っていない」人の割合（77.1%）は約8割弱を占め、「活動を行っている」人の割合は21.9%となっている。（図4-1）
- 性 別** 特に大きな違いはみられない。（図4-1）
- 性年代別** 「男性」も「女性」も概ね年代が上がるにつれて「活動を行っている」人の割合が多くなる傾向がある。一方、調査数は少ないが、「男性20代」と「女性20代」は全員が「活動は行っていない」と回答している。（図4-1）
- 居住年数別** 概ね居住年数が上がるにつれて「活動を行っている」人の割合が多くなる傾向がある。（図4-2）
- 川崎区の住みやすさ別** 特に大きな違いはみられない。（図4-2）
- 定住意向別** 「活動を行っている」人の割合は、「川崎市外に転居したい」（26.7%）で2割台半ばと最も多くなっている。一方、「活動は行っていない」人の割合は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（90.2%）で9割となっている。（図4-2）

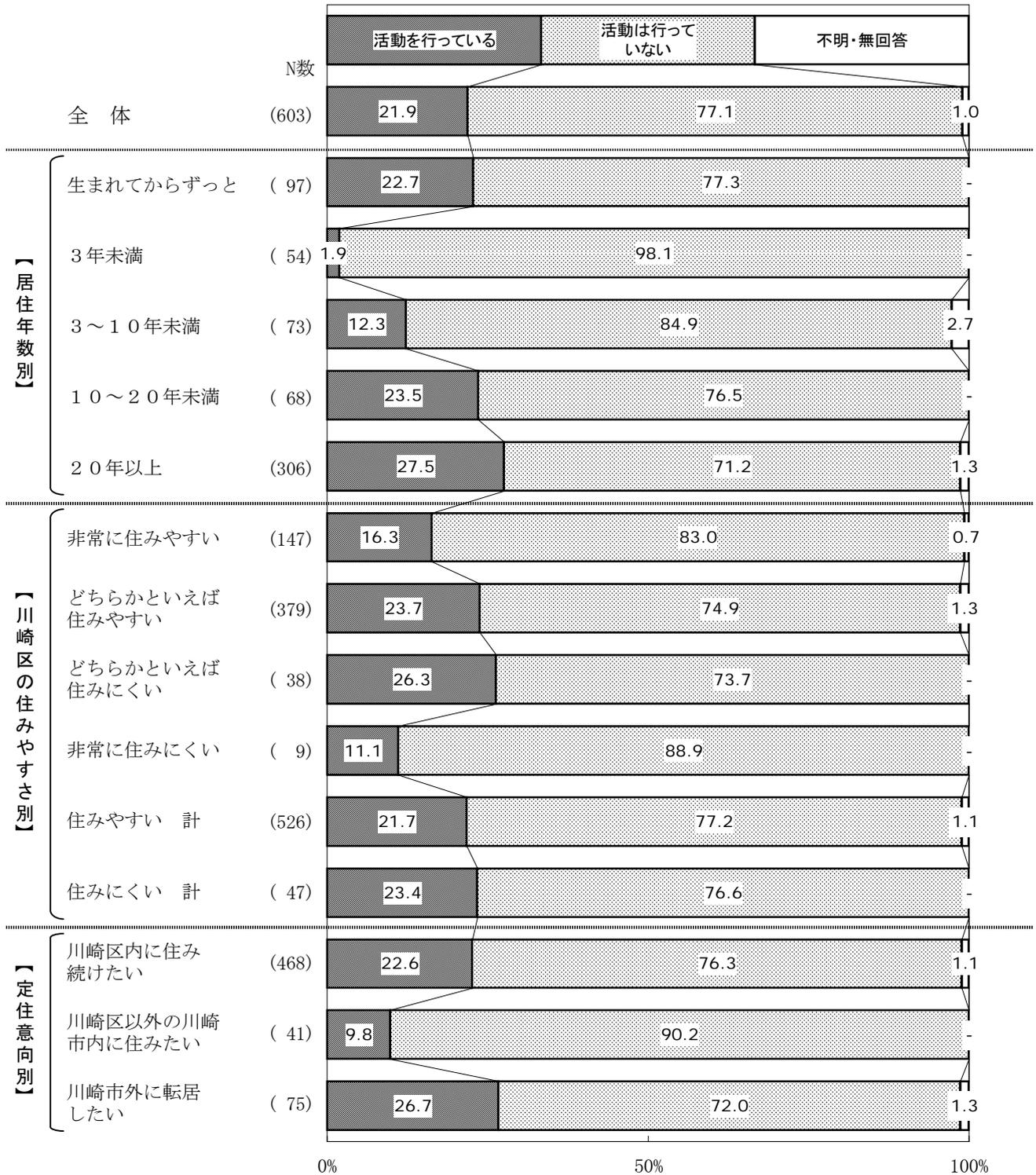
図4-1. 地域活動(団体、ボランティア活動、サークルなど)の活動状況
 <性別・性年代別>
 【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図4-2. 地域活動(団体、ボランティア活動、サークルなど)の活動状況
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
 【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

4. 1 地域活動の団体の活動分野

S Q 1.あなたが地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

- 全 体** 地域活動の団体の活動分野は、「町内会・自治会に関する活動」（63.6%）が6割台半ばで最も多くなっている。（図4.1-1）
- 性 別** 「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」と「防犯・防火に関する活動」で「女性」より「男性」の方が多くなっており、特に「防犯・防火に関する活動」では、「男性」が29.8%、「女性」が6.8%で、「男性」の方が23ポイント多くなっている。一方、「趣味や余暇をいかした活動」では、「男性」（10.5%）より「女性」（20.3%）方が10ポイント多くなっている。（図4.1-2）
- 性年代別** 調査数は少ないが、「町内会・自治会に関する活動」は、「男性70代以上」と「女性70代以上」で8割を超え多くなっている。また、「男性70代以上」は、「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」、「福祉や健康増進に関する活動」、「防犯・防火に関する活動」の活動において、他の性年代よりも活動している割合が多くなっている。（図4.1-2）
- 居住年数別** 「町内会・自治会に関する活動」は、「20年以上」（71.4%）で7割を超え多くなっている。（図4.1-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 調査数は少ないが、「町内会・自治会に関する活動」は、「住みにくい計」（45.5%）より「住みやすい計」（65.8%）の方が20ポイント多くなっている。（図4.1-3）
- 定住意向別** 「町内会・自治会に関する活動」で、「川崎区内に住み続けたい」（65.1%）と「川崎市外に転居したい」（65.0%）が6割台半ばとなっている。（図4.1-3）

図4. 1-1 地域活動の団体の活動分野

【基数：地域活動を「行っている」人(N=132)】

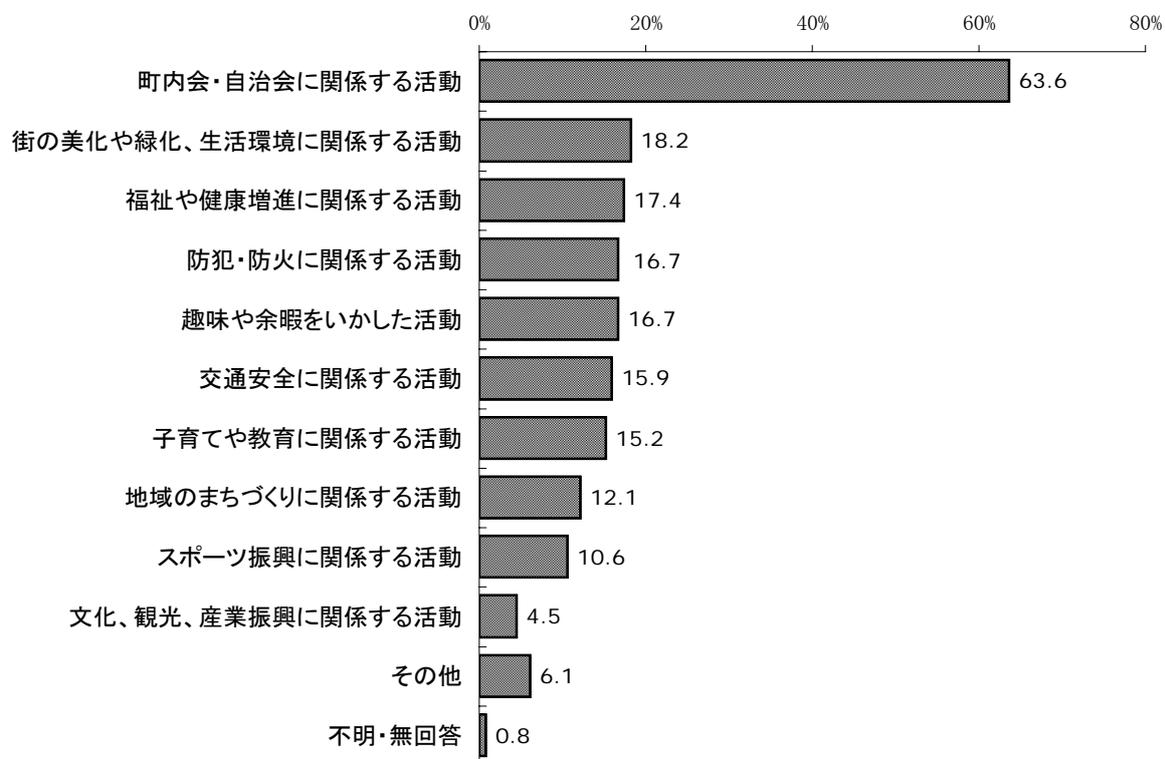
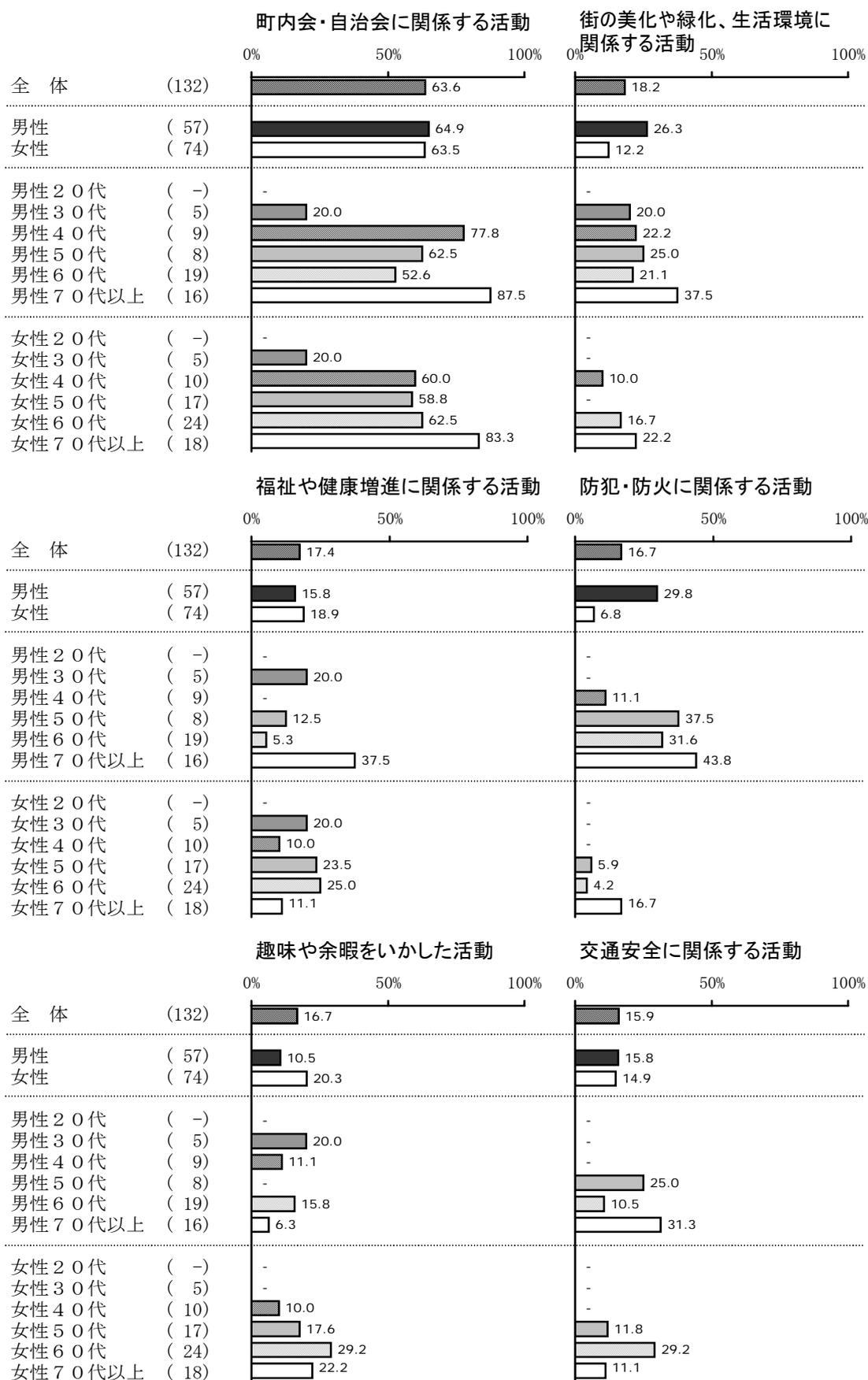


図4.1-2 地域活動の団体の活動分野<性別・性年代別> (上位6項目)

【基数：地域活動を「行っている」人(N=132)】

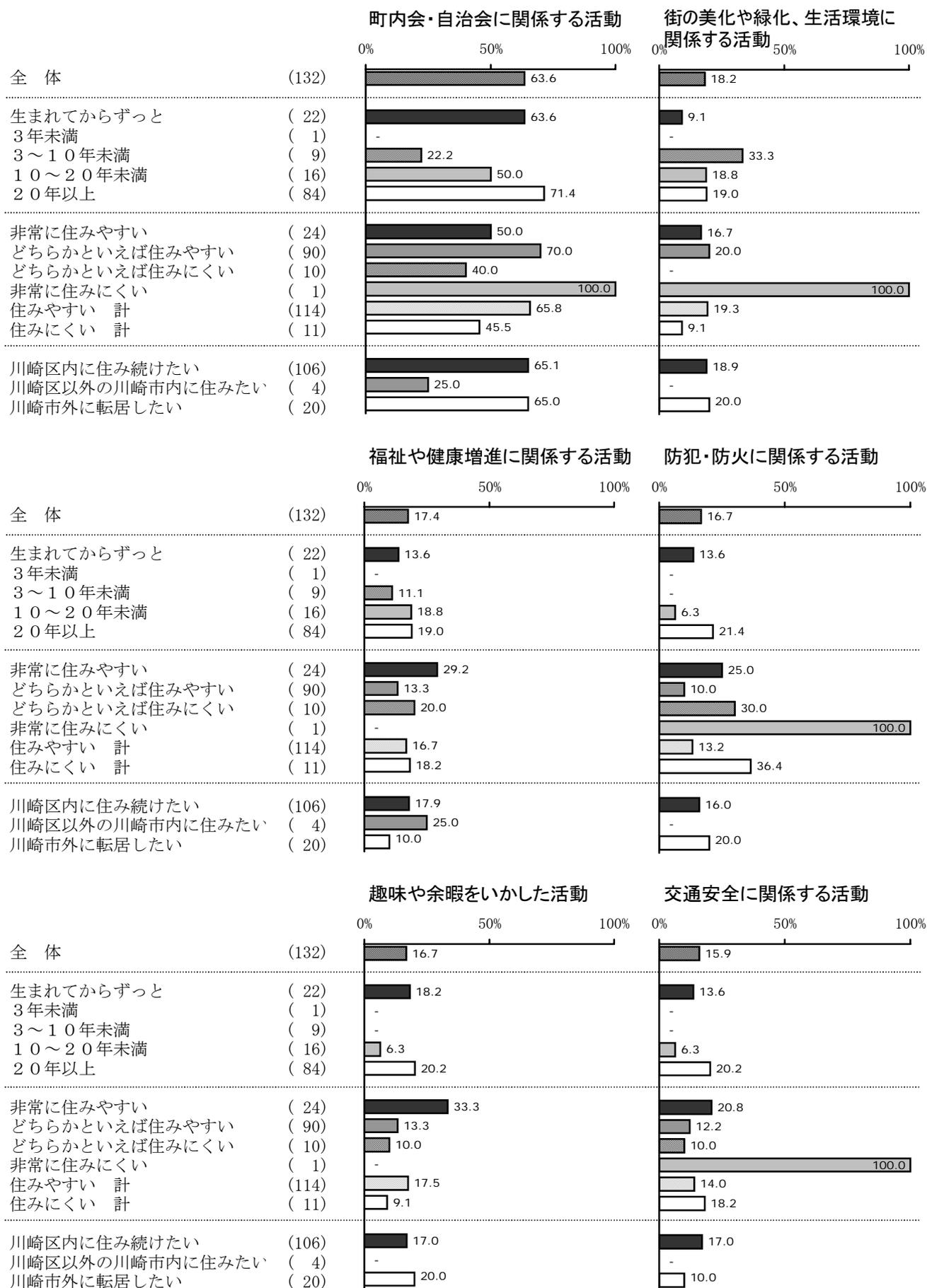


※上位7～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図4.1-3 地域活動の団体の活動分野

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞（上位6項目）

【基数：地域活動を「行っている」人（N=132）】



※上位7～10位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

4. 2 地域活動を行っていない理由

S Q 2.あなたが地域活動を行っていない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 地域活動を行っていない理由は、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」(47.7%)が約5割弱で最も多く、次いで、「地域で活動するきっかけがないため」が43.2%となっている。(図4.2-1)
- 性 別** 「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」は、「男性」(43.3%)より「女性」(52.2%)の方が9ポイント多くなっている。一方、「地域で活動するきっかけがないため」は、「女性」(38.0%)より「男性」(49.8%)の方が12ポイント多くなっている。(図4.2-2)
- 性年代別** 「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」は、「男性」と「女性」ともに年代が下がるにつれて割合が多くなる傾向があり、特に「女性30代」(81.1%)は8割を超えている。また、「地域で活動するきっかけがないため」は、「男性60代」(57.7%)で約6割弱と最も多くなっている。(図4.2-2)
- 居住年数別** 「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」は、「3～10年」(61.3%)で6割を超えている。また、「地域で活動するきっかけがないため」は、「3未満」で54.7%と多くなっている。(図4.2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」は、「住みにくい 計」(63.9%)で6割台半ばと多くなっており、「住みやすい計」(46.8%)と比べて17ポイント多くなっている。また、「地域での付き合いがわずらわしいため」も、「住みやすい計」(11.6%)より「住みにくい 計」(16.7%)の方が5ポイント多くなっている。逆に、「地域で活動するきっかけがないため」は、「住みにくい 計」(38.9%)より「住みやすい 計」(43.3%)の方が4ポイント多くなっている。(図4.2-3)
- 定住意向別** 「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」と「地域で活動するきっかけがないため」は、定住意向が弱まるにつれて多くなる傾向がみられる。(図4.2-3)

図4.2-1 地域活動を行っていない理由

【基数：地域活動を「行っていない」人(n=465)】

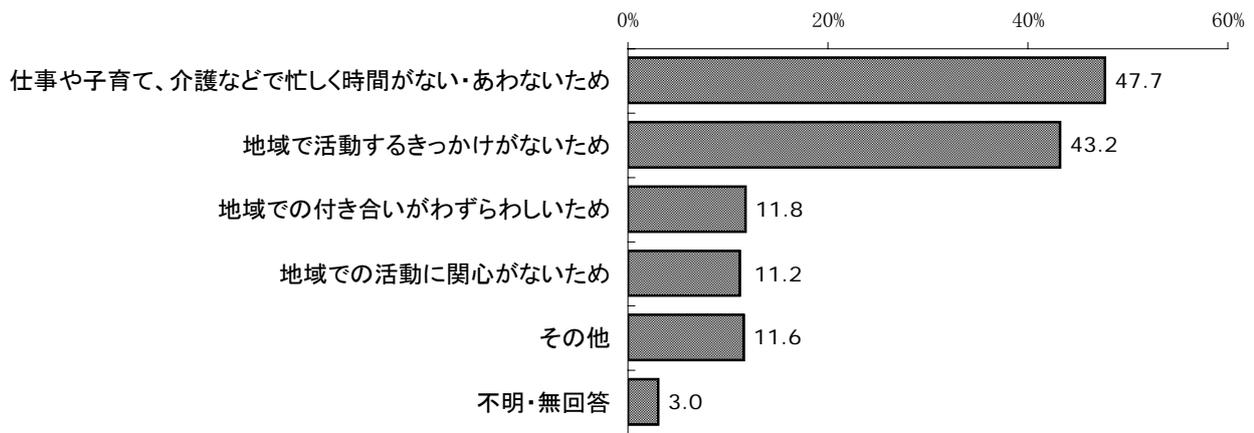
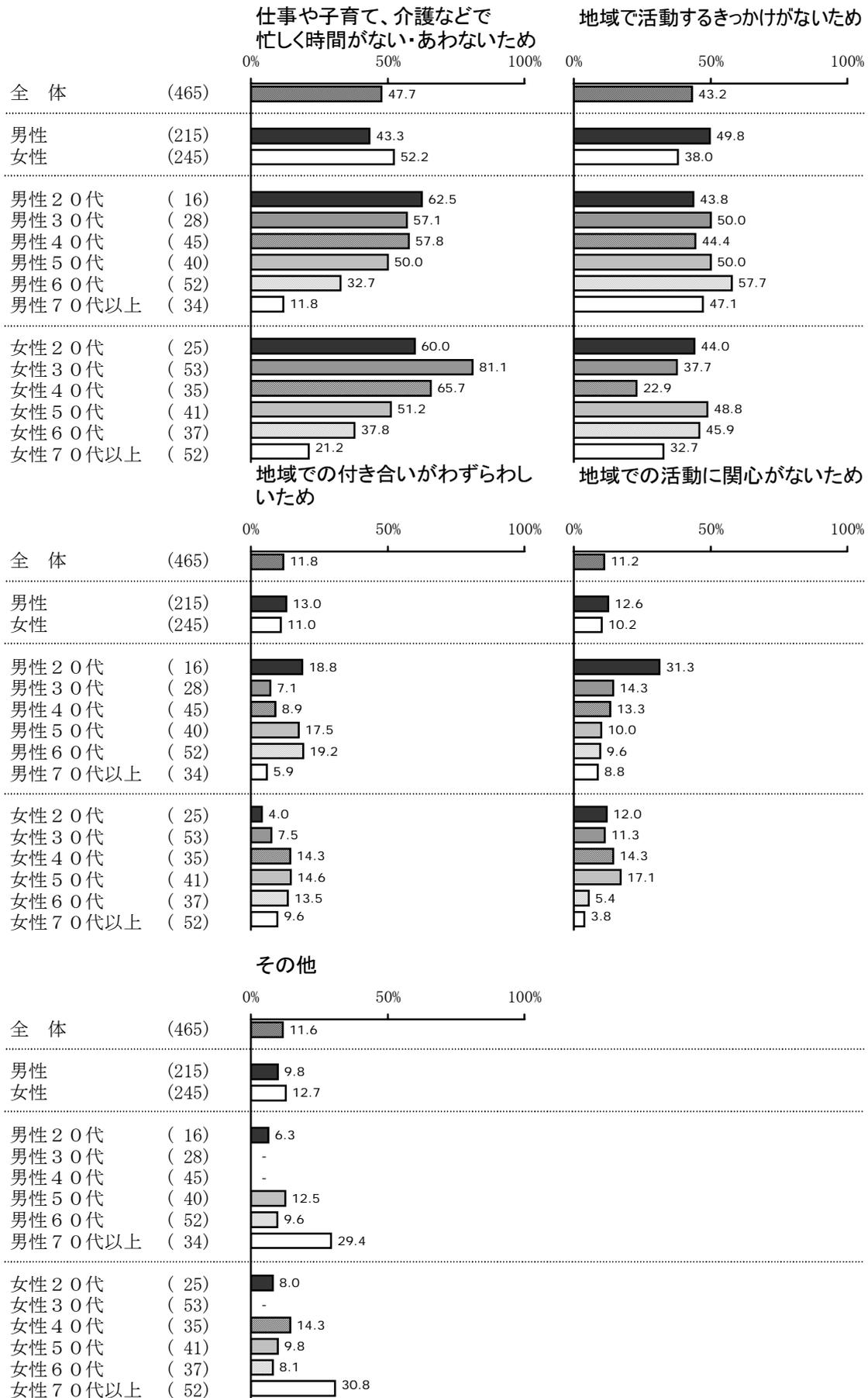


図4.2-2 地域活動を行っていない理由<性別・性年代別>

【基数：地域活動を「行っていない」人(n=465)】

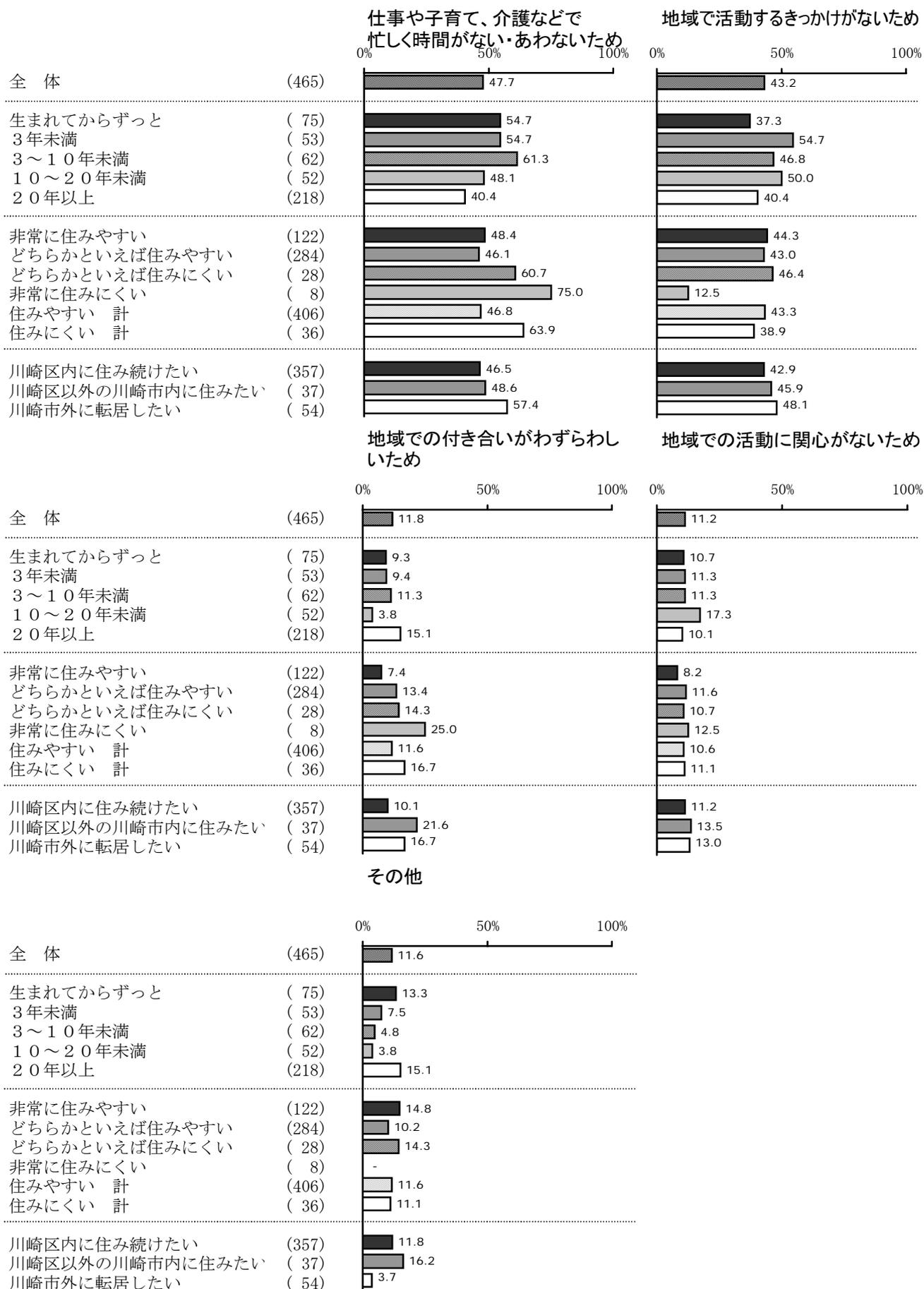


※「不明・無回答」は作図せず

図4.2-3 地域活動を行っていない理由

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：地域活動を「行っていない」人(n=465)】



※「不明・無回答」は作図せず

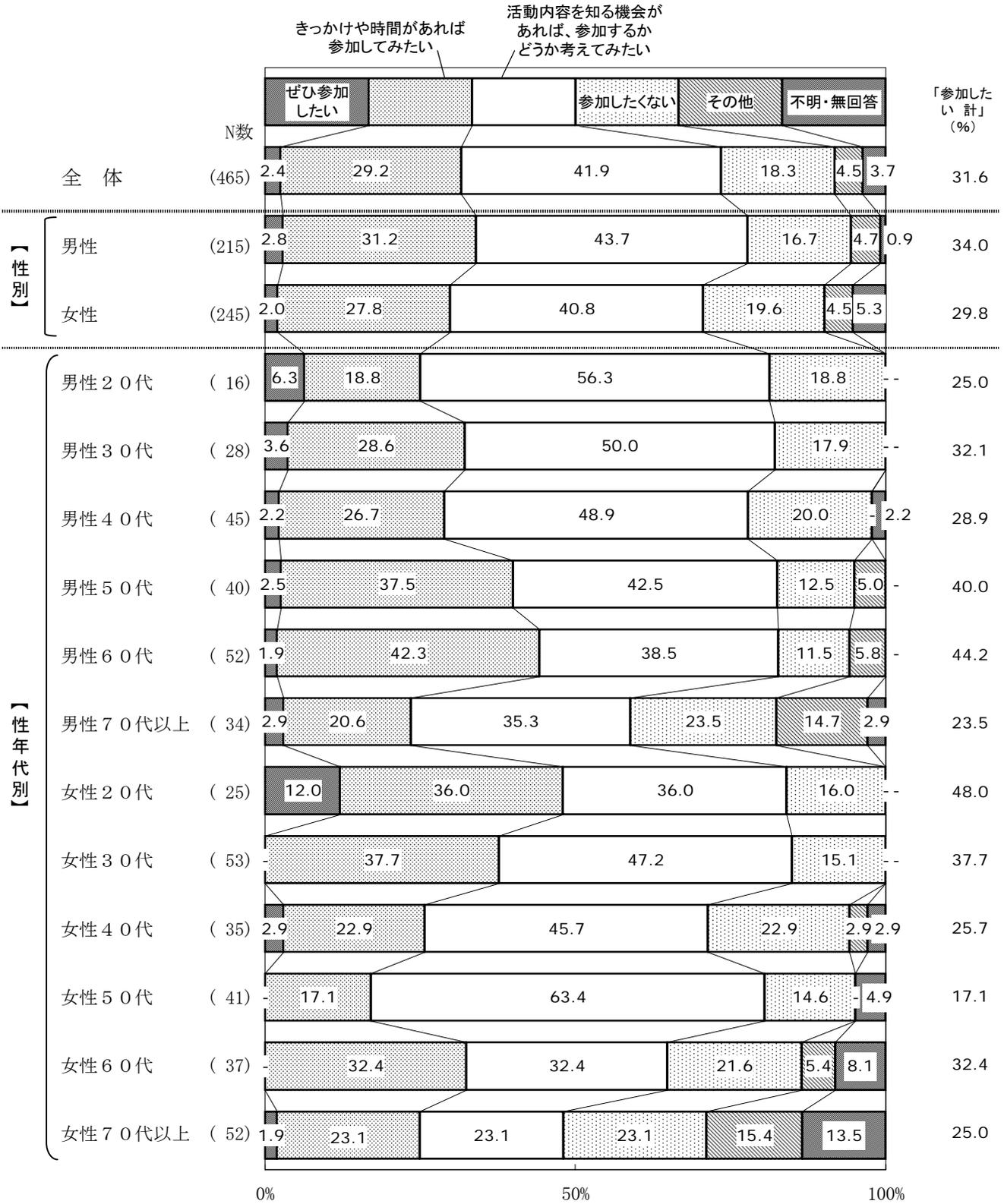
4. 3 今後の地域活動参加意向

S Q 3.あなたは今後、地域での活動に参加したいと思いますか。
(○は1つだけ)

- 全 体** 今後の地域活動参加意向は、「活動内容を知る機会があれば、参加するかどうか考えてみたい」(41.9%)が4割を超え最も多くなっている。また、「ぜひ参加したい」(2.4%)と「きっかけや時間があれば参加してみたい」(29.2%)をあわせた『参加したい』は、31.6%で3割を超えている。一方、「参加したくない」(18.3%)は約2割弱となっている。(図4.3-1)
- 性 別** 特に大きな違いはみられないものの、『参加したい』と回答した人の割合は、「女性」(29.8%)より「男性」(34.0%)の方がわずかながら多くなっている。(図4.3-1)
- 性年代別** 「ぜひ参加したい」と回答した人の割合は、「女性20代」が12.0%と最も多くなっており、これと「きっかけや時間があれば参加してみたい」(36.0%)をあわせた『参加してみたい』人の割合(48.0%)は約5割と多くなっている。一方、『参加したくない』と回答した人の割合は、「男性70代以上」と「女性70代以上」で3割台半ばと多くなっている。(図4.3-1)
- 居住年数別** 『参加したい』と回答した人の割合は、「3年未満」(47.2%)で約5割弱と最も多くなっている。一方、『参加したくない』と回答した人の割合は、「生まれてからずっと」と「20年以上」で2割台半ばを超えている。(図4.3-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 特に大きな違いはみられないものの、『参加したい』と回答した人の割合は、「住みにくい計」(27.8%)より「住みやすい計」(32.1%)の方がわずかながら多くなっている。(図4.3-2)
- 定住意向別** 『参加したい』と回答した人の割合は、「川崎区内に住み続けたい」と「川崎市外に転居したい」で3割を超えている。(図4.3-2)

図4.3-1 今後の地域活動参加意向<性別・性年代別>

【基数：地域活動を「行っていない」人(n=465)】



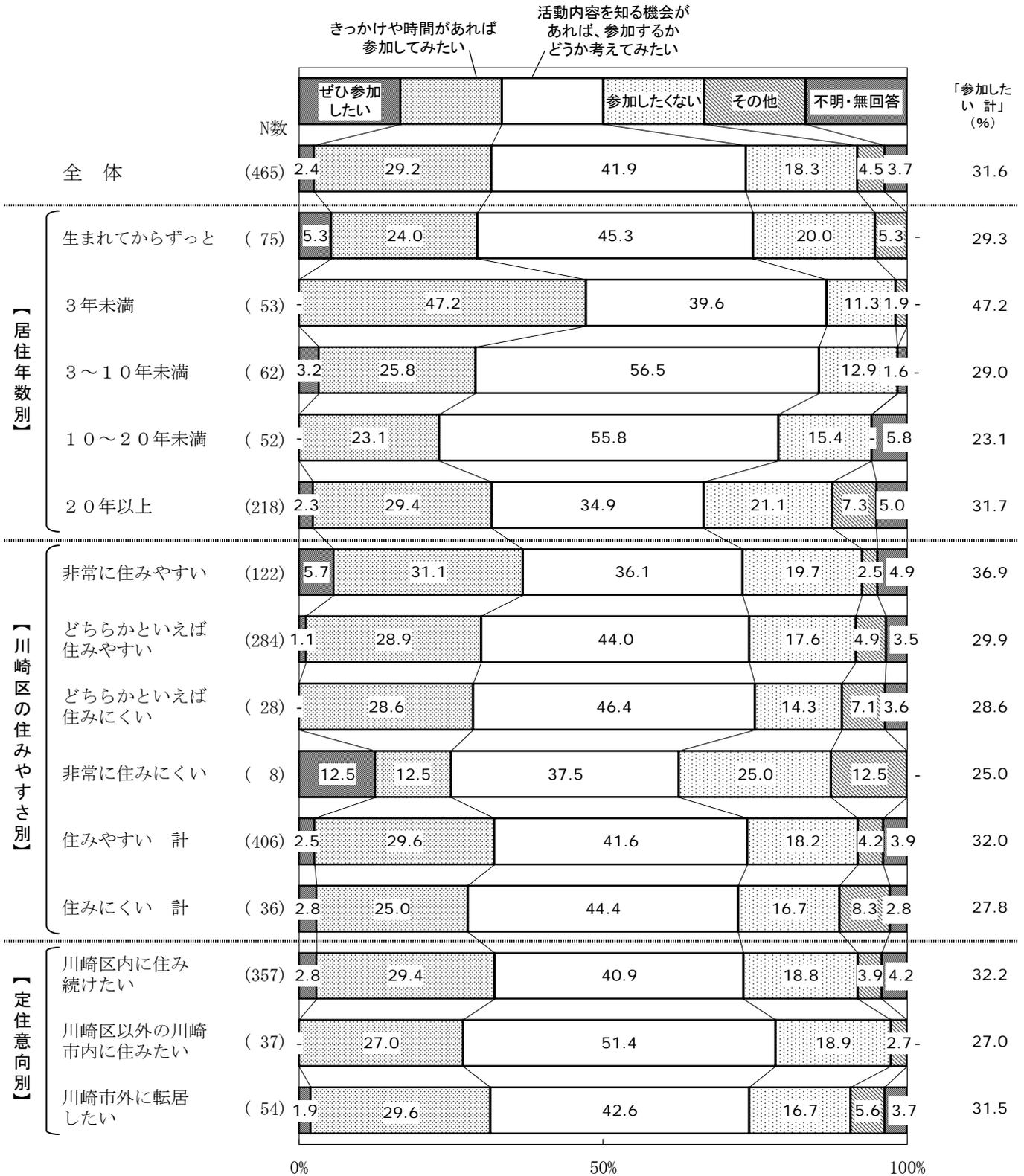
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図4.3-2 今後の地域活動参加意向

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：地域活動を「行っていない」人(n=465)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

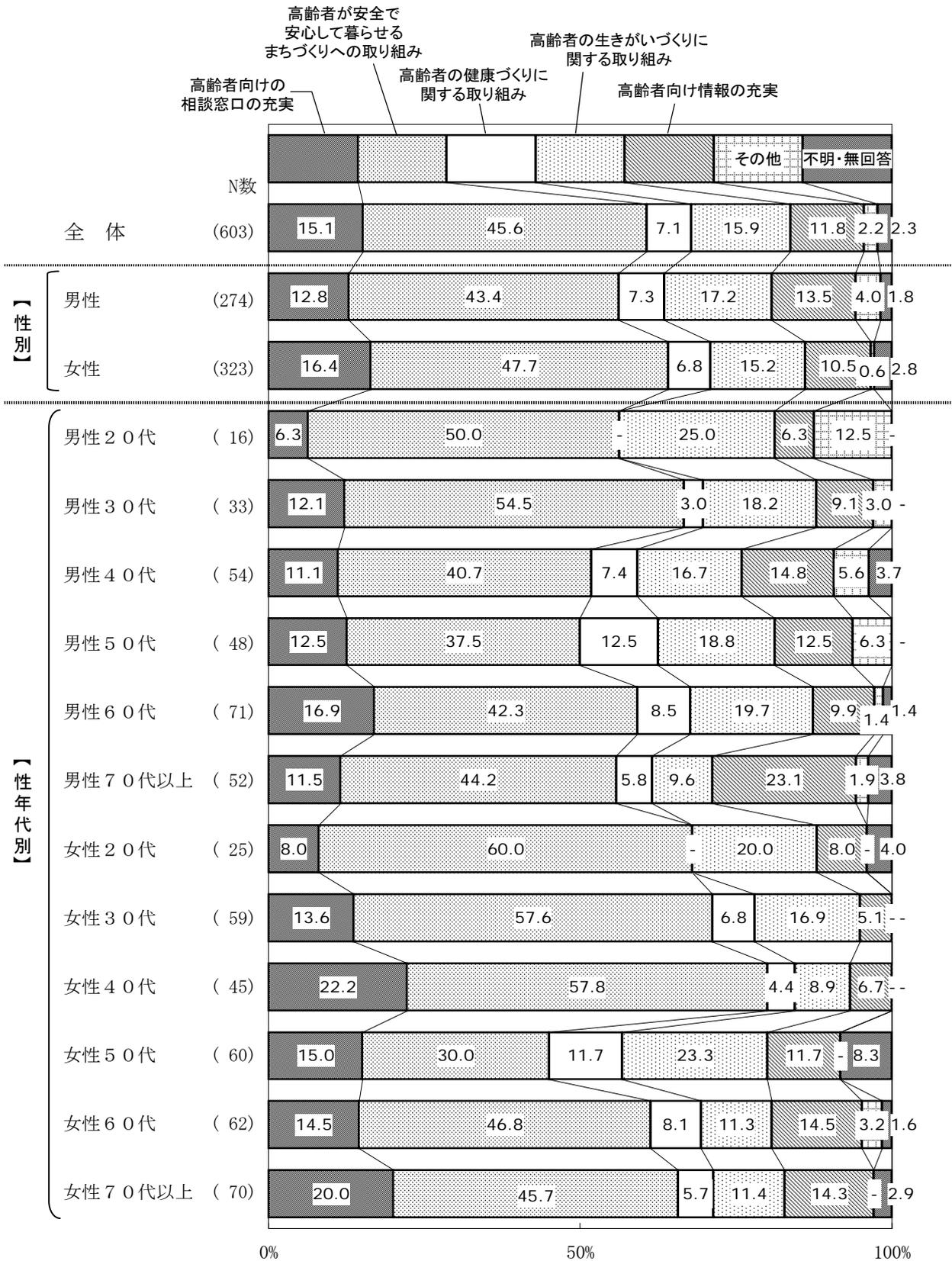
5. 高齢化社会に対して最重要視する取り組み

Q 5. 地域での高齢化社会に向けた取り組みについて、あなたが最も重要と考えるものを1つだけお選びください。(○は1つだけ)

- 全 体** 高齢化社会に対して最重要視する取り組みは、「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」(45.6%)が4割台半ばと特に多く、「高齢者の生きがいつくりに関する取り組み」(15.9%)と「高齢者向けの相談窓口の充実」(15.1%)が1割台半ばで続いている。(図5-1)
- 性 別** 「高齢者向けの相談窓口の充実」は、「男性」(12.8%)より「女性」(16.4%)の方が4ポイント多くなっている。また、「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」は、「女性」(47.7%)で約5割弱と多くなっている。(図5-1)
- 性年代別** 「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」は、「男性30代」と「女性20代~40代」で5割台半ばから6割と多くなっている。また、「高齢者向けの相談窓口の充実」は「女性40代」と「女性70代以上」で、「高齢者向け情報の充実」は「男性70代以上」で2割を超えている。(図5-1)
- 居住年数別** 「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」は、「生まれてからずっと」と「3年未満」で5割を超えている。(図5-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」は、「住みにくい 計」(40.4%)より「住みやすい 計」(46.8%)の方が6ポイント多くなっている。(図5-2)
- 定住意向別** 「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」は、「川崎区内に住み続けたい」と「川崎区以外の川崎市内に住みたい」で約5割と多くなっている。(図5-2)
- 最も優先的に解決すべき取り組み別** 「地域での高齢化社会に向けた取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人の中では、「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」(47.8%)が最も多く、次いで、「高齢者向けの相談窓口の充実」が17.2%で続いている。また、「地域社会の活性化への取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人で、「高齢者の生きがいつくりに関する取り組み」(23.7%)と「高齢者向け情報の充実」(15.8%)が、他の取り組みを選んだ人に比べて多くなっている。(図5-3)

図5-1. 高齢化社会に対して最重要視する取り組み<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



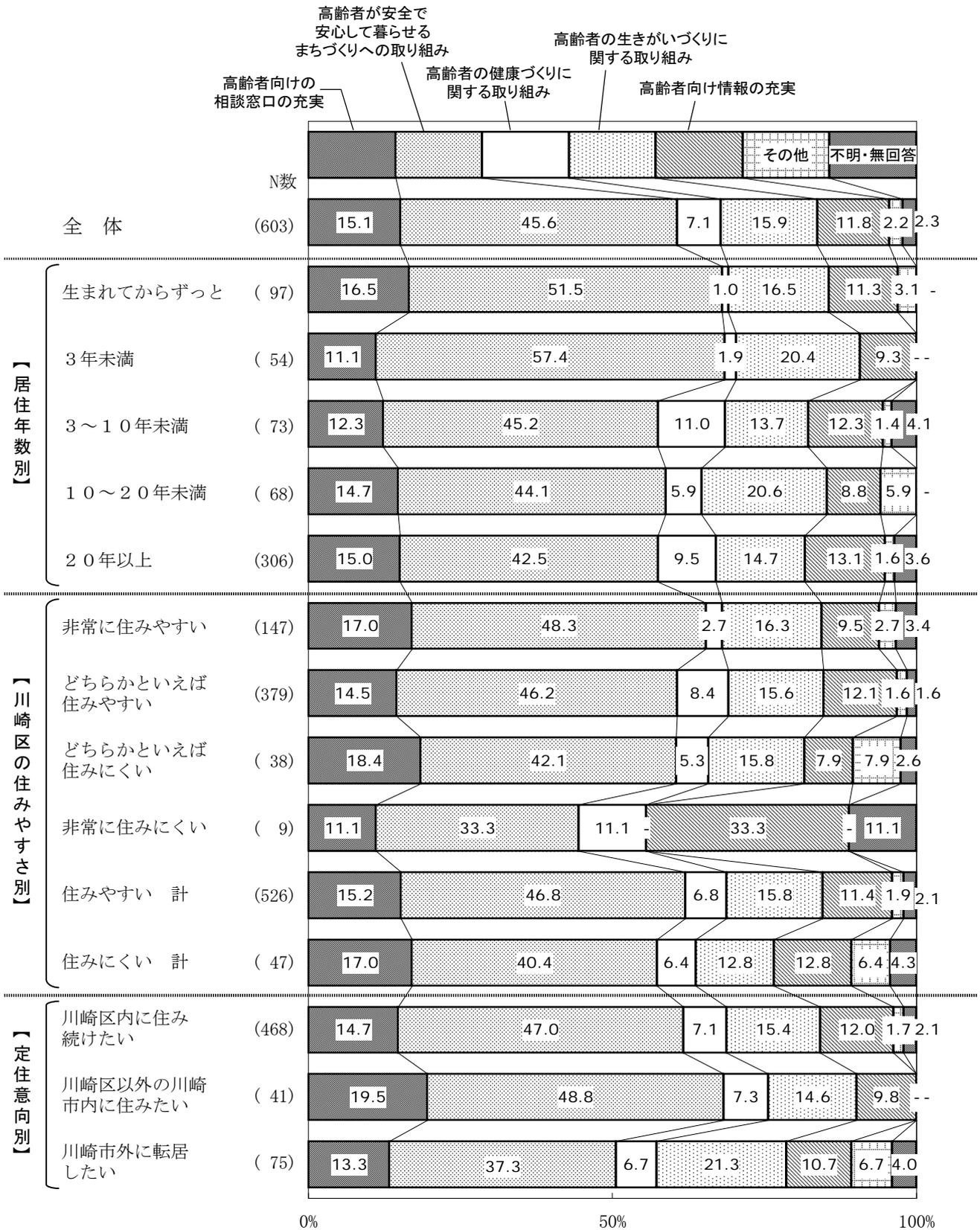
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図5-2. 高齢化社会に対して最重要視する取り組み

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



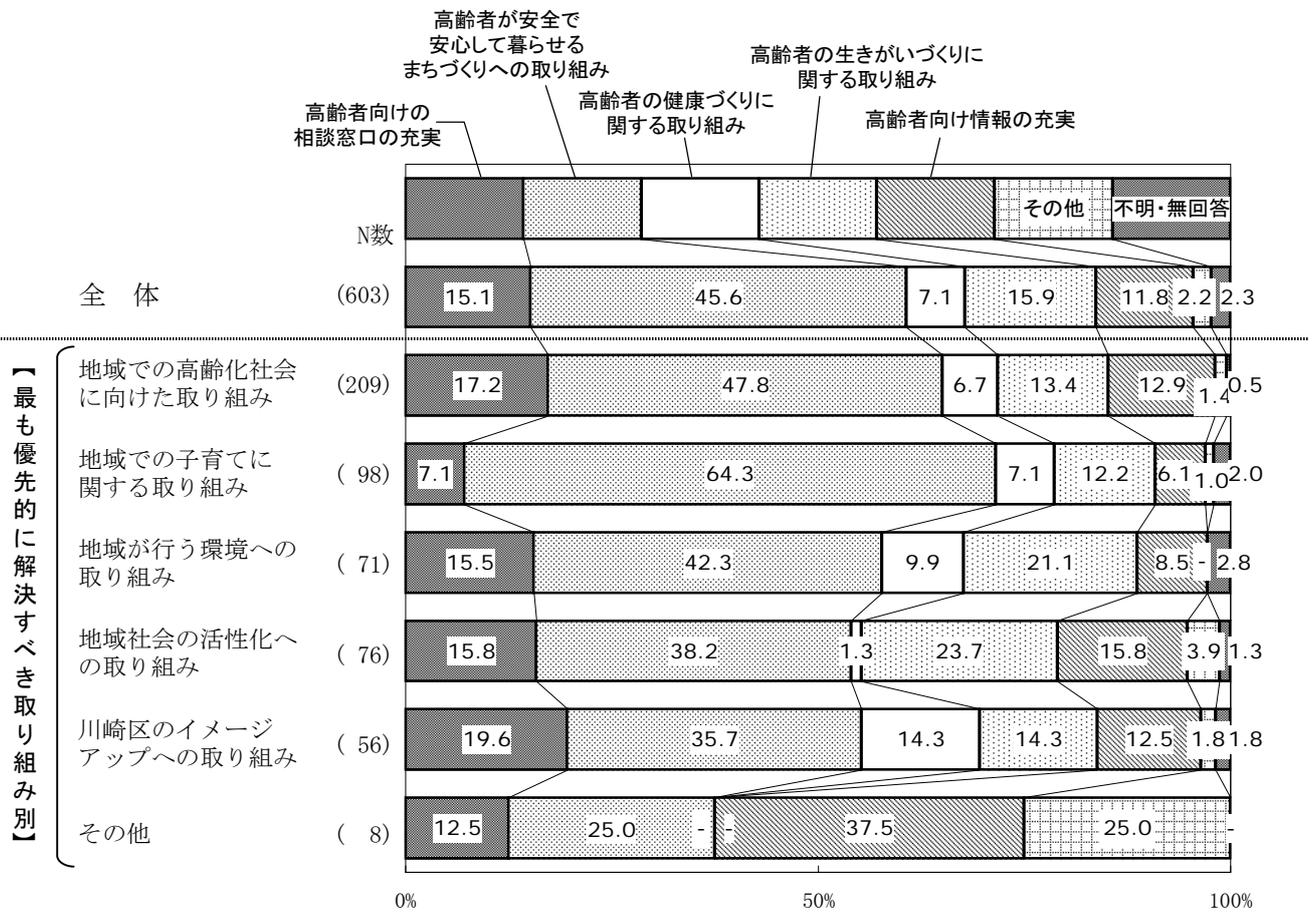
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図5-3. 高齢化社会に対して最重要視する取り組み

＜最も優先的に解決すべき取り組み別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

6. 子育てに対して最重要視する取り組み

Q 6. 地域での子育てに関する取り組みについて、あなたが最も重要と考えるものを
1つだけお選びください。 (○は1つだけ)

全 体 子育てに対して最重要視する取り組みは、「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」(24.5%)が2割台半ばで最も多く、次いで、「子どもの安全対策に関する取り組み」(20.7%)、「子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実」(15.8%)と続いている。(図6-1)

性 別 特に大きな違いはみられない。(図6-1)

性 年 代 別 「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」は、「男性60代以上」と「女性20代～40代」で約3割～約4割と多くなっている。(図6-1)

居住年数別 「子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実」は、「10～20年未満」(26.5%)で2割台半ばと最も多くなっている。また、「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」は、「生まれてからずっと」と「3年未満～10年未満」で3割を超えている。(図6-2)

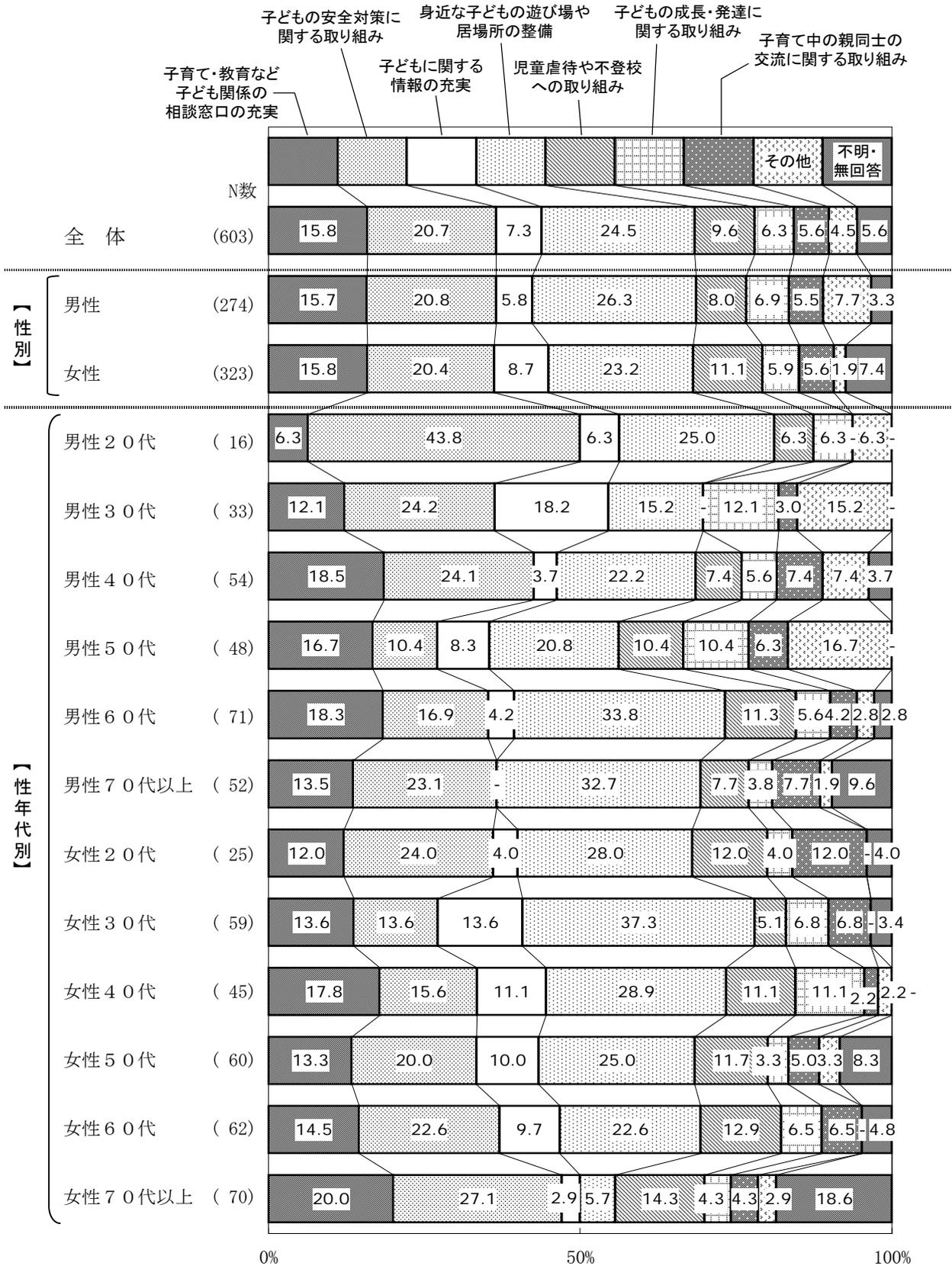
川崎区の住みやすさ別 「子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実」は、「住みにくい計」(8.5%)より「住みやすい計」(16.3%)の方が8ポイント多くなっている。(図6-2)

定住意向別 「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」と「川崎市外に転居したい」で3割を超え多くなっている。(図6-2)

最も優先的に解決すべき取り組み別 「地域での子育てに関する取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人の中では、「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」が32.7%で最も多くなっている。(図6-3)

図6-1. 子育てに対して最重要視する取り組み<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



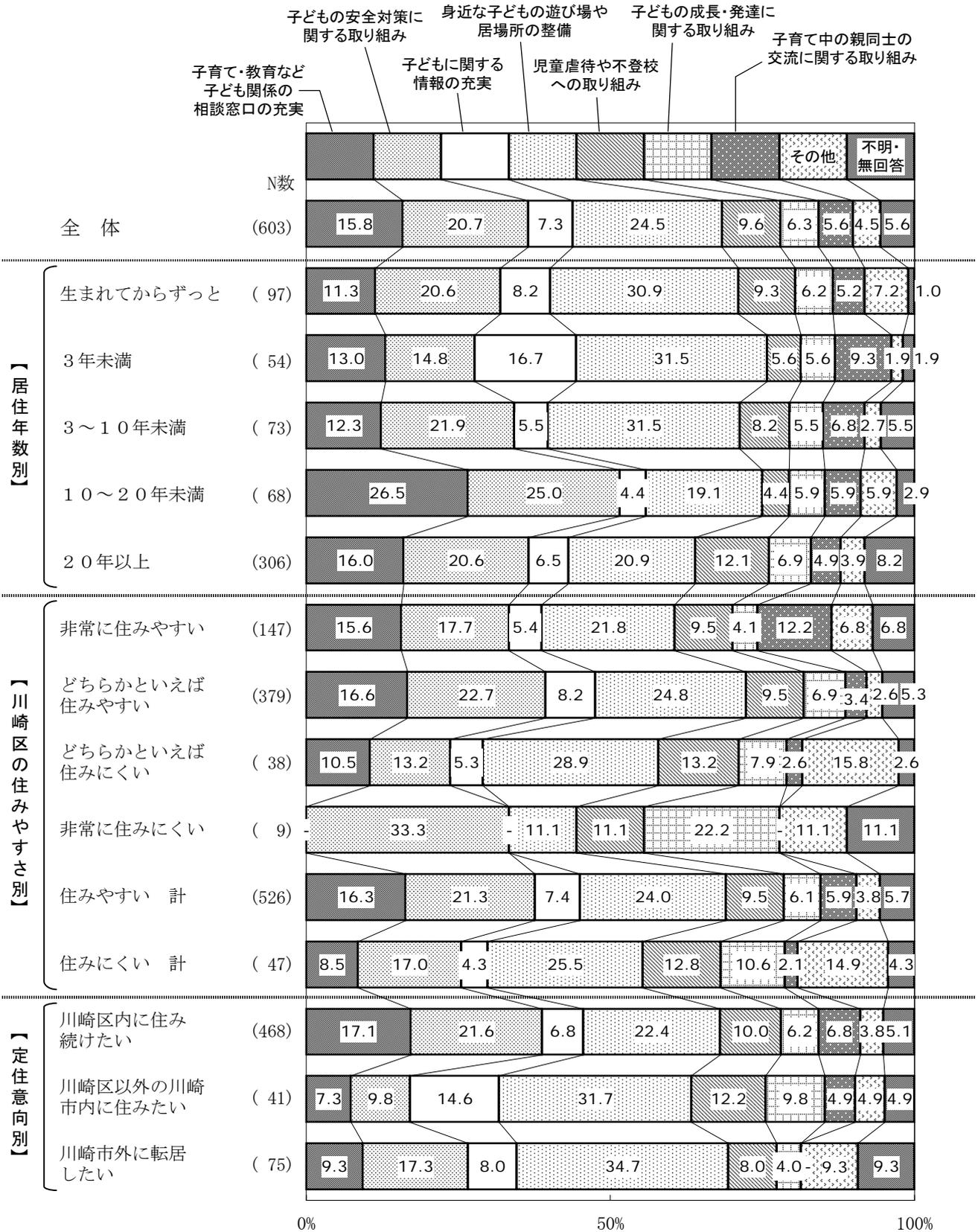
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図6-2. 子育てに対して最重要視する取り組み

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



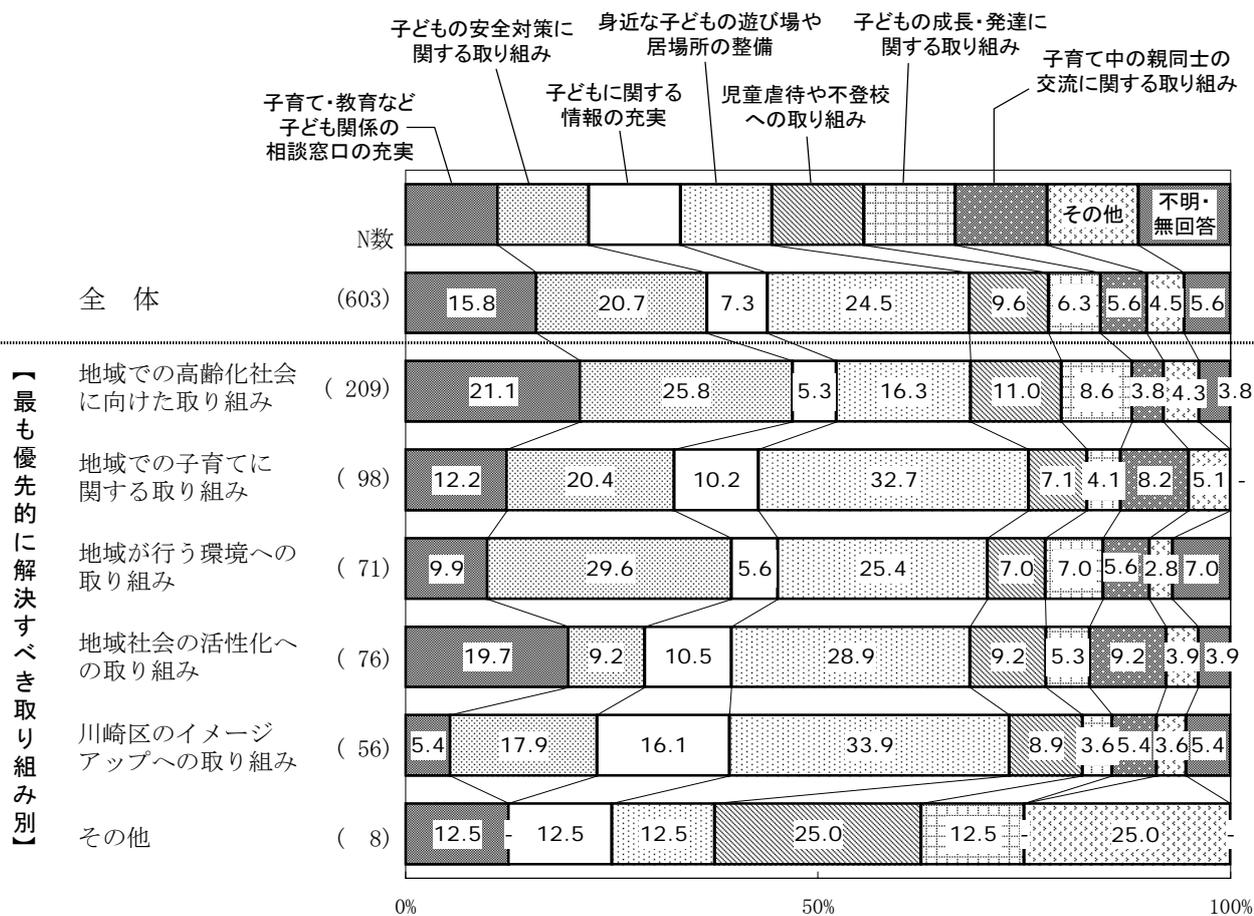
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図6-3. 子育てに対して最重要視する取り組み

＜最も優先的に解決すべき取り組み別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

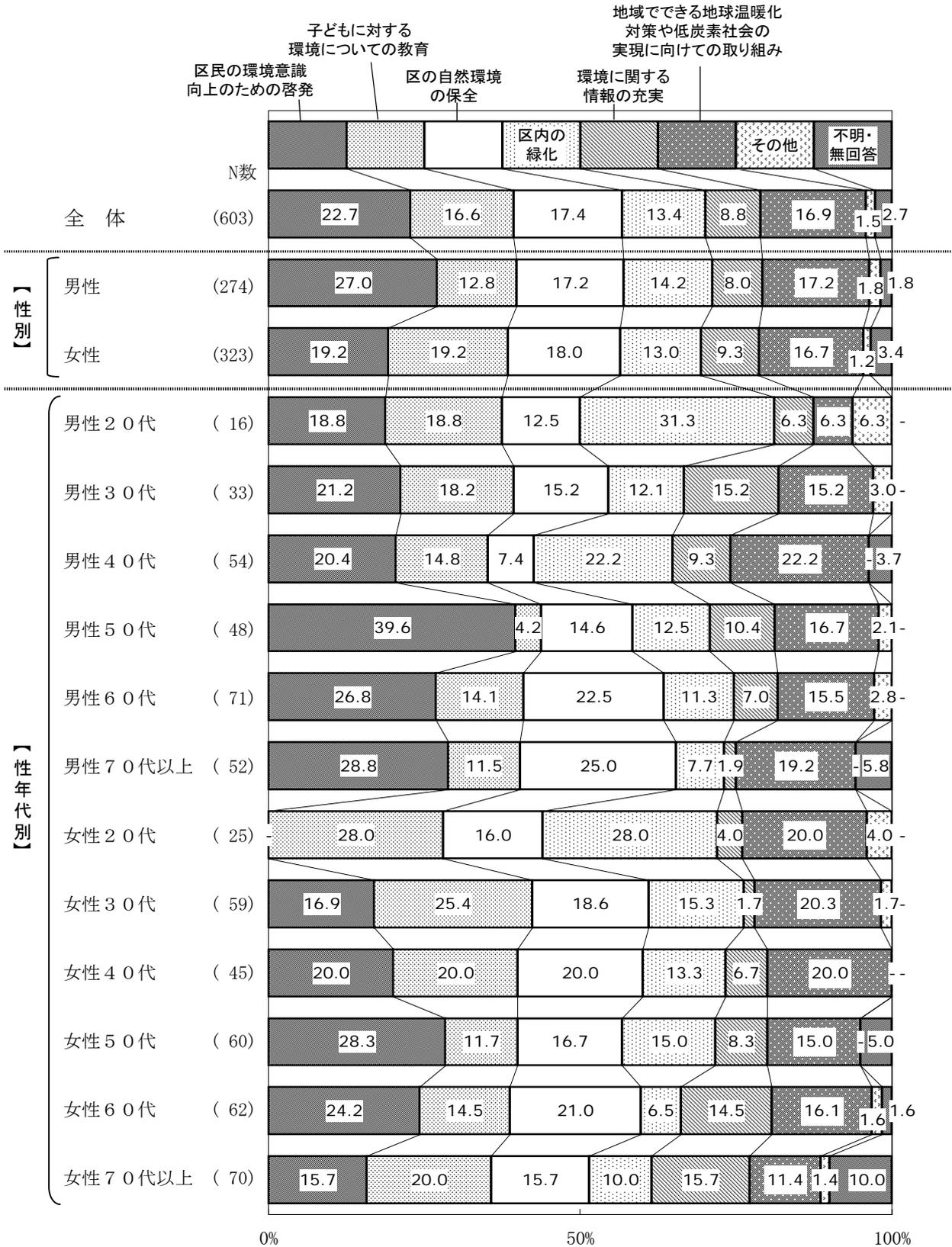
7. 環境に対して最重要視する取り組み

Q 7. 地域が行う環境に関する取り組みについて、あなたが最も重要と考えるものを
1つだけお選びください。 (○は1つだけ)

- 全 体** 環境に対して最重要視する取り組みは、「区民の環境意識向上のための啓発」(22.7%)が2割を超え最も多く、次いで、「区の自然環境の保全」(17.4%)、「地域でできる地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向けての取り組み」(16.9%)、「子どもに対する環境についての教育」(16.6%)などとなっている。(図7-1)
- 性 別** 「区民の環境意識向上のための啓発」は、「女性」(19.2%)より「男性」(27.0%)のが8ポイント多くなっている。逆に、「子どもに対する環境についての教育」は、「男性」(12.8%)より「女性」(19.2%)の方が6ポイント多くなっている。(図7-1)
- 性 年 代 別** 「区民の環境意識向上のための啓発」は、「男性50代」(39.6%)で約4割と多くなっている。また、「子どもに対する環境についての教育」は、「女性20代」(28.0%)で約3割と多く、この層は「区内の緑化」でも約3割と多くなっている。(図7-1)
- 居住年数別** 「区民の環境意識向上のための啓発」は、「10～20年未満」(33.8%)で3割台半ばと多くなっている。また、「区の自然環境の保全」では、「3年未満」(31.5%)で3割を超えている。(図7-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「地域でできる地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向けての取り組み」は、「住みやすい 計」(16.5%)より「住みにくい 計」(21.3%)の方が5ポイント多くなっている。(図7-2)
- 定住意向別** 「区民の環境意識向上のための啓発」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(29.3%)で約3割と多くなっている。また、この層は「区内の緑化」でも2割を超え多くなっている。(図7-2)
- 最も優先的に解決すべき取り組み別** 「地域が行う環境への取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人の中では、「区民の環境意識向上のための啓発」が25.4%で最も多くなっている。また、最も優先的に解決すべき取り組みとして、「地域での子育てに関する取り組み」を選んだ人で「子どもに対する環境についての教育」(35.7%)、「地域社会の活性化への取り組み」を選んだ人で「区民の環境意識向上のための啓発」(31.6%)、「川崎区のイメージアップへの取り組み」を選んだ人で「区内の緑化」(30.4%)が、他の取り組みを選んだ人に比べて多くなっている。(図7-3)

図7-1. 環境に対して最重要視する取り組み<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



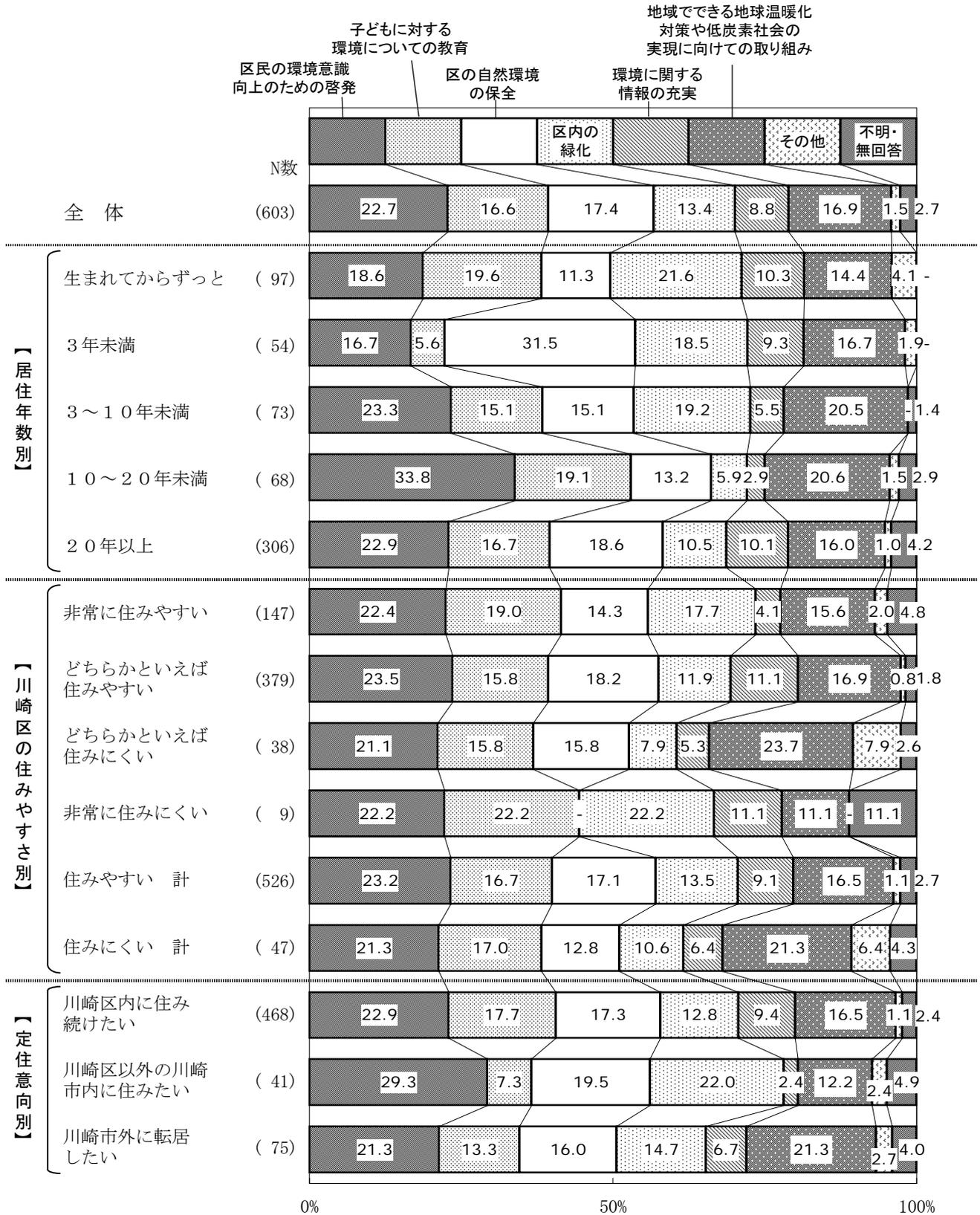
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図7-2. 環境に対して最重要視する取り組み

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



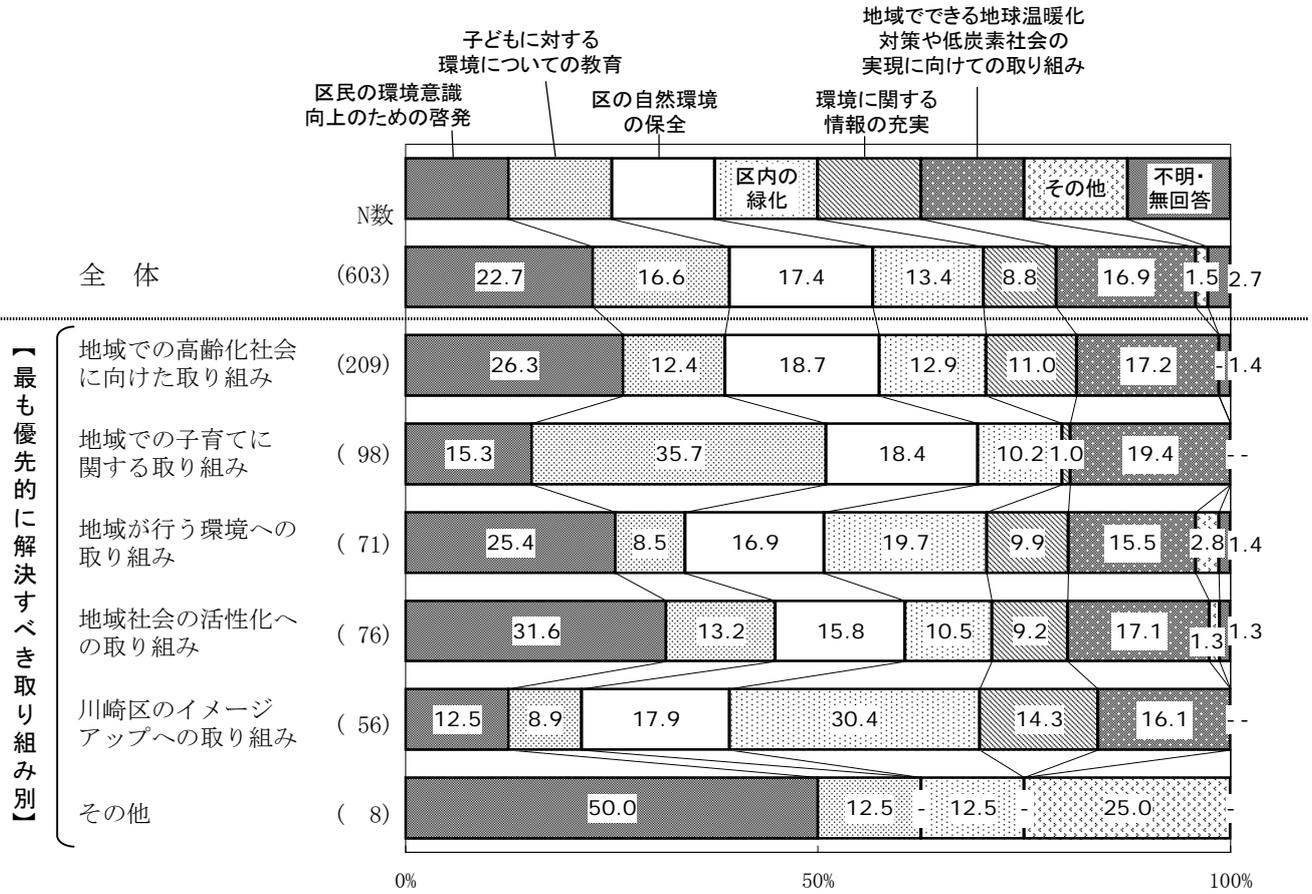
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図7-3. 環境に対して最重要視する取り組み

<最も優先的に解決すべき取り組み別>

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

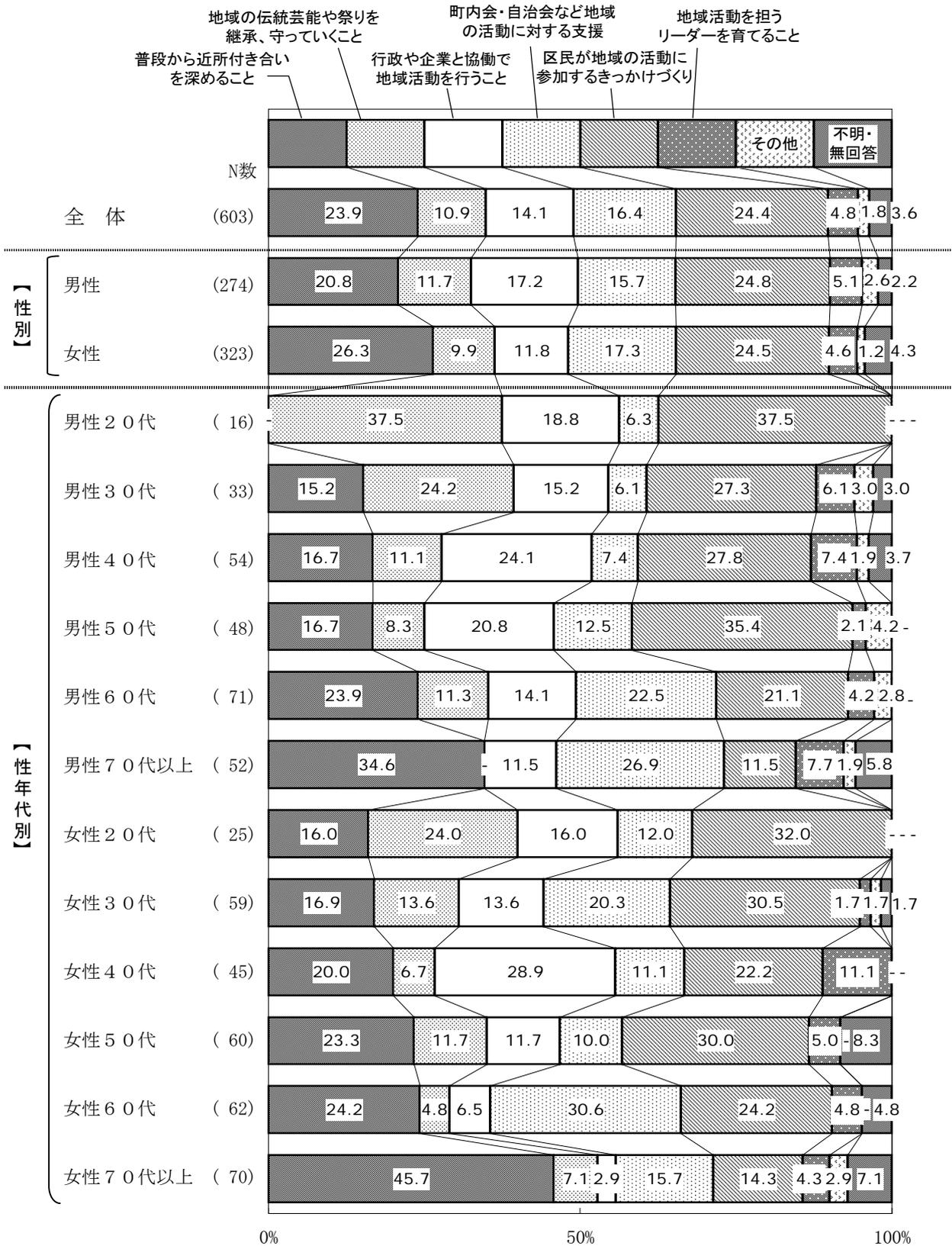
8. 地域社会活性化のための最重要視する取り組み

Q 8. 地域社会を活性化するために、あなたが最も重要と考えるものを1つだけお選びください。
(○は1つだけ)

- 全 体** 地域社会活性化のための最重要視する取り組みは、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」(24.4%)と「普段から近所付き合いを深めること」(23.9%)が、2割台半ばとなっている。(図8-1)
- 性 別** 「普段から近所付き合いを深めること」は、「男性」(20.8%)より「女性」(26.3%)の方が6ポイント多くなっている。逆に、「行政や企業と協働で地域活動を行うこと」は、「女性」(11.8%)より「男性」(17.2%)の方が5ポイント多くなっている。(図8-1)
- 性年代別** 「普段から近所付き合いを深めること」は、「男性」も「女性」も年代が上がるにつれて割合が多くなる傾向にあり、特に、「男性70代以上」で34.6%、「女性70代以上」で45.7%と多くなっている。また、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」は、「男性50代」、「女性20代~30代」、「女性50代」で3割を超えている。(図8-1)
- 居住年数別** 「普段から近所付き合いを深めること」は、「生まれてからずっと」(27.8%)と「20年以上」(28.8%)で約3割と多くなっている。また、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」は、「生まれてからずっと」(29.9%)と「3年未満」(33.3%)で3割前後と多くなっている。(図8-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「普段から近所付き合いを深めること」は、「住みにくい 計」(6.4%)より「住みやすい 計」(25.9%)の方が20ポイント多く、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」も同様に、「住みにくい 計」(14.9%)より「住みやすい 計」(25.1%)の方が10ポイント多くなっている。逆に、「行政や企業と協働で地域活動を行うこと」は、「住みやすい 計」(12.7%)より「住みにくい 計」(27.7%)の方が15ポイント多くなっている。(図8-2)
- 定住意向別** 「普段から近所付き合いを深めること」は、「川崎区内に住み続けたい」(27.1%)で約3割弱と多くなっている。また、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(31.7%)が3割を超えている。(図8-2)
- 最も優先的に解決すべき取り組み別** 「地域社会の活性化への取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人の中では、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」が35.5%で最も多くなっている。また、最も優先的に解決すべき取り組みとして、「地域での高齢化社会に向けた取り組み」を選んだ人で「普段から近所付き合いを深めること」(29.2%)、「川崎区のイメージアップへの取り組み」を選んだ人で「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」(41.1%)が、他の取り組みを選んだ人に比べて多くなっている。(図8-3)

図8-1. 地域社会活性化のための最重要視する取り組み<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



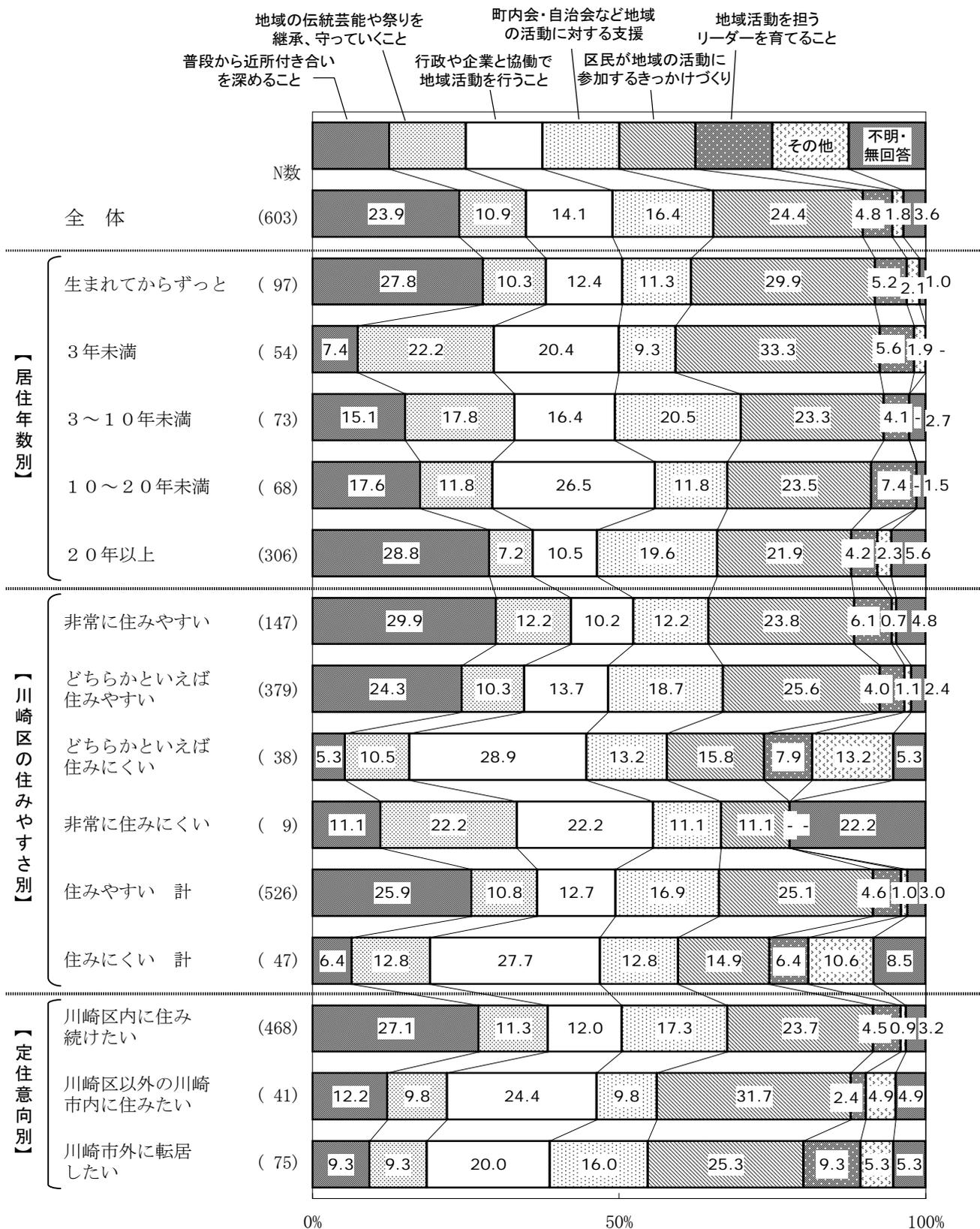
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図8-2. 地域社会活性化のための最重要視する取り組み

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



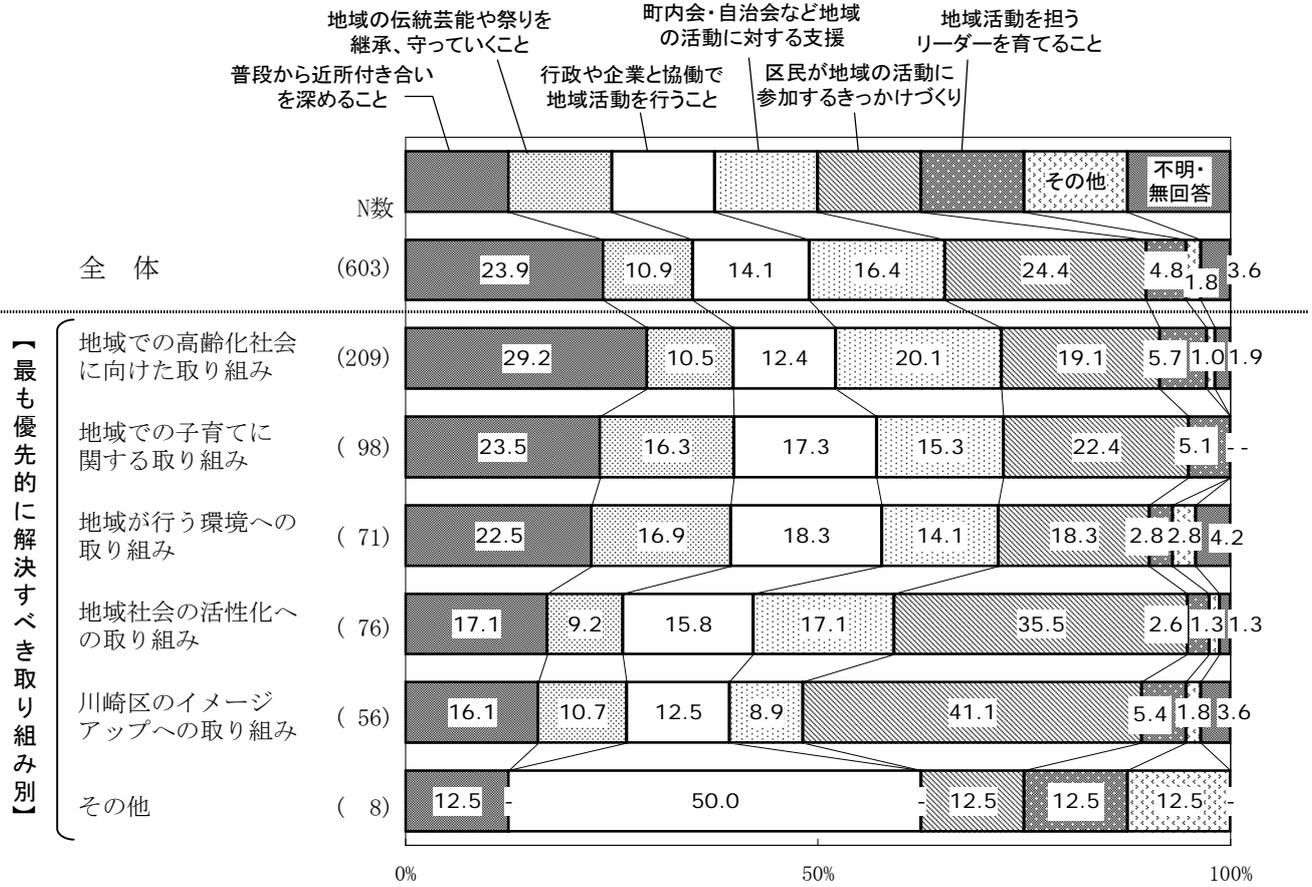
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図8-3. 地域社会活性化のための最重要視する取り組み

<最も優先的に解決すべき取り組み別>

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

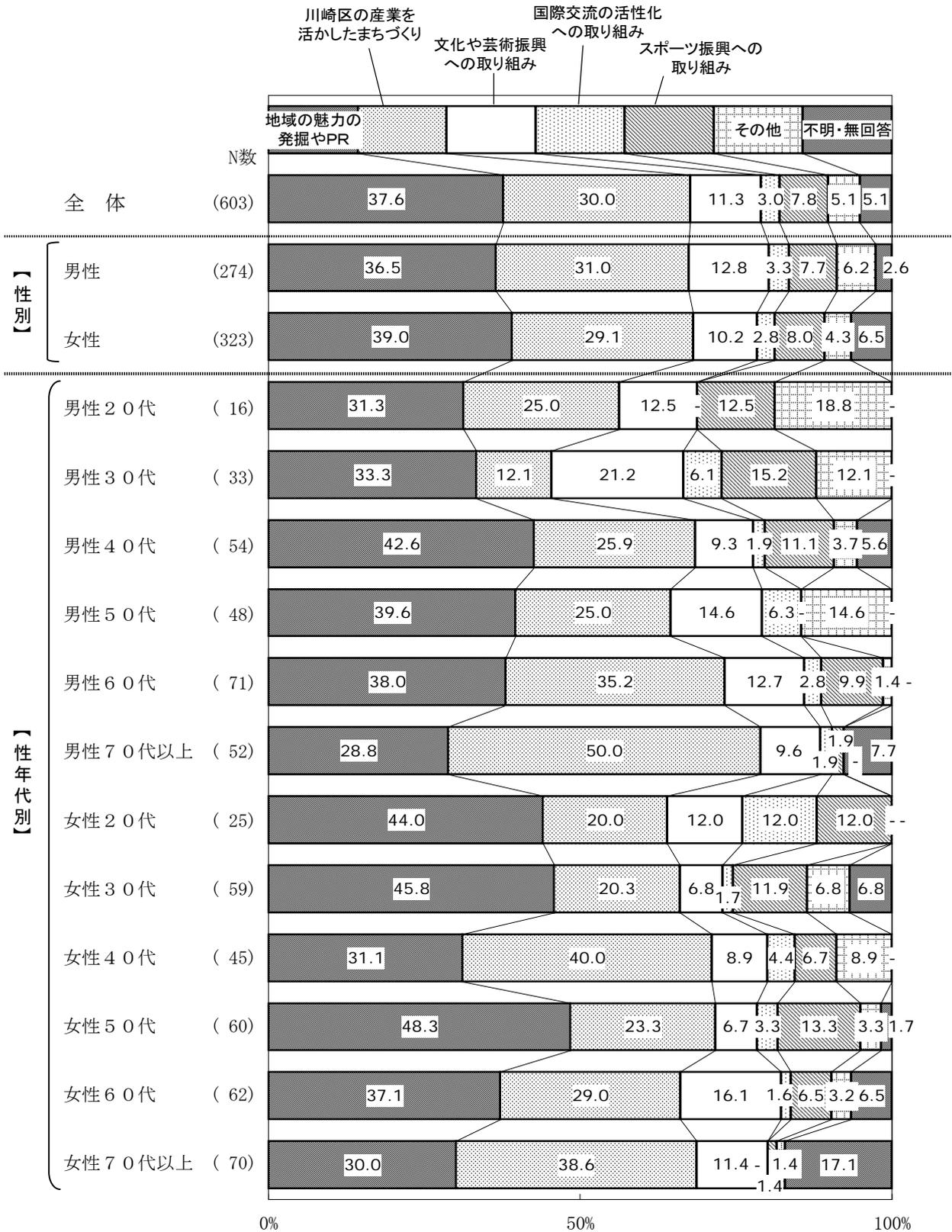
9. 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組み

Q 9. 川崎区のイメージアップを図るために、あなたが最も重要と考えるものを
1つだけお選びください。 (○は1つだけ)

- 全 体** 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組みは、「地域の魅力の発掘やPR」(37.6%)が約4割弱で最も多く、次いで、「川崎区の産業を活かしたまちづくり」(30.0%)が3割となっている。(図9-1)
- 性 別** 特に大きな違いは見られないが、「地域の魅力の発掘やPR」は、「女性」(39.0%)で約4割と多くなっている。(図9-1)
- 性年代別** 「地域の魅力の発掘やPR」は、「男性40代」と「女性20代～30代」、「女性50代」で4割を超え多くなっている。また、「川崎区の産業を活かしたまちづくり」は、「男性70代以上」で50.0%と5割にのぼっている。(図9-1)
- 居住年数別** 「地域の魅力の発掘やPR」は、「生まれてからずっと」(47.4%)で約5割弱と多くなっている。また、「川崎区の産業を活かしたまちづくり」は、「10～20年未満」と「20年以上」で3割台半ばとなっている。(図9-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「地域の魅力の発掘やPR」は、「住みやすい 計」(39.5%)で約4割と多くなっている。(図9-2)
- 定住意向別** 「地域の魅力の発掘やPR」は、「川崎区内に住み続けたい」と「川崎区以外の川崎市内に住みたい」で4割を超え多くなっている。また、「川崎区の産業を活かしたまちづくり」は、「川崎区内に住み続けたい」(30.1%)で3割となっている。(図9-2)
- 最も優先的に解決すべき取り組み別** 「地域社会の活性化への取り組み」と「川崎区のイメージアップへの取り組み」を最も優先的に解決すべき取り組みとして選んだ人で、「地域の魅力の発掘やPR」が4割を超え多くなっている。(図9-3)

図9-1. 川崎市イメージアップのための最重要視する取り組み<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



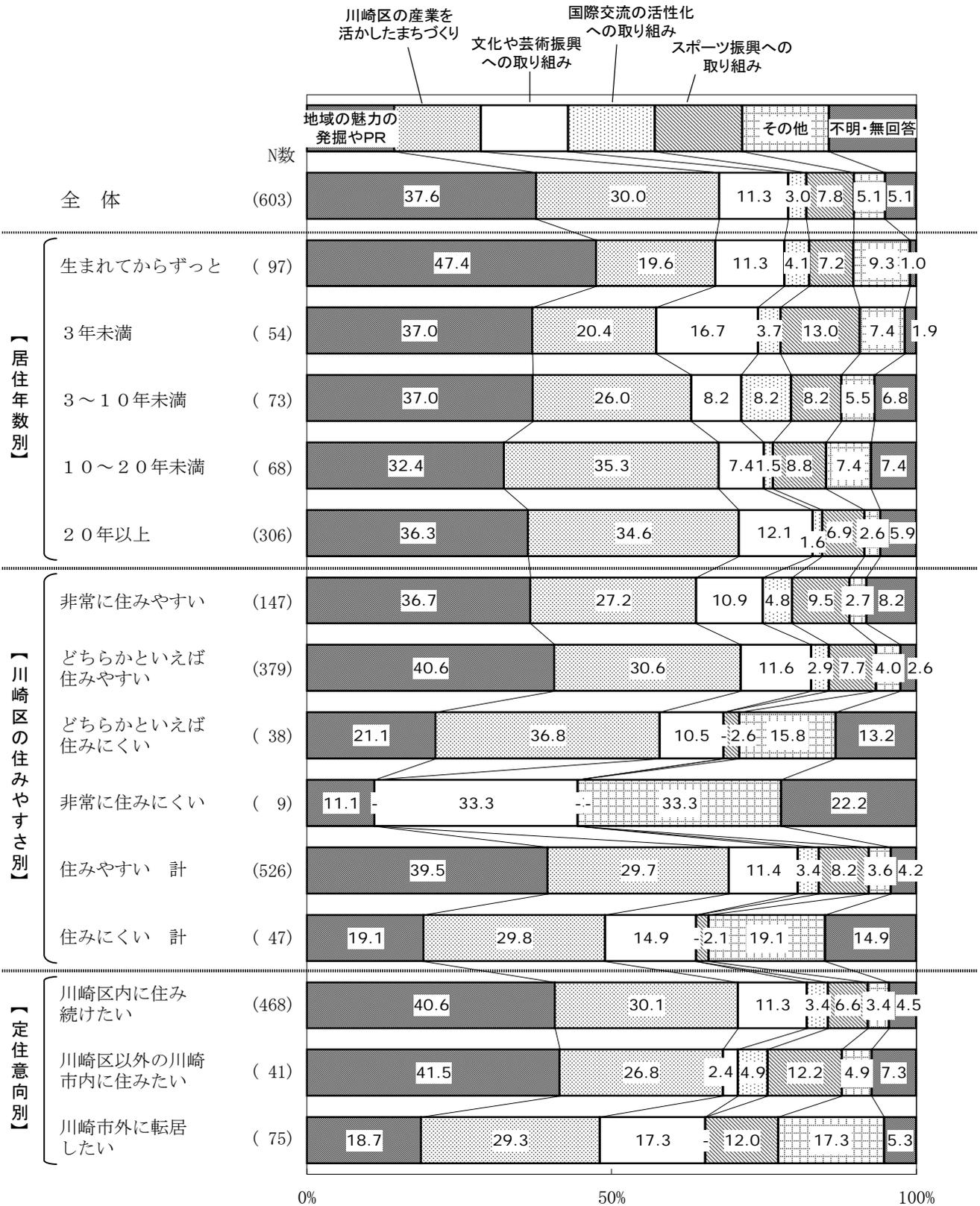
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図9-2. 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組み

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



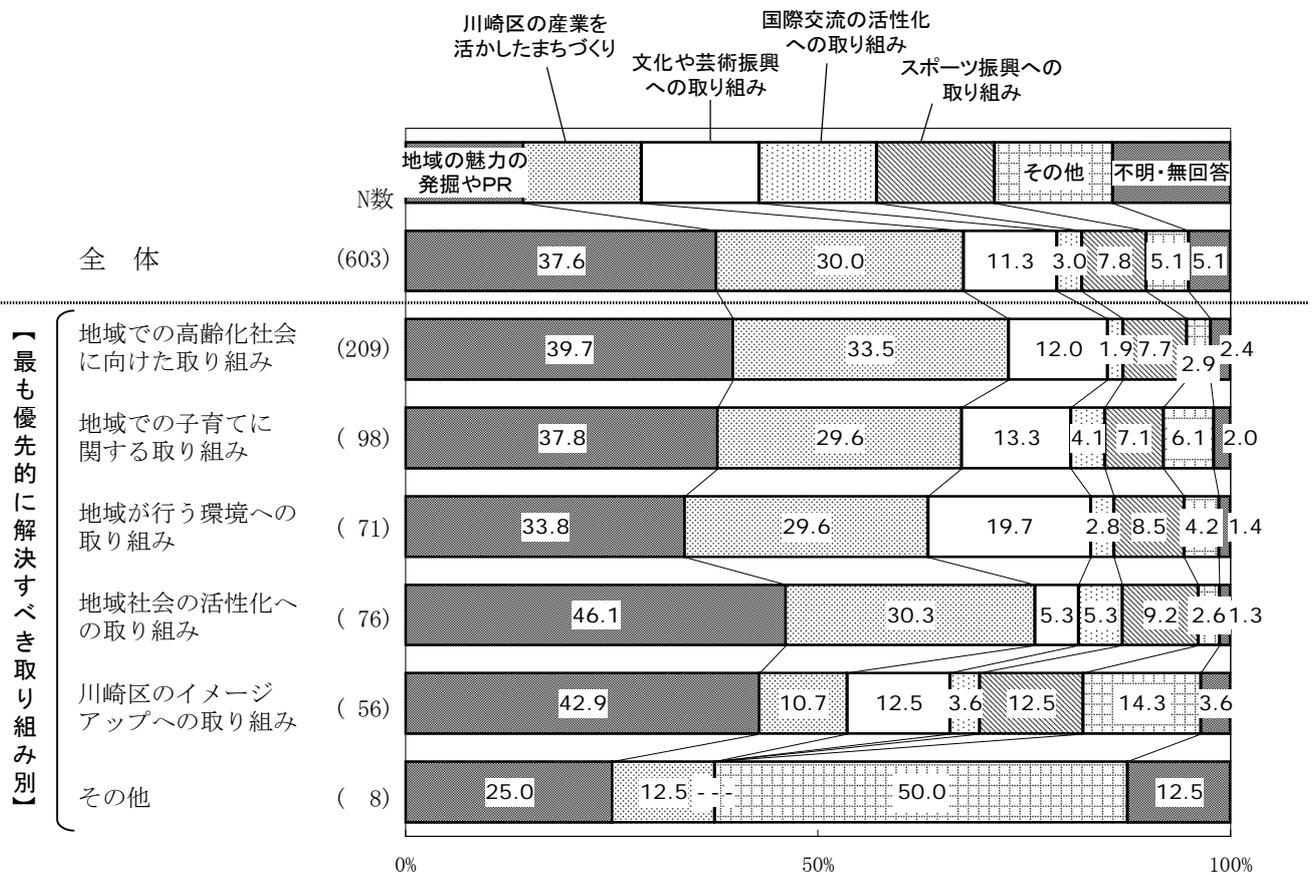
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図9-3. 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組み

＜最も優先的に解決すべき取り組み別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

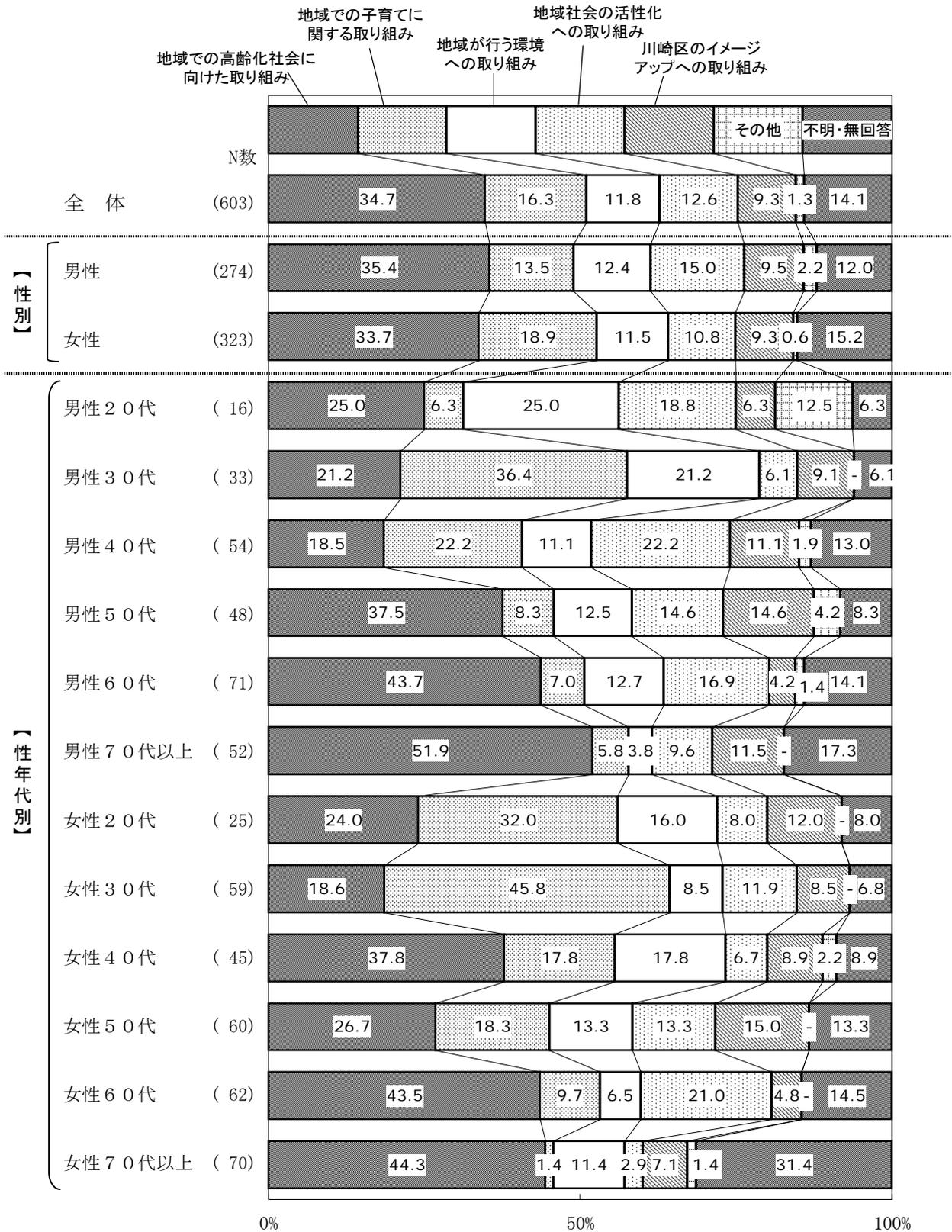
10. 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ

Q10. Q5～Q9でおうかがいした以下のテーマのうち、最も優先的に取り組み、解決する必要があると思うものを1つだけお選びください。

- 全体** 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマは、「地域での高齢化社会に向けた取り組み」(34.7%)が3割台半ばで最も多く、以下、「地域での子育てに関する取り組み」(16.3%)、「地域社会の活性化への取り組み」(12.6%)、「地域が行う環境への取り組み」(11.8%)、「川崎区のイメージアップへの取り組み」(9.3%)の順となっている。(図10-1)
- 性別** 「地域での子育てに関する取り組み」は、「男性」(13.5%)より「女性」(18.9%)の方が5ポイント多くなっている。逆に、「地域社会の活性化への取り組み」は、「女性」(10.8%)より「男性」(15.0%)の方が4ポイント多くなっている。(図10-1)
- 性年代別** 「地域での高齢化社会に向けた取り組み」は、「男性」で概ね年代が上がるにつれて割合が多くなる傾向にある。また、「地域での子育てに関する取り組み」は、「男性30代」と「女性30代」で多くなっている。(図10-1)
- 居住年数別** 「地域での高齢化社会に向けた取り組み」は、「20年以上」(40.2%)で4割と多くなっている。また、「地域での子育てに関する取り組み」は、「3～10年未満」(31.5%)で3割を超えている。(図10-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「地域での高齢化社会に向けた取り組み」は、「住みにくい 計」(8.5%)より「住みやすい 計」(37.1%)の方が29ポイント多くなっている。また、「地域での子育てに関する取り組み」は、「住みにくい 計」(27.7%)で約3割弱と多くなっている。(図10-2)
- 定住意向別** 「川崎区のイメージアップへの取り組み」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(17.1%)で約2割弱と多くなっている。(図10-2)

図10-1. 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



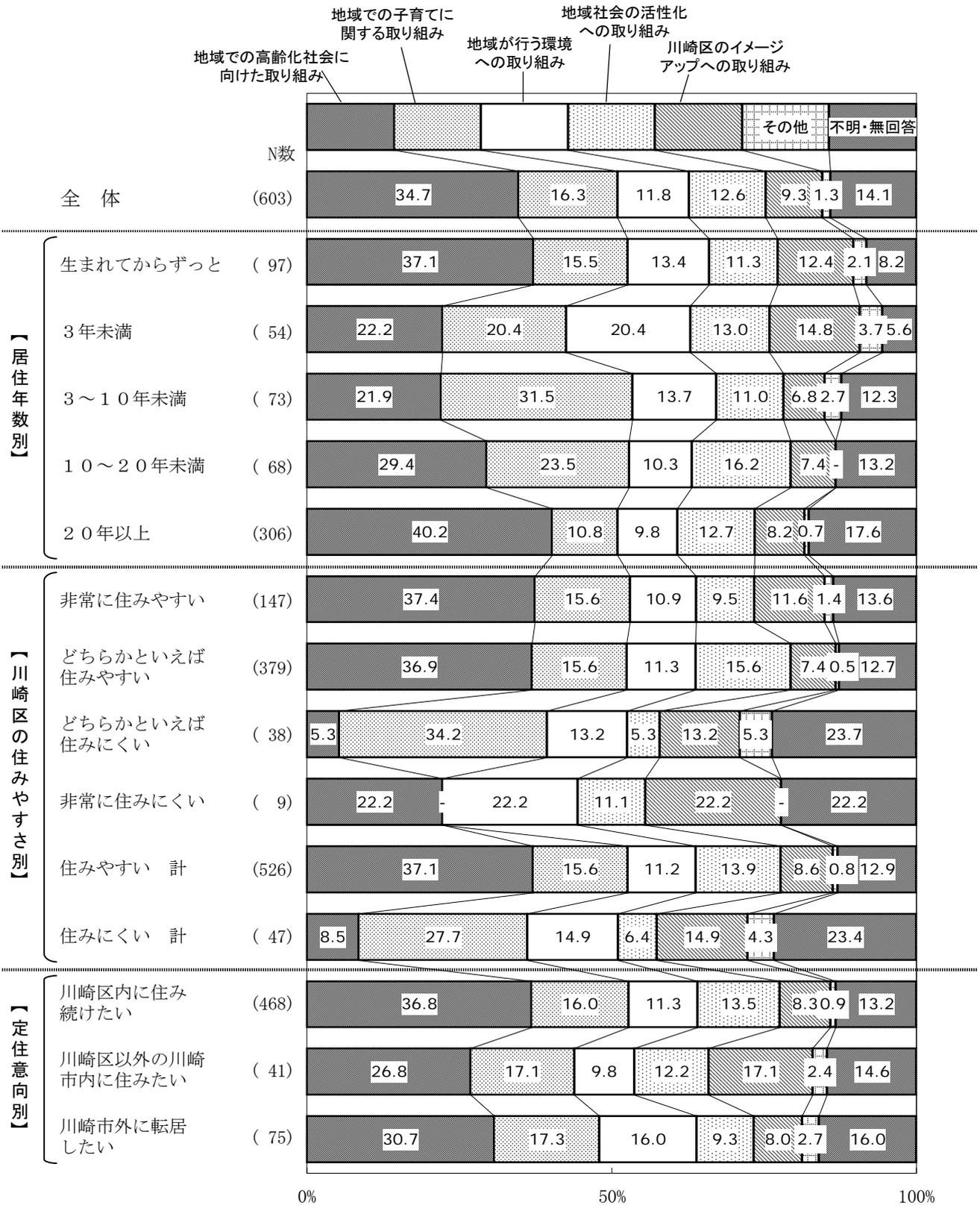
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図10-2. 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

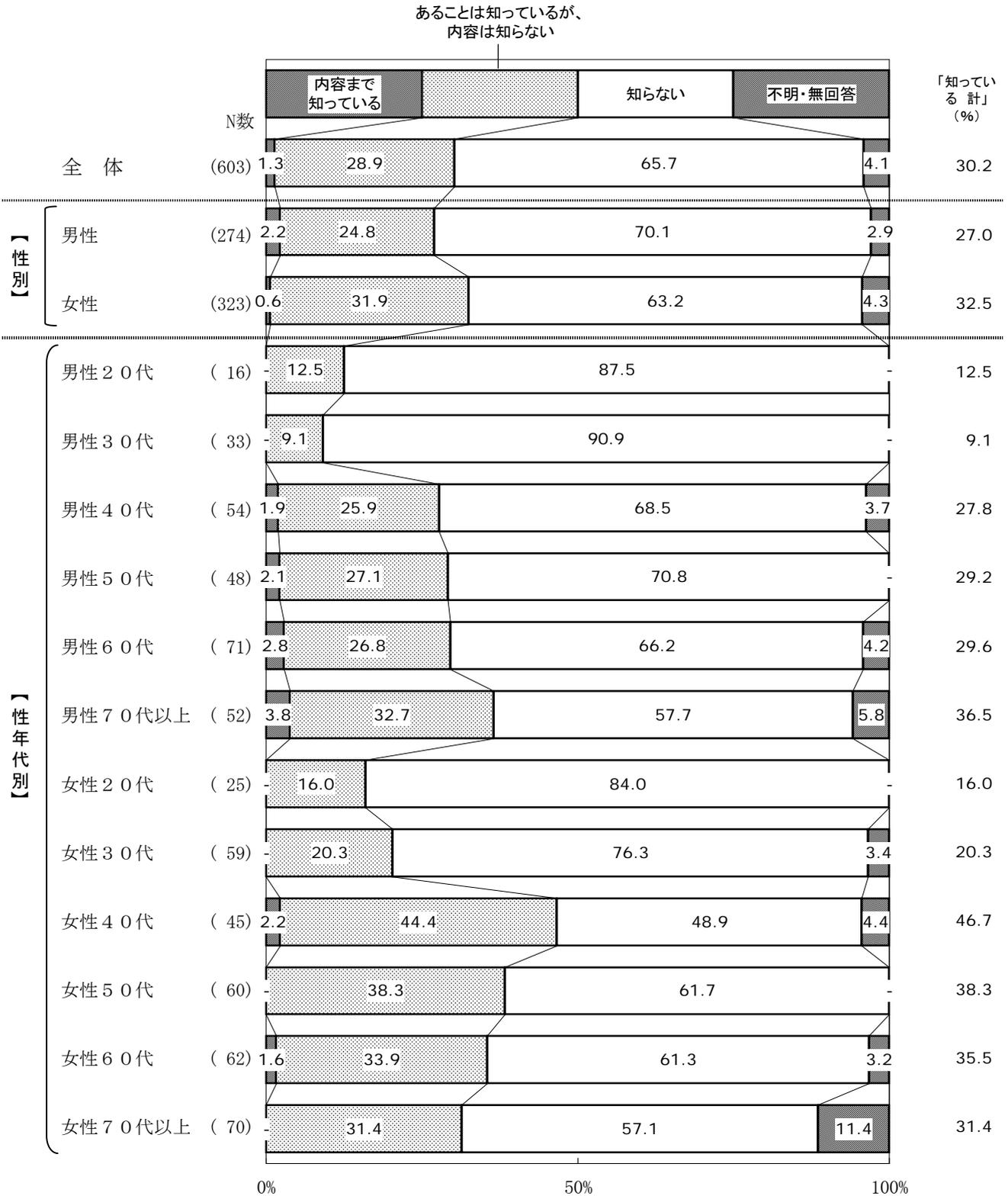
11. 川崎区区民会議の認知度

Q 1 2. あなたは、川崎区区民会議を知っていますか。 (○は1つだけ)

- 全 体** 「あることは知っているが、内容は知らない」(28.9%)と「内容まで知っている」(1.3%)をあわせた、川崎区民会議を『知っている』人の割合(30.2%)は3割となっている。一方、「知らない」(65.7%)は6割台半ばを占めている。(図11-1)
- 性 別** 『知っている』と回答した人の割合は、「男性」(27.0%)より「女性」(32.5%)の方が6ポイント多くなっている。(図11-1)
- 性年代別** 『知っている』と回答した人の割合は、「男性」で年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。一方、「女性」では、「女性40代」から年代が上がるにつれて少なくなる傾向にあり、「女性40代」(46.7%)で4割台半ばと最も多くなっている。(図11-1)
- 居住年数別** 『知っている』と回答した人の割合は、「3～10年未満」(35.6%)で3割台半ばと最も多くなっている。一方、「知らない」と回答した人の割合は、「3年未満」(79.6%)で約8割を占めている。(図11-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 『知っている』と回答した人の割合は、「住みにくい 計」(25.5%)より「住みやすい 計」(30.6%)の方が5ポイント多くなっている。(図11-2)
- 定住意向別** 『知っている』と回答した人の割合は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(43.9%)で4割台半ばと最も多くなっている。(図11-2)

図11-1. 川崎区区民会議の認知度<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】



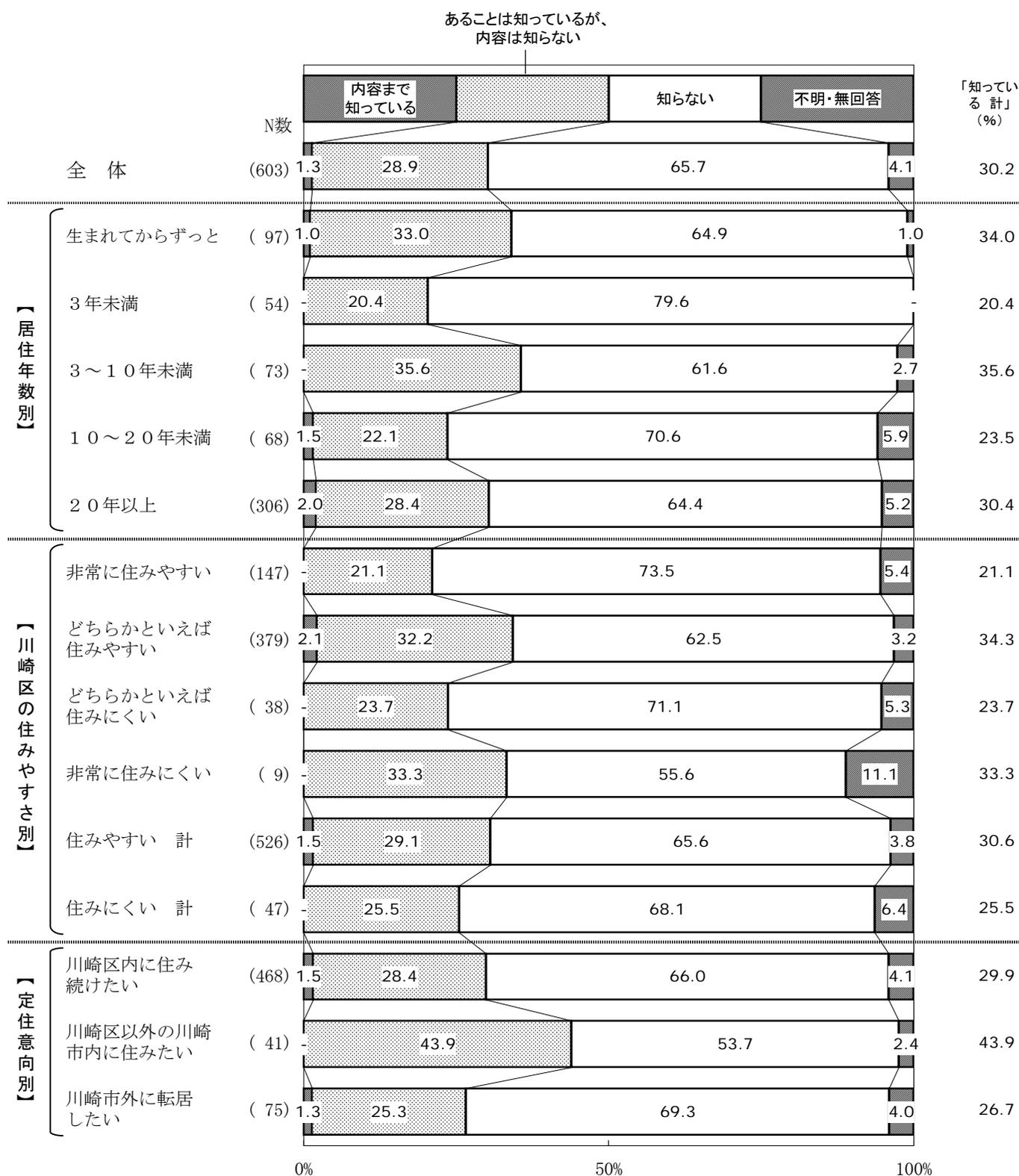
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図11-2. 川崎区区民会議の認知度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

11.1 区民会議の認知経路

SQ1.あなたは区民会議をどのようにして知りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 区民会議の認知経路は、「市政だより」（85.2%）が8割台半ばで特に多くなっている。次いで、「町内会・自治会の回覧板などで」が32.4%と続いている。（図11.1-1）
- 性 別** 「市政だより」は、「男性」（81.1%）より「女性」（87.6%）の方が7ポイント多くなっている。逆に、「町内会・自治会の回覧板などで」と「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道で」は、「女性」より「男性」の方が多く、特に、「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道で」は、9ポイントの差がみられる。（図11.1-2）
- 性年代別** 「市政だより」は、「女性40代以上」で9割前後と多くなっている。また、「町内会・自治会の回覧板などで」は、「男性60代以上」と「女性70代以上」で5割を超え多くなっている。（図11.1-2）
- 居住年数別** 「市政だより」は、「生まれてからずっと」と「20年以上」で約9割弱にのぼり多くなっている。また、「町内会・自治会の回覧板などで」は「20年以上」で41.9%となり、他の層に比べ多くなっている。（図11.1-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 調査数は少ないが、「町内会・自治会の回覧板などで」は、「住みにくい計」（16.7%）より「住みやすい計」（33.5%）の方が17ポイント多くなっている。（図11.1-3）
- 定住意向別** 「市政だより」は、「川崎市外に転居したい」で65.0%と他の層に比べ少なくなっている。（図11.1-3）

図11.1-1 区民会議の認知経路

【基数：区民会議を「知っている」人(N=182)】

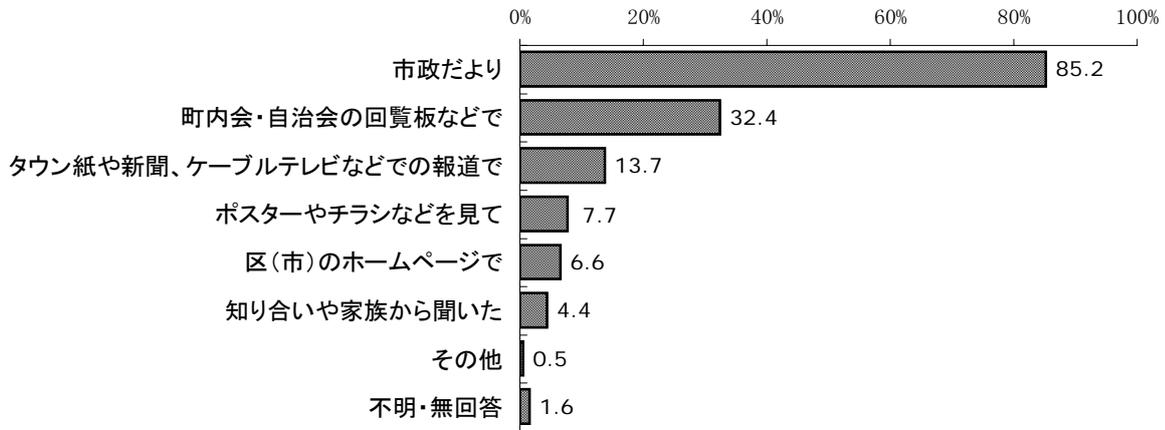
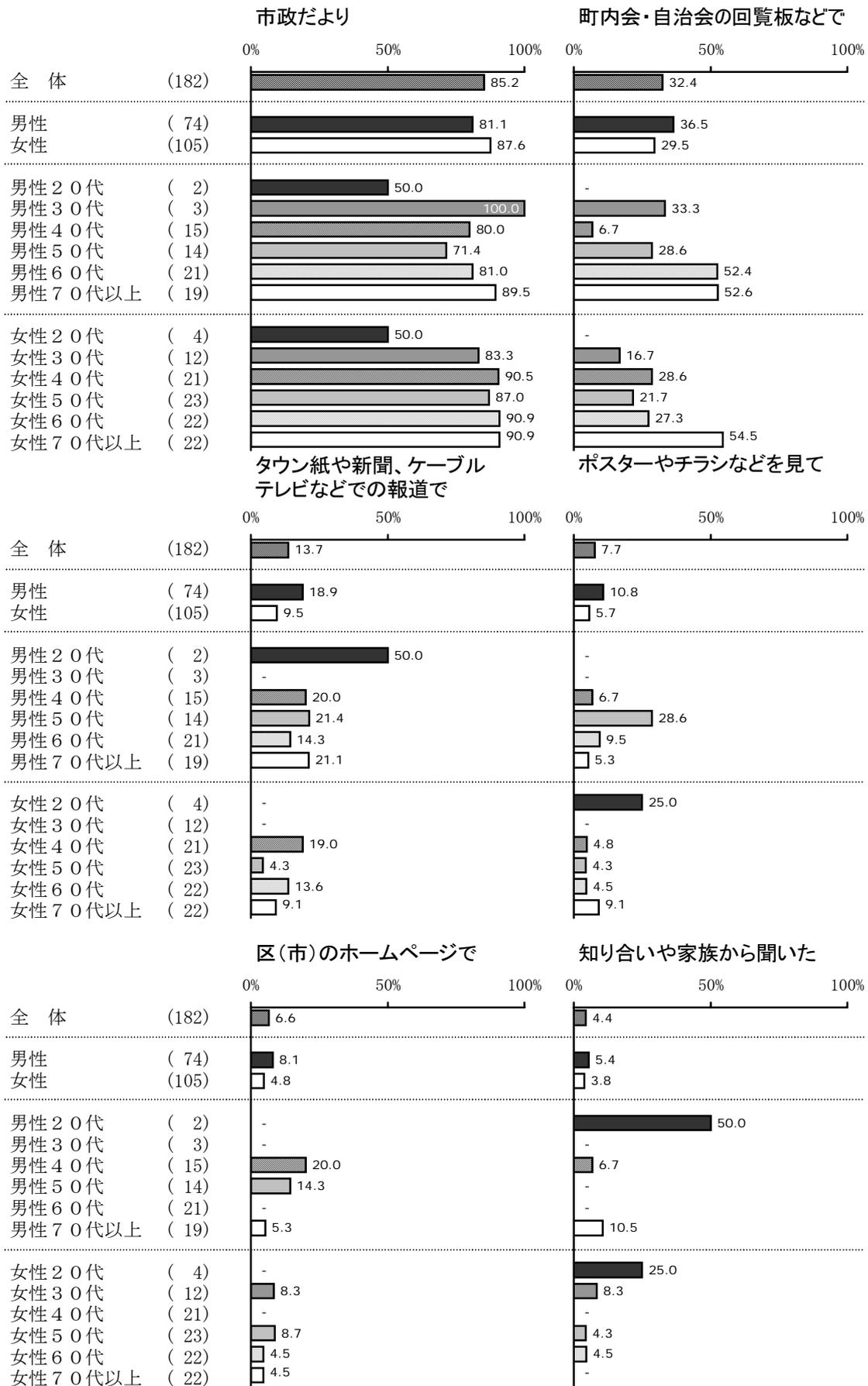


図11.1-2 区民会議の認知経路<性別・性年代別>

【基数：区民会議を「知っている」人(N=182)】

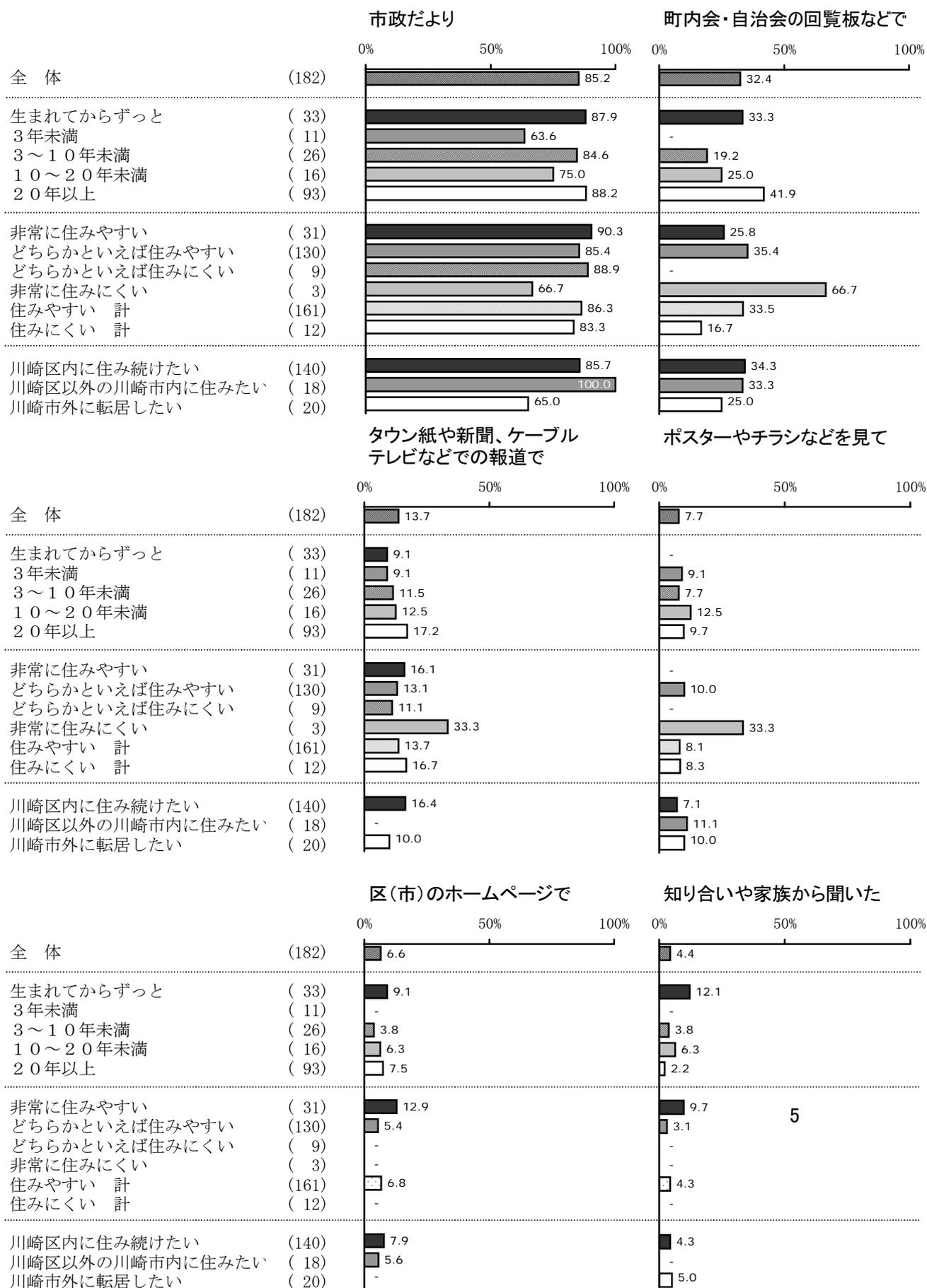


※「その他」「不明・無回答」は作図せず

図11.1-3 区民会議の認知経路

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞(上位6項目)

【基数：区民会議を「知っている」人(N=182)】



※「その他」「不明・無回答」は作図せず

11.2 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

S Q 2. 区民会議の取り組みを広めるのに有効な方法はどのようなものだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法としては、「市政だよりへの掲載」(46.0%)が4割台半ばで最も多く、以下、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」(38.1%)、「町内会・自治会の回覧板への掲載」(32.6%)、「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道」(26.3%)と続いている。(図11.2-1)
- 性 別** 「市政だよりへの掲載」は、「男性」(37.0%)より「女性」(54.4%)の方が17ポイント多くなっている。「町内会・自治会の回覧板への掲載」も同様に、「男性」(28.1%)より「女性」(36.8%)の方が9ポイント多くなっている。逆に、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」は、「女性」(32.4%)より「男性」(44.3%)の方が12ポイント多くなっている。(図11.2-2)
- 性年代別** 「市政だよりへの掲載」は、「女性60代以上」で6割を超えており、特に「女性60代」は71.1%と最も多くなっている。また、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」は、「男性50代」と「女性40代」で6割を超えて多くなっている。一方、「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道」は、「男性」は年代が下がるにつれて割合が多くなる傾向にあり、「女性」も概ね同じような傾向がみられる。(図11.2-2)
- 居住年数別** 「市政だよりへの掲載」は、「生まれてからずっと」と「20年以上」で5割前後と多くなっており、「町内会・自治会の回覧板への掲載」は、「20年以上」(43.7%)で4割台半ばとなっている。一方、「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道」は、「3年未満～10年未満」で3割台半ばと多くなっている。(図11.2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「市政だよりへの掲載」は、「住みにくい 計」(40.6%)より「住みやすい 計」(46.7%)の方が6ポイント多くなっており、「町内会・自治会の回覧板への掲載」も、「住みにくい 計」(12.5%)より「住みやすい計」(34.5%)の方が22ポイント多くなっている。逆に、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」は、「住みやすい 計」(36.8%)より「住みにくい 計」(46.9%)の方が10ポイント多くなっている。(図11.2-3)
- 定住意向別** 「市政だよりへの掲載」は、定住意向が強くなるにつれて割合が多くなる傾向にある。逆に、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」は、定住意向が弱くなるにつれて割合が多くなる傾向がみられる。(図11.2-3)

図11.2-1 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

【基数：区民会議を「知らない」人(N=396)】

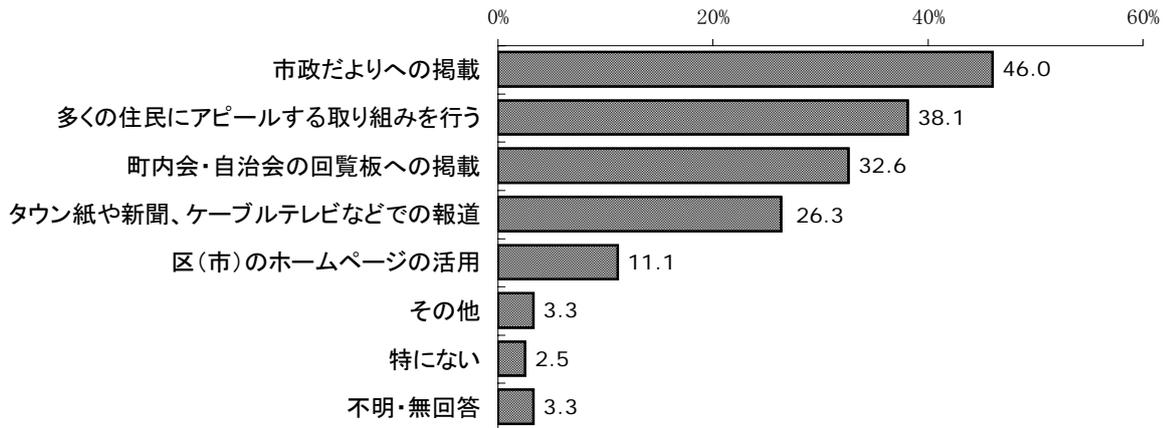
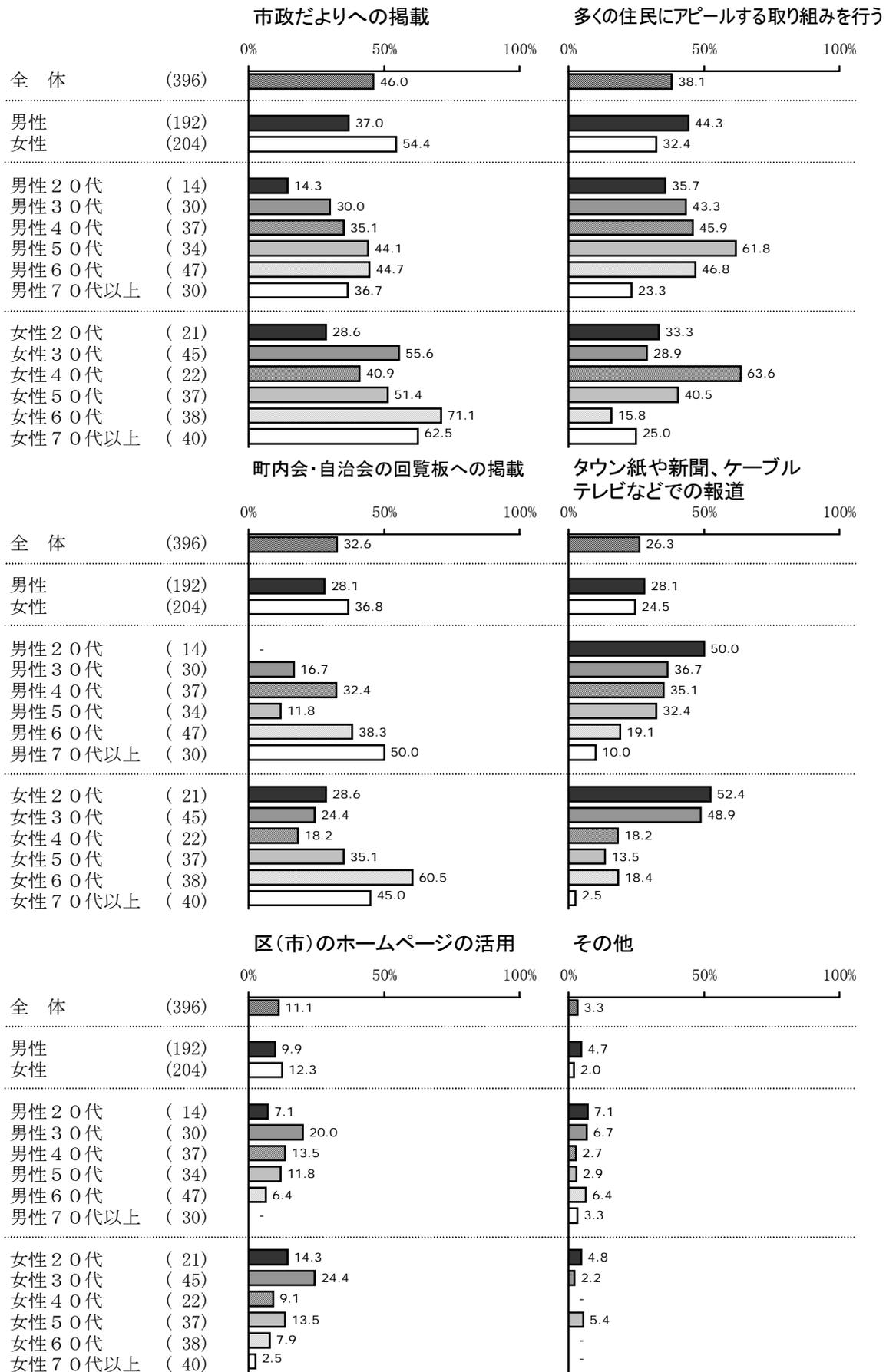


図11.2-2 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

＜性別・性年代別＞

【基数：区民会議を「知らない」人(N=396)】

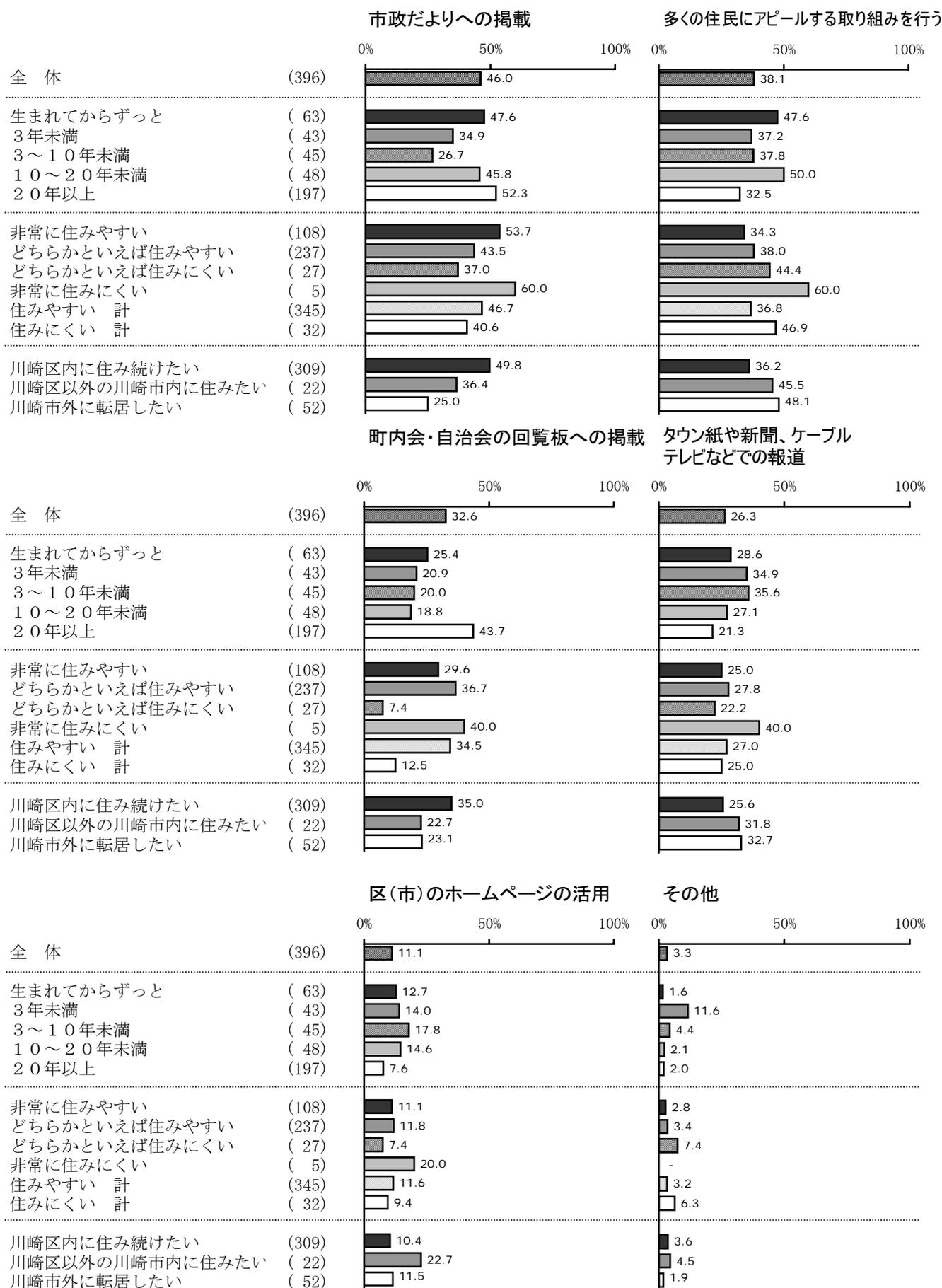


※「特にない」「不明・無回答」は作図せず

図11.2-3 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：区民会議を「知らない」人(N=396)】



※「特になし」「不明・無回答」は作図せず

12. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの

Q 1 3. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまでお選びください。
(○は3つまで)

- 全 体** 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいものは、「防災・防犯など安全・安心のまちづくりに関すること」(69.7%)が約7割で特に多く、次いで、「高齢化社会に関すること」(54.1%)が5割台半ばとなっている。また、「子育て支援に関すること」(33.5%)と「地域の福祉に関すること」(31.8%)が3割台で続いている。(図12-1)
- 性 別** 「防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること」と「川崎区のイメージアップに関すること」は、「女性」より「男性」の方が多くなっている。逆に、「高齢化社会に関すること」や、「子育て支援に関すること」、「地域の福祉に関すること」は、「男性」よりも「女性」の方が多くなっている。(図12-2)
- 性年代別** 「防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること」は、「男性50代～60代」で8割を超え多くなっている。また、「高齢化社会に関すること」は、「男性70代以上」と「女性60代以上」で7割を超え多くなっている。一方、「子育て支援に関すること」は、「男性30代」と「女性20代～30代」で多くなっており、特に「女性30代」で67.8%と約7割弱となっている。(図12-2)
- 居住年数別** 「防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること」は、「3年未満」(79.6%)約8割と多くなっている。また、「高齢化社会に関すること」は「20年以上」(63.7%)、「子育て支援に関すること」は「3～10年未満」(54.8%)が最も多くなっている。(図12-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること」、「子育て支援に関すること」、「地域の緑の保全や地域環境(省エネやエコなど)への配慮に関すること」、「川崎区のイメージアップに関すること」は、「住みやすい 計」より「住みにくい 計」の方が多くなっている。逆に、「高齢化社会に関すること」は、「住みにくい 計」より「住みやすい 計」の方が多くなっている。(図12-3)
- 定住意向別** 「高齢化社会に関すること」は、定住意向が強くなるにつれて割合が多くなる傾向にある。また、「地域の緑の保全や地域環境(省エネやエコなど)への配慮に関すること」は、「川崎市外に転居したい」(33.3%)で3割を超えており、「川崎区のイメージアップに関すること」は、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(26.8%)で2割台半ばとなっている。(図12-3)

図12-1. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの
【基数：全体(N=603)】

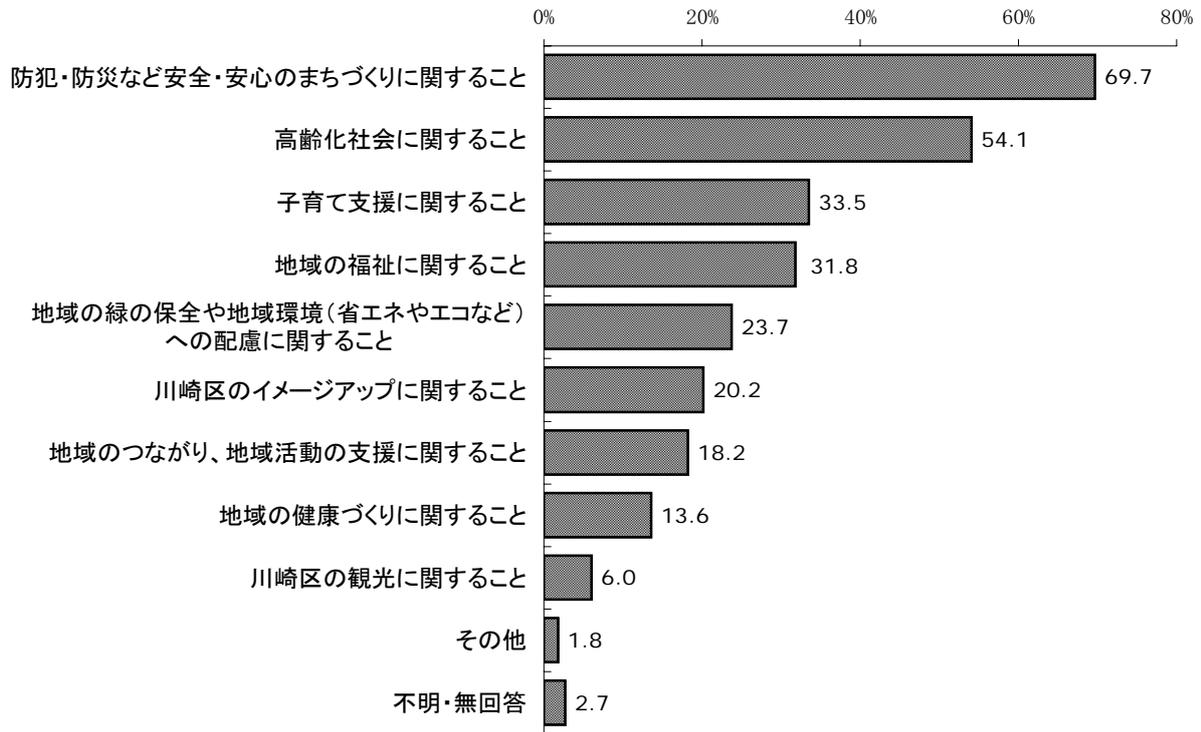
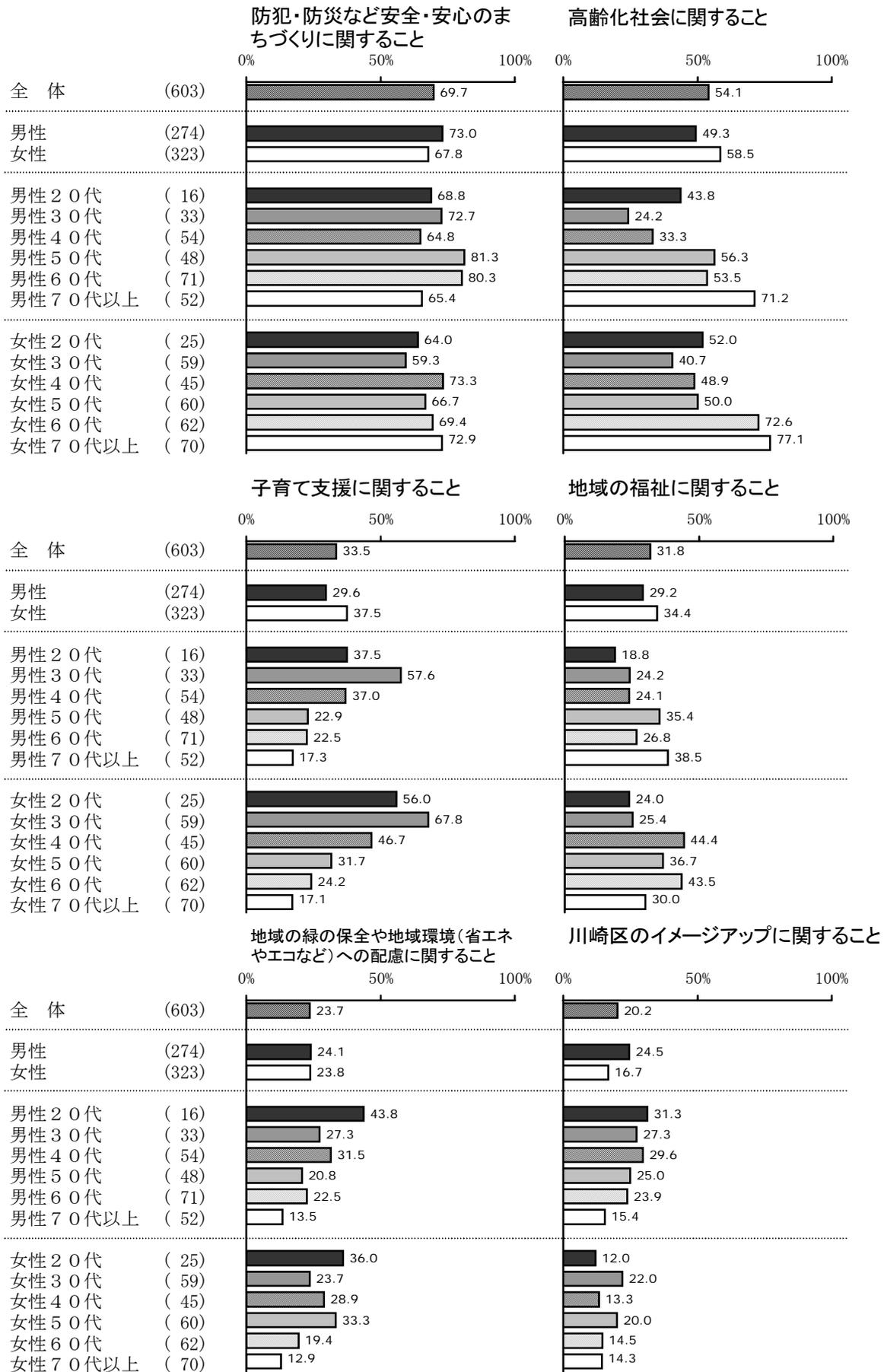


図12-2. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの

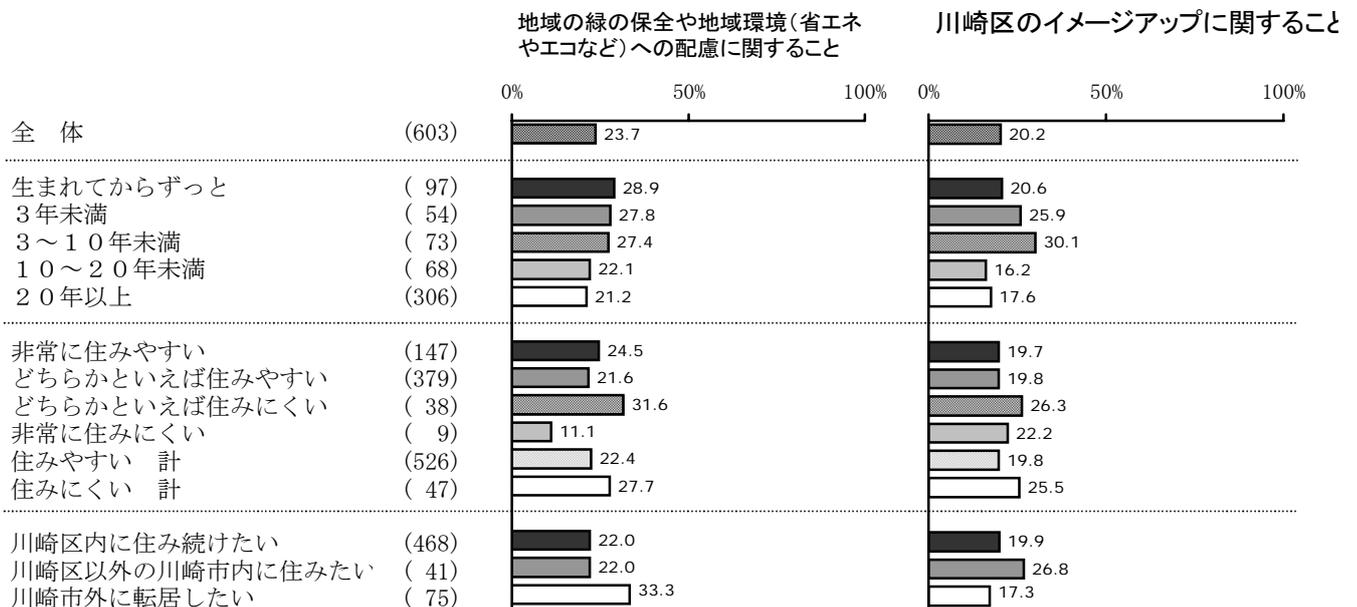
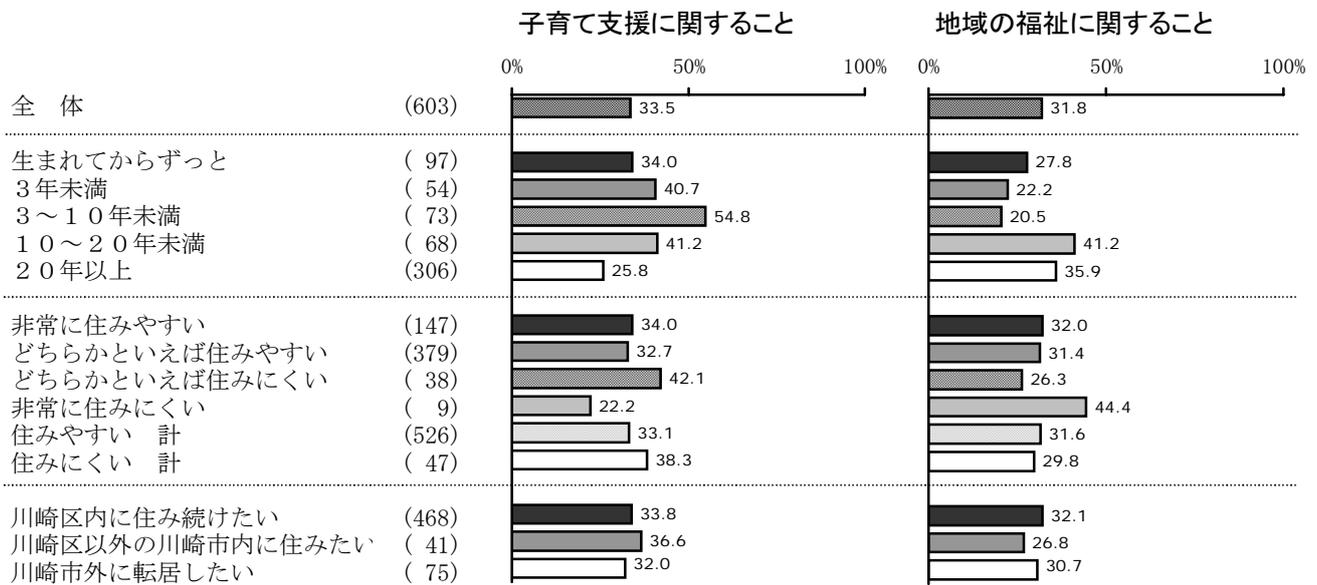
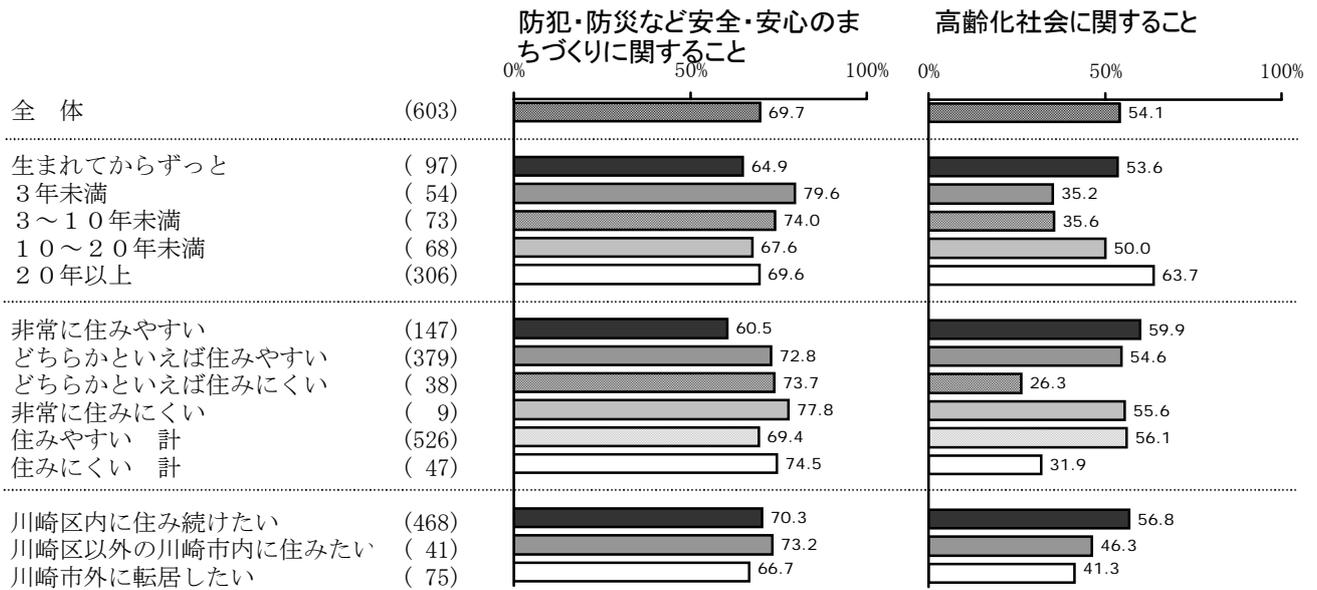
<性別・性年代別>(上位6項目)

【基数：全体(N=603)】



※上位7～9位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図12-3. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>(上位6項目)
 【基数：全体(N=603)】



※上位7～9位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

13. 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの

Q 1 4. 区民会議での取り組みを活性化させるために、あなたが必要だと思うものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

- 全 体** 区民会議での取り組みを活性化するために必要なものとしては、「話し合いの結果を広く知らせること」(60.0%)が6割で最も多く、「多くの区民の意見を取り入れるようにすること」(58.2%)、「話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること」(57.2%)が僅差で続いている。(図13-1)
- 性 別** 「多くの区民の意見を取り入れるようにすること」は、「男性」(52.9%)より「女性」(63.5%)の方が11ポイント多くなっている。逆に、「区民会議の委員を幅広く募集すること」は、「女性」(25.1%)より「男性」(32.1%)の方が7ポイント多くなっている。(図13-2)
- 性年代別** 「話し合いの結果を広く知らせること」は、「女性40代～50代」で7割を超え多くなっている。また、「話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること」は、「女性」で概ね年代が下がるにつれて割合が多くなる傾向にある。(図13-2)
- 居住年数別** 「話し合いの結果を広く知らせること」は、すべての層で6割前後と多くなっている。また、「話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること」は、「3年未満」(70.4%)で7割と多くなっている。(図13-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「話し合いの結果を広く知らせること」は、「住みにくい 計」で44.7%と少なくなっており、「住みやすい 計」(61.4%)との差は17ポイントとなっている。(図13-3)
- 定住意向別** 「話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること」は、「川崎市外に転居したい」(62.7%)で6割を超え多くなっている。また、「地域の団体とのつながりを強めること」は、「川崎区内に住み続けたい」と「川崎区以外の川崎市内に住みたい」で3割以下となっている。(図13-3)

図13-1. 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの
【基数：全体(N=603)】

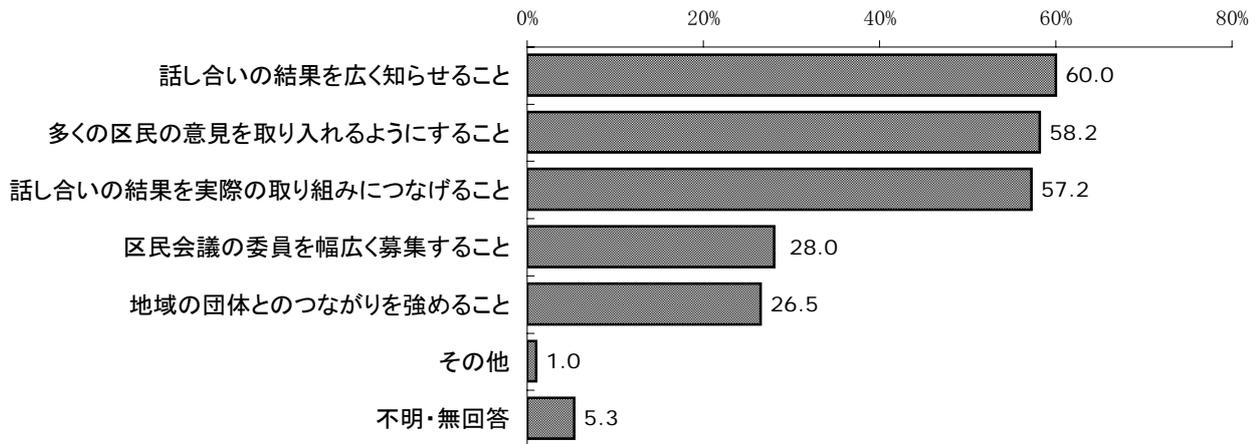
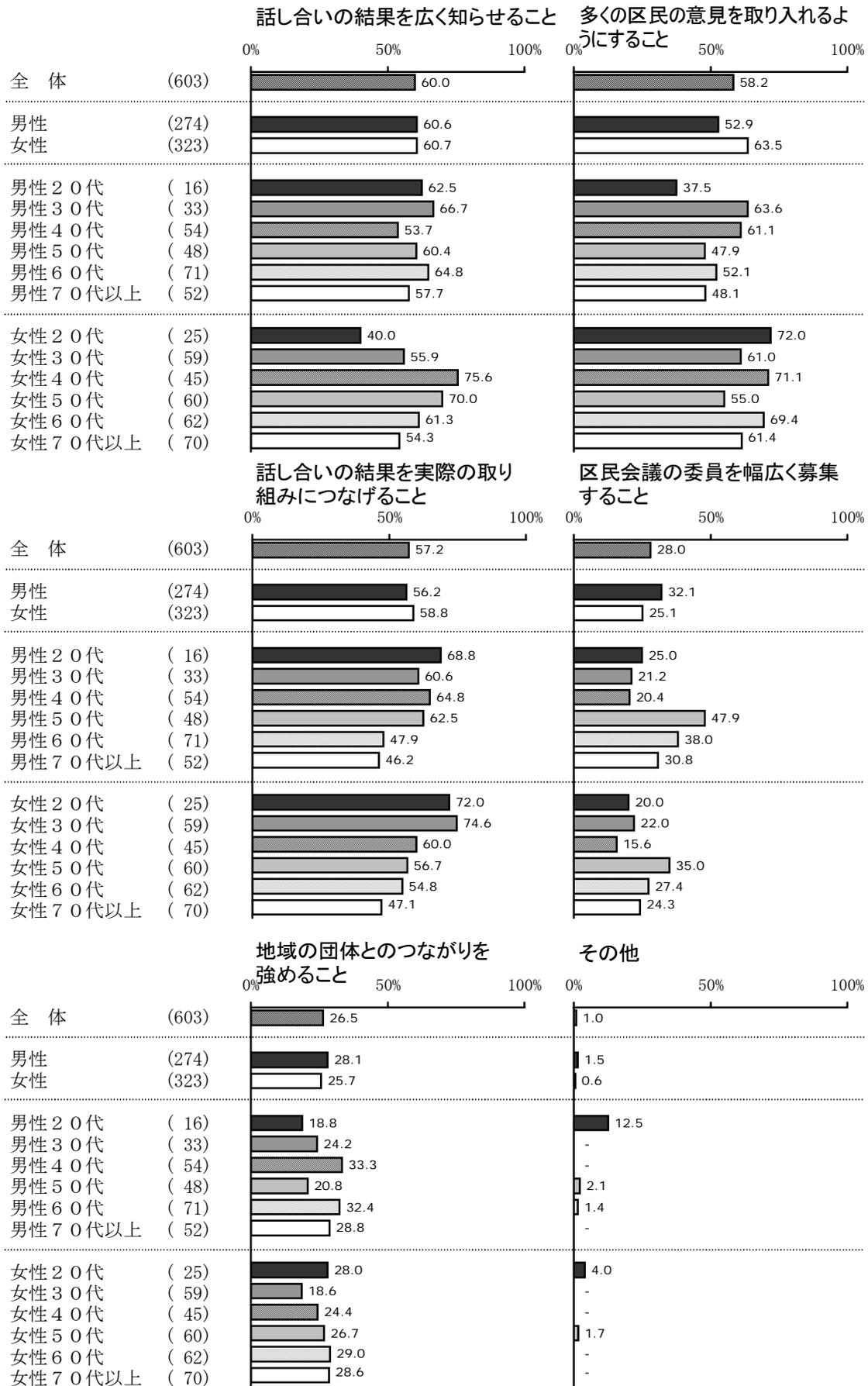


図13-2. 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの

<性別・性年代別>

【基数：全体(N=603)】

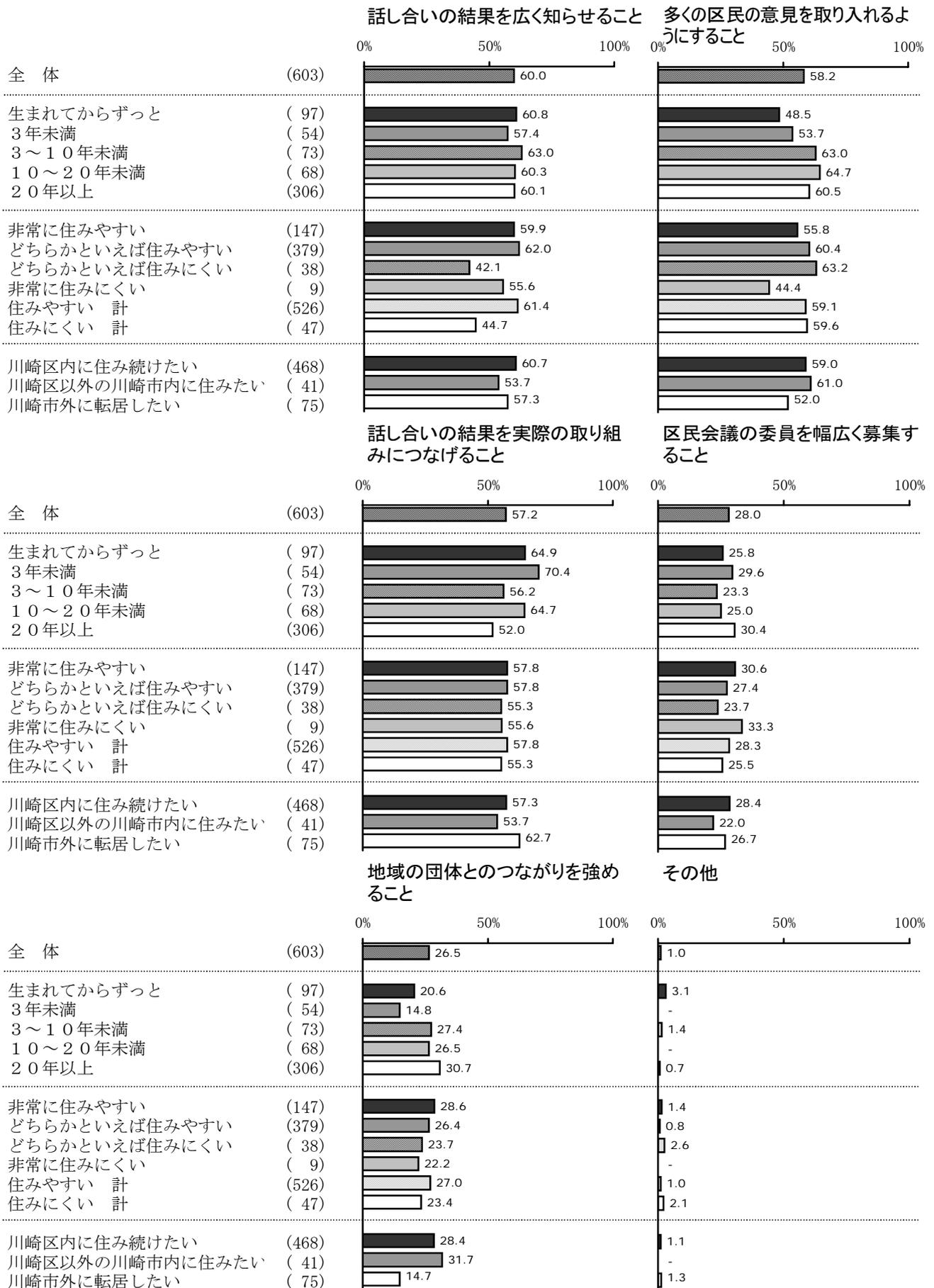


※「不明・無回答」は作図せず

図13-3. 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数：全体(N=603)】



※「不明・無回答」は作図せず

IV 調査に使用した調査票

区民アンケート調査へのご協力について(お願い)

日ごろより、川崎区の行政にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

川崎区では、区民の皆様が区役所に対して感じていること、地域活動に関する意識などを調べることにより、地域の課題を把握し、課題解決に向けた取り組みの参考にさせていただきたいため、アンケートを実施させていただきます。

このたび、川崎区内にお住まいの20歳以上の方2,000人を統計的な方法（住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出）で選ばせていただいたところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ この調査は、行政上の基礎資料として活用します。他の目的に使用することは決してありません。
- ◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- ◆ この調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

- ◎ あて名のご本人がアンケートにお答えください。
- ◎ お答えは、当てはまる答えの番号を○で囲んでください。○の数は、各問の指示に従ってください。「その他」に当てはまる場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。
- ◎ 各問のお答えについては、あなたが日ごろ感じていることをありのままお答えください。
- ◎ ご記入いただいたアンケートは、**12月11日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、投函**してください。
- ◎ アンケートにお答えいただいた方の中から、ご希望の方には抽選で記念品をお送りします。その際には、このアンケート用紙の最後に、記念品を送付する際に必要となるご住所やお名前をご記入いただく欄がございますので、ご記入ください。
- ◎ アンケートの結果は、市政だより川崎区版、川崎区のホームページなどでお知らせさせていただきます。(詳しくはアンケートの最後をご覧ください)

- ◆本調査について、ご不明な点がありましたら、調査担当課までお問い合わせください。

調査担当課 川崎区役所企画課
〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地
電話：044-201-3267

■川崎区役所の広報について

※川崎区役所からの情報が、区民の皆さまにどのように伝わっているかをおうかがいします。

Q 1. あなたは、川崎区役所からの情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
2. 町内会・自治会の回覧板
3. 新聞、タウン紙などの報道
4. 区(市)のホームページ
5. 区(市)のホームページ以外のインターネットサイト
6. 携帯電話の情報サイト(「モバイルかわさき」など)
7. かわさき生活ガイド
8. 知り合いや家族から聞く
9. 区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類
10. 区役所や市役所へ直接問い合わせる
11. その他()
12. 特に川崎区からの情報は入手していない

■川崎区役所の利用状況について

※川崎区役所がどのように利用されているかをおうかがいします。

Q 2. あなたは、最近1年の間に、川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスコーナーを利用されたことがありますか。(○は1つだけ)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはない → 2ページQ3へ

※Q2で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。≫

S Q 1. あなたが川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスコーナーに行った目的をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など
2. 税に関する証明書交付や申告、納税手続きなど
3. 保健、予防に関する相談、健康診断、予防接種など
4. 福祉に関する相談、届出など
5. 高齢者や介護に関する相談、届出など
6. 公衆衛生(食品、犬猫、害虫など)に関する相談、届出など
7. 健康保険、年金に関する相談、届出など
8. 子育て、教育に関する相談、届出など
9. 生活全般に関する相談
10. 会議への出席やイベントへの参加
11. その他()

《引き続き、Q2で「1. 利用したことがある」を選んだ方におうかがいします》

SQ2. 川崎区役所・支所・行政サービスコーナーに行った際、用件があった窓口の場所について、あなたはどのようにお感じになりましたか。

- | | |
|--|-------------|
| 1. 非常にわかりやすかった 2. どちらかといえばわかりやすかった 3. どちらかといえばわかりにくかった 4. 非常にわかりにくかった | } → 2ページQ3へ |
|--|-------------|

《SQ2で「3. ～4. どちらかといえば/非常にわかりにくかった」を選んだ方におうかがいします》

SQ3. わかりにくかったと感じたのは、どのようなところででしょうか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 通路などの方向案内 2. 取り扱っている業務を示す窓口の表示板 3. どの階にどの窓口があるのかを示すフロアガイド 4. フロアの見取り図 5. 用件を足すためには、どの窓口に行ったらいいのかの説明 6. その他() |
|---|

■川崎区役所のサービスについて

※川崎区役所のサービスに対して、区民の皆さまが感じていることをおうかがいします。

《全員の方へおうかがいします》

Q3. あなたは、川崎区役所の窓口での職員の対応について、下記①～⑥のそれぞれに対してどのようにお感じになっていますか。 (○はすべての項目のヨコに1つずつ)

| | 非常に満足 | やや満足 | どちらともいえない | やや不満 | 非常に不満 |
|--------------|-------|------|-----------|------|-------|
| ① 気持ちのよいあいさつ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 親切な対応 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ わかりやすい説明 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 勤務態度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 身だしなみ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 窓口の整理整頓 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

■地域活動や地域に関する課題について

※皆さまの地域活動への参加状況や地域活動に対する考え方、また、皆さまが地域の課題について、普段感じていることをおうかがいします。

Q 4. あなたは、地域の団体での活動やボランティア活動、サークル活動などの地域活動を行っていますか。 (○は1つだけ)

- 1. 活動を行っている
- 2. 活動は行っていない → SQ2へ

《Q4で「1. 活動を行っている」を選んだ方におうかがいします》

SQ 1. あなたが地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 町内会・自治会に関する活動
- 2. 子育てや教育に関する活動
- 3. 地域のまちづくりに関する活動
- 4. 防犯・防火に関する活動
- 5. 交通安全に関する活動
- 6. 福祉や健康増進に関する活動
- 7. 街の美化や緑化、生活環境に関する活動
- 8. 文化、観光、産業振興に関する活動
- 9. スポーツ振興に関する活動
- 10. 趣味や余暇をいかした活動
- 11. その他(

→ 4ページQ5へ

《Q4で「2. 活動は行っていない」を選んだ方におうかがいします》

SQ 2. あなたが地域活動を行っていない理由をお選びください。 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため
- 2. 地域で活動するきっかけがないため
- 3. 地域での活動に関心がないため
- 4. 地域での付き合いがわずらわしいため
- 5. その他()

SQ 3. あなたは今後、地域での活動に参加したいと思いますか。 (○は1つだけ)

- 1. ぜひ参加したい
- 2. きっかけや時間があれば参加してみたい
- 3. 活動内容を知る機会があれば、参加するかどうか考えてみたい
- 4. 参加したくない
- 5. その他()

《全員の方へおうかがいします》

Q 5. 地域での高齢化社会に向けた取り組みについて、あなたが**最も重要**と考えるものを**1つだけ**お選びください。(○は1つだけ)

1. 高齢者向けの相談窓口の充実
2. 高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み
3. 高齢者の健康づくりに関する取り組み
4. 高齢者の生きがいづくりに関する取り組み
5. 高齢者向け情報の充実
6. その他()

Q 6. 地域での子育てに関する取り組みについて、あなたが**最も重要**と考えるものを**1つだけ**お選びください。(○は1つだけ)

1. 子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実
2. 子どもの安全対策に関する取り組み
3. 子どもに関する情報の充実
4. 身近な子どもの遊び場や居場所の整備
5. 児童虐待や不登校への取り組み
6. 子どもの成長・発達に関する取り組み
7. 子育て中の親同士の交流に関する取り組み
8. その他()

Q 7. 地域が行う環境に関する取り組みについて、あなたが**最も重要**と考えるものを**1つだけ**お選びください。(○は1つだけ)

1. 区民の環境意識向上のための啓発
2. 子どもに対する環境についての教育
3. 区の自然環境の保全
4. 区内の緑化
5. 環境に関する情報の充実
6. 地域でできる地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向けての取り組み
7. その他()

Q 8. 地域社会を活性化するために、あなたが**最も重要**と考えるものを**1つだけ**お選びください。(○は1つだけ)

1. 普段から近所付き合いを深めること
2. 地域の伝統芸能や祭りを継承、守っていくこと
3. 行政や企業と協働(※)で地域活動を行うこと
4. 町内会・自治会など地域の活動に対する支援
5. 区民が地域の活動に参加するきっかけづくり
6. 地域活動を担うリーダーを育てること
7. その他()

(※) 協働とは、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で相互の立場を尊重し、対等な関係で協力することです。

Q 9. 川崎区のイメージアップを図るために、あなたが**最も重要**と考えるものを**1つだけ**お選びください。(○は1つだけ)

1. 地域の魅力の発掘やPR
2. 川崎区の産業を活かしたまちづくり
3. 文化や芸術振興への取り組み
4. 国際交流の活性化への取り組み
5. スポーツ振興への取り組み
6. その他()

Q 10. Q 5～Q 9でおうかがいした以下のテーマのうち、**最も優先的に**取り組み、**解決する必要がある**と思うものを**1つだけ**お選びください。(○は3つまで)

1. 地域での**高齢化社会**に向けた取り組み
2. 地域での**子育て**に関する取り組み
3. 地域が行う**環境**への取り組み
4. **地域社会の活性化**への取り組み
5. 川崎区の**イメージアップ**への取り組み
6. その他()

Q 11. Q 10で最も優先的に取り組み、解決する必要があるお選びになったテーマについて、具体的な取り組みへのご意見・アイデア・ご提案等があれば、どのようなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

■川崎区区民会議について

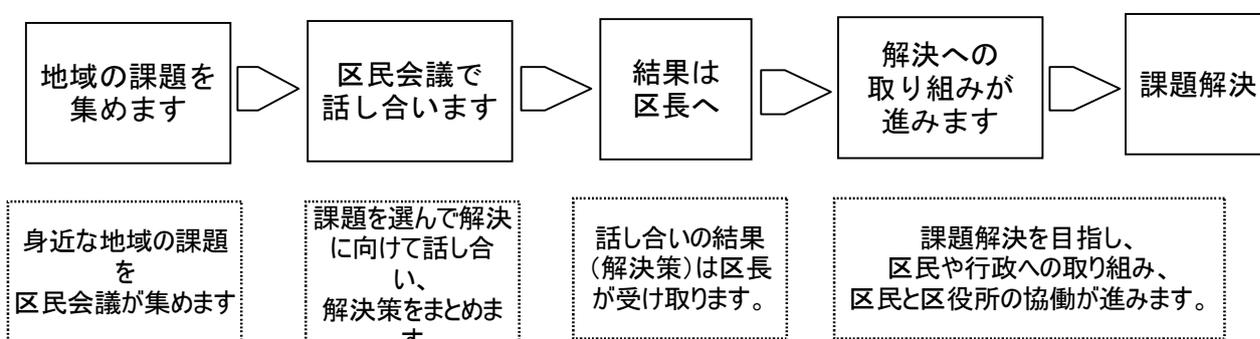
※川崎区では、区民の参加と協働による地域社会の課題解決に向けた調査審議会を行い、暮らしやすい地域社会をつくるため、平成18年度から川崎区区民会議を設置しています。

◆区民会議とは

川崎区区民会議では、区民が委員となり、身近な地域の課題を選んで解決に向けた話し合いをします。その結果は、区長が受け取り、区民と区役所の協働（※）などにより、課題の解決に向けた取り組みを進めます。

（※）協働とは、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、対等な関係で協力することです。

◆区民会議を通じた課題解決のしくみ



《全員の方へおうかがいします》

Q12. あなたは、川崎区区民会議を知っていますか。 (○は1つだけ)

1. 内容まで知っている
2. あることは知っているが、内容は知らない
3. 知らない → SQ2へ

《Q12で「1. 内容まで知っている」「2. あることは知っているが、内容は知らない」を選んだ方におうかがいします》

SQ1. あなたは区民会議をどのようにして知りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
 2. 町内会・自治会の回覧板などで
 3. 区(市)のホームページで
 4. タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道で
 5. 知り合いや家族から聞いた
 6. ポスターやチラシなどを見て
 7. その他(
- } → 7ページQ13へ

《Q12で「3. 知らない」を選んだ方におうかがいします》

S Q 2. 区民会議の取り組みを広めるのに有効な方法はどのようなものだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だよりへの掲載
2. 町内会・自治会の回覧板への掲載
3. 区(市)のホームページの活用
4. タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道
5. 多くの住民にアピールする取り組みを行う
6. その他()
7. 特にない

《全員の方へおうかがいします》

Q 1 3. 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、**3つまで**お選びください。
(○は3つまで)

1. 防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること
2. 地域の福祉に関すること
3. 地域の健康づくりに関すること
4. 子育て支援に関すること
5. 高齢化社会に関すること
6. 地域の緑の保全や地域環境(省エネやエコなど)への配慮に関すること
7. 地域のつながり、地域活動の支援に関すること
8. 川崎区のイメージアップに関すること
9. 川崎区の観光に関すること
10. その他()

Q 1 4. 区民会議での取り組みを活性化させるために、あなたが必要だと思うものを**3つまで**お選びください。
(○は3つまで)

1. 区民会議の委員を幅広く募集すること
2. 多くの区民の意見を取り入れるようにすること
3. 地域の団体とのつながりを強めること
4. 話し合いの結果を広く知らせること
5. 話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること
6. その他()

Q 1 5. 川崎区役所についてのご意見やご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

■あなた自身やあなたのご家族について

※アンケートの統計的分析に必要なため、次の項目にお答えください。

F 1. あなたの性別を伺わせてください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2. あなたのご年齢を伺わせてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60～69歳 |
| 3. 40～49歳 | 6. 70歳以上 |

F 3. あなたの現在のご職業を伺わせてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自営業 | 6. 主婦・主夫(家事専業) |
| 2. 家族従業(家業手伝い) | 7. 学生 |
| 3. 勤め(フルタイム) | 8. 無職(年金生活者を含む) |
| 4. 勤め(パート・アルバイト) | 9. その他() |
| 5. 内職 | |

F 4. あなたのお住まい(住居)は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 5. 借家(アパート・間借・下宿) |
| 2. 持ち家(マンション・団地) | 6. 社宅・寮・公務員社宅 |
| 3. 借家(一戸建て) | 7. その他() |
| 4. 借家(マンション・団地・公営住宅) | |

F 5. 現在、一緒にお住まいのご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 1人(1人暮らし) | 5. 5人 |
| 2. 2人 | 6. 6人 |
| 3. 3人 | 7. 7人以上 |
| 4. 4人 | |

F 6. あなたは川崎区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 生まれてからずっと | 4. 10～20年未満 |
| 2. 3年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 3～10年未満 | |

F 7. あなたが川崎区にお住まいになっているのはなぜですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通の利便性がいいため
2. 買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がいいため
3. 通勤・通学に便利だから
4. 教育・文化環境がいいため
5. 住環境がいいため
6. 治安や風紀がいいため
7. 昔から住んでいるから・住み慣れているから
8. その他()
9. 特に理由はない

F 8. あなたにとって川崎区はどの程度住みやすいですか。(○は1つ)

1. 非常に住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 非常に住みにくい
5. わからない

F 9. あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 川崎区内に住み続けたい
2. 川崎区以外の川崎市内に住みたい
3. 川崎市外に転居したい

このアンケートは無記名調査ですが、ご希望の方には、下の欄にお名前、ご住所を御記入いただければ、抽選により記念品をお送りする他、アンケート結果を郵送し、併せて区役所から来年3月までの間、ボランティアに関するイベントのお知らせ、区民会議委員募集の案内などもさせていただきます。ご希望でない方は、無記名のままで結構です。

お名前

ご住所

以上でアンケートは終了です。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月11日（金）までにご投函ください。

ご協力ありがとうございました。

川崎区区民アンケート調査＜報告書＞

平成22年3月

発行 川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267（直通）

FAX 044-201-3209

